

マニュアルの使いかた

本製品には次のマニュアルが用意されています。

安心してお使いいただくために

パソコンをお使いになるときに守っていただきたいことについて説明しています。

まずはこれから！－基本編－

本書



はじめにお読みください。

○「1章 初めてパソコンを使うとき」

- Windowsの基本操作
- 文字の入力のしかた
- 音楽を楽しむ
- DynaBookの機能を知る

必要に応じてお読みください。

外の世界につながる！ －インターネット編－



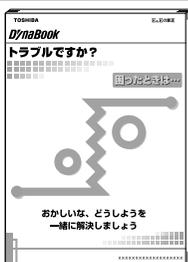
- インターネットに接続する
- メールを使う
- インターネットとメールのQ&A

もっといろんなことができる！ －活用編－



- すぐに使えるソフトウェアの紹介
- 周辺機器を使うとき
- BIOSセットアップについて

トラブルですか？－困ったときは－



- よくある質問とその解決方法
- パソコンの再セットアップ（購入時に戻す）

どうしてもわからない！故障かな？
巻末「ユーザサポート窓口のご案内」を
ご覧ください。

マニュアルは、本製品の使いかたについてできるだけわかりやすく説明しています。すでにパソコンを使ったことのあるかたも、必ずお読みください。

お読みになった後も、いつでも取り出してご覧になれるよう、保管しておいてください。

もくじ

マニュアルの使いかた	1
もくじ	2
はじめに	6
表記について	11

1章 初めてパソコンを使うとき

1 パソコンの準備	14
1. パソコンの置き場所	14
2. 電源につなぐ	16
2 電源を入れる	18
1. 電源を入れる	18
2. Windows のセットアップ	18
3. イージーボタンとタッチパッドを使うには	27
3 基本操作を覚える	29
4 マウスを使う	31
1. 取り付ける	31
2. マウスの使いかた	33
5 電源を切る	36
6 ユーザ登録をする	37

2章 電源を入れる／切る

1 電源を入れる	40
2 電源を切る	42
3 作業を中断する	44
4 簡単に電源を切る	47

3章 パソコンをさわってみよう

1	デスクトップとは	50
2	ウィンドウを開く	51
3	ファイルやフォルダを作る	52
4	ファイルやフォルダをコピーする	59
5	ファイルやフォルダを削除する	61

4章 文字を入力してみよう

1	メモ帳を開く	68
2	キーボードについて	69
3	文字を入力する	70
	1. 日本語入力システムとは	70
	2. 入力モードを決める	71
	3. ひらがなを入力する	74
	4. ひらがなを漢字に変換する	75
	5. カタカナを入力する	76
	6. 記号を入力する	77
	7. 英数字を入力する	78
	8. 入力がうまくできないとき	79
4	文書を保存する	85

5章 音楽を楽しもう

1	音楽 CD を聴く	90
	1. Windows を起動して音楽 CD を聴く	90
	2. Windows を起動しないで音楽 CD を聴く (音楽 CD モード)	92
2	音楽ファイルを聴く	93

6章 パソコンのしくみ

1	ハードウェアとは	98
	1. CPU (プロセッサ)	98
	2. メモリ	98
	3. 記憶装置	99
	4. 表示装置	100
	5. 入力装置	101
2	ソフトウェアとは	102
	1. OS (オペレーティングシステム)	102
	2. アプリケーション	102

7章 本体の機能を知ろう

1	各部の名前	104
	1. 本書で説明しているところ	104
	2. 『活用編』で説明しているところ	108
2	状態表示パネル	109
3	タッチパッド	110
4	キーボード	116
5	ディスプレイ	124
6	ハードディスクドライブ	125
7	サウンド機能	126
	1. スピーカの音量を調整する	126
	2. 音楽／音声の録音レベルを調整する	129
	3. システムスピーカの音量を調整する	129
8	バッテリー	130
	1. バッテリー充電量を確認する	132
	2. バッテリーを充電する	135
	3. バッテリーパックを交換する	137

9	フロッピーディスク	138
	1. フロッピーディスク	138
	2. フロッピーディスクのセットと取り出し	139
	3. フロッピーディスクのフォーマット	140
10	CD	142
	1. CD	143
	2. CDのセットと取り出し	144
11	イーザーボタン	148
12	赤外線ポート	152
13	日常の取り扱いとお手入れ	153

8章 ローマ字入力一覧表

1	ローマ字入力一覧表	160
	さくいん	162

1章

2章

3章

4章

5章

6章

7章

8章

はじめに

このたびは、^{ダイナブック}DynaBookをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は高性能・コンパクトを特長とするパーソナルコンピュータです。本書は本製品の基本的な取り扱いかたをできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

■ 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



 省電力設定について ▶ 『活用編 4章 消費電力を節約する』

■ レーザー製品の取り扱いについて

- ・本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、または東芝 PC 集中修理センタに依頼してください。
- ・本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- ・レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

クラス1レーザー製品

■ 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■ 仕様について

本製品の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

Image Select License

Notice : POWERQUEST CORPORATION LICENSES THE ENCLOSED SOFTWARE TO YOU ONLY UPON THE CONDITION THAT YOU ACCEPT ALL OF THE TERMS CONTAINED IN THIS LICENSE AGREEMENT. PLEASE READ THE TERMS CAREFULLY BEFORE OPENING THIS PACKAGE, AS OPENING THE PACKAGE WILL INDICATE YOUR ASSENT TO THEM. IF YOU DO NOT AGREE TO THESE TERMS, THEN POWERQUEST IS UNWILLING TO LICENSE THE SOFTWARE TO YOU, IN WHICH EVENT YOU SHOULD RETURN THE FULL PRODUCT WITH PROOF OF PURCHASE TO TOSHIBA FROM WHOM IT WAS ACQUIRED WITHIN SIXTY DAYS OF PURCHASE.

LICENSE AND WARRANTY:

The software which accompanies this license (the " Software") is the property of PowerQuest Corporation or its licensors and is protected by copyright law. While Power Quest Corporation continues to own the Software, you will have certain rights to use the Software after your acceptance of this license. Ownership of the Software and all copies, modifications, and merged portions thereof shall at all times remain with PowerQuest or its licensors. Except as may be modified by a license addendum which accompanies this license, your rights and obligations with respect to the use of this Software are as follows:

● You may:

- (i.) use Image Select to apply a hard drive image onto that number of hard drives equal to the number of Image Select licenses granted by PowerQuest under this license
- (ii.) reuse an Image Select license for a specific hard drive to reapply additional images onto the same hard drive as long as you are doing so in the capacity of the end user of the hard drive and not as a reseller of systems containing that hard drive and
- (iii.) include an image file created by Image Select for disaster recovery purposes with any such hard drive transferred to you by a third party.

● You may not:

- (i.) reuse a license for Image Select after successfully using that license to create an image file onto a hard drive;
- (ii.) copy the documentation which accompanies the Software;
- (iii.) sublicense, assign, transfer, rent or lease any portion of the Software, or
- (iv.) reverse engineer, decompile, disassemble, modify, translate, make any attempt to discover the source code of the Software, or create derivative works from the Software.

- **NO WARRANTY.** The Software is being provided to you AS IS. PowerQuest does not warrant the Software to end users. If the Software fails to perform substantially in accordance with the documentation provided to Toshiba, PowerQuest will repair or replace the copy of the Software provided to Toshiba and will authorize Toshiba to provide such repaired or replaced Software to you without charge.

- **Disclaimer of Damages:**

REGARDLESS OF WHETHER ANY REMEDY SET FORTH HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, IN NO EVENT WILL POWERQUEST CORPORATION OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER ARISING OUT OF OR RELATED TO THE USE OR INABILITY TO USE THE SOFTWARE, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, INCLUDING ANY LOST PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION, LOST DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE SOFTWARE, OR OTHER PECUNIARY LOSS, EVEN IF POWERQUEST CORPORATION HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES, WHETHER SUCH LIABILITY IS BASED ON CONTRACT, TORT, WARRANTY, OR ANY OTHER LEGAL OR EQUITABLE GROUNDS.

SOME STATES DO NOT ALLOW THE LIMITATION OR EXCLUSION OF LIABILITY FOR INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES SO THE ABOVE LIMITATION OR EXCLUSION MAY NOT APPLY TO YOU.

IN NO CASE SHALL POWERQUEST CORPORATION LIABILITY EXCEED THE PURCHASE PRICE FOR THE SOFTWARE. The disclaimers and limitations set forth above will apply regardless of whether you accept the Software.

- **NO WAIVER.** Any failure by either party to this agreement to enforce a specific part of the agreement in a specific situation is not a waiver of rights under the agreement. The party may still enforce the rest of the agreement in that situation and may still enforce some or all of the agreement in other situations.

- **U.S. Government Restricted Rights:**

RESTRICTED RIGHTS LEGEND. Use, duplication, or disclosure by the Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 525.227-7013 or subparagraphs (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software-Restricted Rights clause at 48 CFR 52.227-19, as applicable, PowerQuest Corporation, 1359 North Research Way, Bldg K, Orem, UT 84097.

- **U.S. Government Restricted Rights:**

RESTRICTED RIGHTS LEGEND. Use, duplication, or disclosure by the Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.227-7013 or subparagraphs (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software-Restricted Rights clause at 48 CFR 52.227-19, as applicable, Symantec Corporation, 10201 Torre Avenue, Cupertino, CA 95014.

- **General:**

This agreement constitutes the entire agreement between you and PowerQuest pertaining to its subject matter. This agreement will be governed by the laws of the State of Utah. This Agreement may only be modified by a license addendum which accompanies this license of by a written document which has been signed by both you and PowerQuest Corporation. Should you have any questions concerning this Agreement, or if you desire to contact PowerQuest Corporation for any reason, please write: PowerQuest Corporation Customer Service Department, 1359 North Research Way, Bldg K, Orem, UT 84097.

Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ SmartMedia、スマートメディアは（株）東芝の商標です。
- ・ SoundBlaster は、合衆国やその他の国々における Creative の登録商標です。
- ・ PS/2 は米国 International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- ・ infoPepper は東芝情報システム株式会社の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

お願い

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・ 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ・ 本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、東芝 PC 集中修理センターにご依頼ください。パスワードの解除を東芝 PC 集中修理センターにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイヤルまでご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

表記について

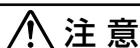
本製品のマニュアルは、次のきまりに従って書かれています。

記号の意味



警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。



注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。

お願い、■ お願い

・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



・知っておくと便利なことを説明しています。



・覚えておくと役に立つ用語を説明しています。



この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

(注) 補足説明をしています。

画面の表しかた

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total = ×××× KB

— このように画面または本文中の文字を×で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

入力するキー

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで書いています。

Yキーを押す→  を押してください。

1キーを押す→  を押してください。

Spaceキーを押す→  (スペースキー) を押してください。

操作の表現

操作や作業は、次のように示します。

【例】

●操作が1つで済む場合は、次のように示します。

Yキーを押す

●キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

Fn+**F2**キーを押す

この場合は、**Fn**キーを押したまま**F2**キーを押します。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Me Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME Microsoft® IME2000 を示します。

1 章

初めてパソコンを使うとき

初めて電源を入れるときの基本的な操作から、
電源を切るまでを説明しています。

初めにお読みください。

1	パソコンの準備	14
2	電源を入れる	18
3	基本操作を覚える	29
4	マウスを使う	31
5	電源を切る	36
6	ユーザ登録をする	37

1 パソコンの準備

1. パソコンの置き場所

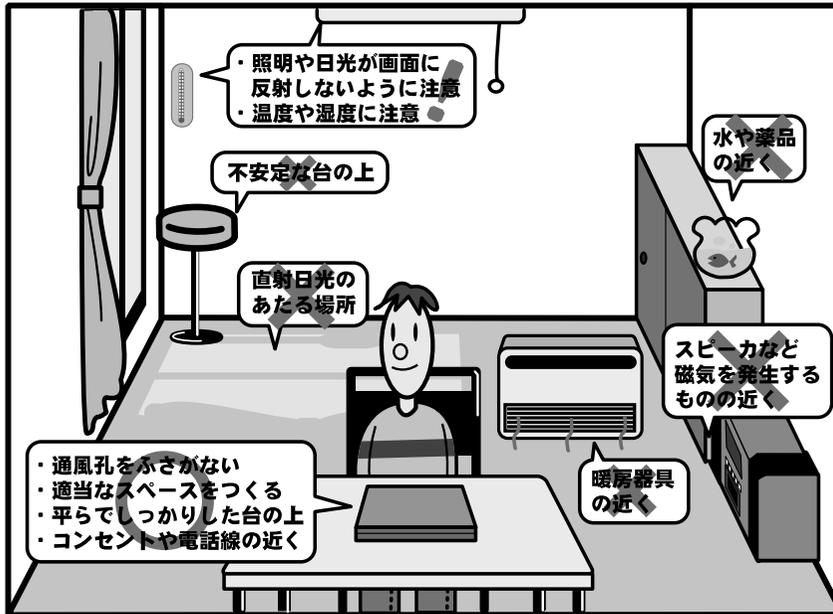
⚠ 警告

- ・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。
ショート、発煙のおそれがあります。

⚠ 注意

- ・ぐらついた台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないでください。
パソコンが落ちたり、倒れたりしてケガをするおそれがあります。

パソコンを置く環境をととのえることによって、お使いになる人の疲れを少なくすることができます。また、本製品をより長い間お使いいただけます。ここでは、安全に、より快適に本製品をお使いいただく環境について説明します。



🙏 お願い

- ・ステレオスピーカなど、強い磁気を発するもののそばに置かないでください。
そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。

設置する環境

- 温度は5～35℃、湿度は20～80%の環境にする
- 急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- 暖房器具などの熱いものの近くには置かない
- 腐食性の薬品のそばに置かない
- パソコン本体の通風孔をふさがないように置く
- 適当な高さや距離をおき、平らな場所に置く
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように設置してください。
- パソコン本体に向かって正面に座り、マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
- ディスプレイの角度を調節しやすくするために、パソコン本体の背面をある程度空けておく
明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節してください。
- 換気のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する
- インターネットに接続するなら、電話線接続口の近くに置く

使うときの姿勢

- キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
- おしりよりも膝が少し高くなるように座る
- 背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
- 膝と肘はほぼ90度になるように、まっすぐ座る
前に屈んだり、背もたれによりかかたりしないで使用してください。

健康のために気をつけたいこと

- リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
- 適度に姿勢を変える
- 時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
- 長時間画面を見続けられないようにする
15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。
- 一度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる
30分に2～3分とるのが理想的です。

2. 電源につなぐ

警告

- ・付属の電源コードでは、AC100V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
- ・必ず本体付属の AC アダプタを使用してください。
本体付属以外の AC アダプタをご使用になりますと、電圧や (+) (-) の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙のおそれがあります。
- ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。

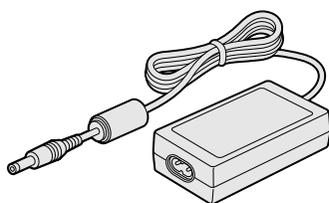
注意

- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
- ・ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- ・電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。電源プラグを持って抜いてください。

■ AC アダプタ

パソコン本体に電源を供給する機器です。電源コネクタに接続します。

AC アダプタを接続していると、AC アダプタやバッテリーが温かくなる場合がありますが、故障ではありません。



仕様は次のとおりです。

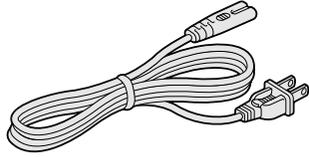
入力	AC100V、1.5A、50-60Hz
出力	DC19V、2.4A

お願い

- ・AC アダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

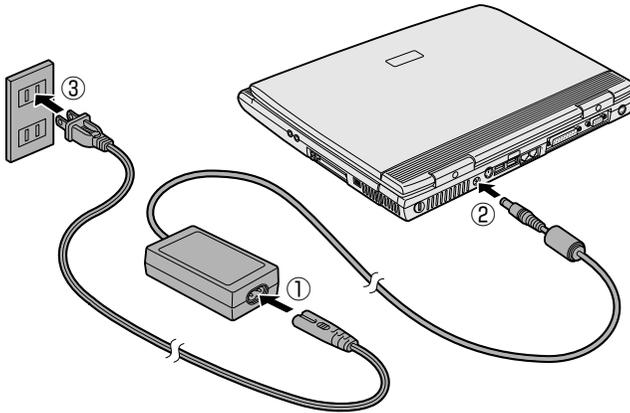
■ 電源コード

電源コンセントから、ACアダプタに電源を供給するケーブルです。



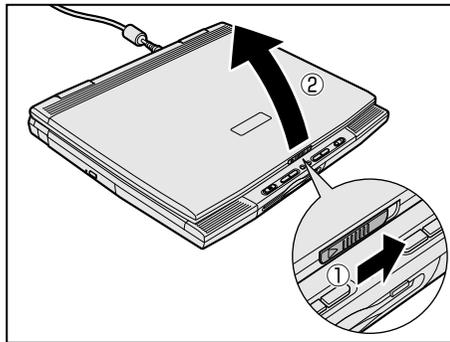
ACアダプタに接続します。

パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリーパックを必ず取り付けておいてください。ACアダプタ、電源コードの接続は、次の図の①→②→③の順に行います。はずすときは逆の③→②→①の順で行います。

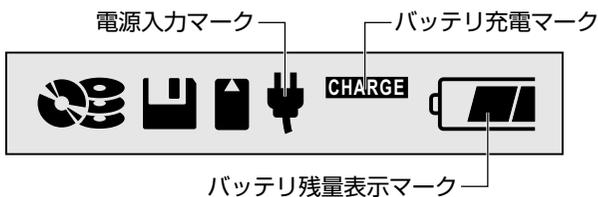


電源コードが接続できたら、ディスプレイを開きます。

ディスプレイ開閉ラッチを右にスライドさせ①、両手を使って、ディスプレイをゆっくり起こしてください②。



ディスプレイを開いたら、バッテリー充電マークが点滅し、電源入力マークとバッテリー残量表示マークが点灯しているか確認してください。



2

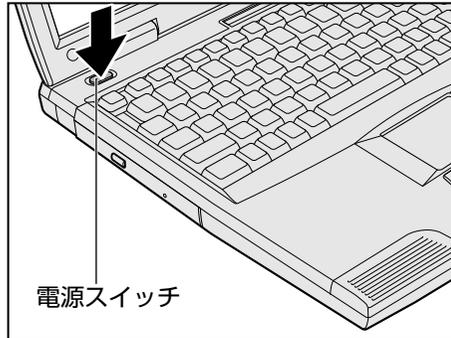
電源を入れる

1. 電源を入れる

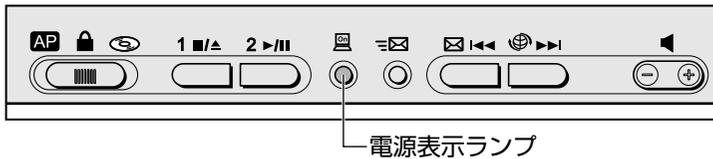
電源を入れるときには、次の手順で行なってください。

1 電源スイッチを押す

ゆっくり押してください。



電源スイッチから指を離したら、次のランプが緑点灯するのを確認してください。



2. Windows のセットアップ

パソコンの電源を初めて入れたときには、^{Windows}Windowsが使えるようにするために「Windows セットアップ」という操作が必要です。

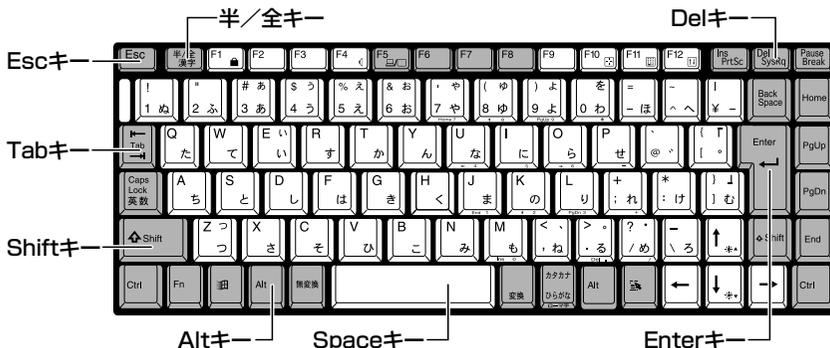
1度Windowsのセットアップをすれば、2回目以降は、電源を入れるとすぐにパソコンを使うことができます。

「Windowsセットアップ」は、ACアダプタと電源コードのみを接続した状態で行なってください。その他の機器は接続しないでください。

セットアップには、キーボード、タッチパッド、左ボタンの操作が必要です。

キーボード

セットアップでは次のキーを使用します。



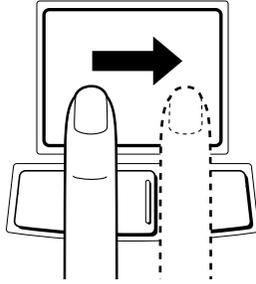
・お使いになるWindowsの管理番号を、「Product Key」といいます。Product Keyはパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。紛失した場合、マイクロソフト社からの保守が受けられなくなります。

タッチパッドと左ボタンの使いかた

Windows のセットアップをするために次の操作が必要です。
よく使う操作なので覚えてください。

■ マウスポインタを動かす

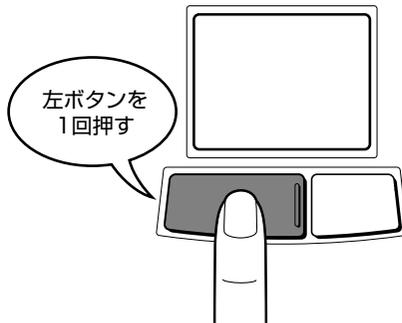
画面上にある矢印マーク () をマウスポインタといいます。
タッチパッドに指を置き、指を上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。



 タッチパッドの詳しい使いかた ▶ 「本章 3 基本操作を覚える」

■ クリックする

マウスポインタを、画面上の目的の位置にあわせ、左ボタンを1回押すことです。



 左ボタンの詳しい使いかた ▶ 「本章 3 基本操作を覚える」

セットアップの手順

次の手順に従って、セットアップを行なってください。
初めて電源を入れると、[Windows パスワードの入力] 画面が表示されます。

1 ユーザー名を入力する

(Shift) + (Tab) キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

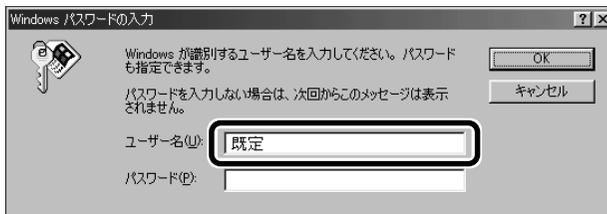
(Del) キーを押して「既定」を削除してください。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システムを起動します。

(半/全) キーを押してください。

 日本語入力システムについて ▶ 「4章 3 文字を入力する」



●ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

 ローマ字入力について ▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」

【例】“なかた” または “中田” と入力する場合

1 (N)(A)(K)(A)(T)(A) とキーを押す

“なかた” と表示されます。入力ミスをした場合は、(BackSpace) キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、(Enter) キーを押す

“なかた” で確定されます。

漢字に変換する場合は (Space) キーを押し、目的の漢字が表示されたら、(Enter) キーを押す

(Space) キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。(Enter) キーを押すと、選択した漢字で確定します。



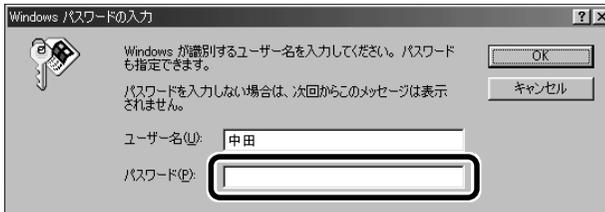
・[Windows セットアップ] 中は、電源を切らないでください。



・[Windows セットアップ] を行う前に、30分以上タッチパッドやキーを操作しなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。もう1度表示するには、(Shift) キーを押すか、タッチパッドを操作してください。

2 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、**(Tab)**キーを押します。
パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4～8文字
を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。



使用できる文字	アルファベット（半角）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字（半角）	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（単独のキーで入力できる文字の一部）	- ^ @ [] : ; , . / （スペース）
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全角文字（2バイト文字） ・ 日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】 漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など ・ 単独のキーで入力できない（入力するときに(Shift)キーなどを使用する）文字 【例】 （バーチカルライン）、&（アンド）、 ~（チルダ） など ・ ￥（エン） ↓ ↓ キーや ↵ キーを押すと￥が入力されます。 	

入力したパスワードは「****」で表示されます。
パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、**(BackSpace)**キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、**[OK]** ボタンをクリックします。
[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。

3 登録したパスワードをもう1度入力し、[OK] ボタンをクリックする



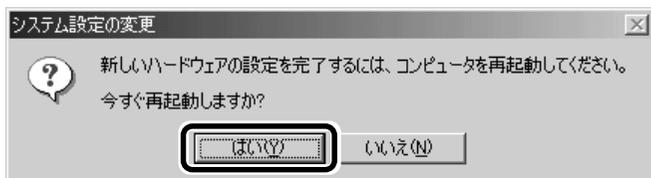
入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう1度入力し直してください。

●登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 (Del)キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する
- 2 (Shift)キーと (Tab)キーを同時に押す
カーソルが [新しいパスワード] に戻ります。
- 3 (Del)キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 (Tab)キーを押す
- 6 [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
- 7 [OK] ボタンをクリックする

[システム設定の変更] 画面が表示されます。

4 [はい] ボタンをクリックする



メッセージが表示されたら、すぐに [はい] ボタンをクリックして、再起動してください。

このメッセージが表示された状態でしばらく操作を行わないと、再起動できなくなる場合があります。操作できなくなった場合は、(Ctrl)+(Alt)+(Del) キーを2度押して再起動してください。

[Windows へようこそ] 画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックしてください。

[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。

マーリンの自己紹介が始まります。マーリンは、操作が途中でわからなくなったときに助けてくれるキャラクターです。

操作が途中でわからなくなったときは、マーリンをクリックするか、(F1) キーを押してください。メニューが表示されます。ご覧になりたい項目をクリックすると説明が始まります。

5 [次へ] ボタンをクリックする



「日本語の入力を練習しましょう」画面が表示されます。

6 [省略] ボタンをクリックする



日本語入力の練習を行う場合は [次へ] ボタンをクリックして次の画面に進んでください。

[省略] ボタンをクリックした場合は、[タイムゾーンを選択する] 画面が表示されます。

ここでは、日本語入力の練習は省略します。

 日本語入力について ▶ 「4 章 3 文字を入力する」

7 [タイムゾーン] で [(GMT + 09:00) 東京、大阪、札幌] が選択されていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックする



[(GMT + 09:00) 東京、大阪、札幌] が選択されていない場合は、
 ▼ ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

[使用許諾契約書に同意] 画面が表示されます。

契約内容を必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、
 ▲ ▼ ボタンをクリックするか、(PgUp)キー、(PgDn)キーを使って画面
 を動かしてください。

8 [同意します] をチェック (左側の○印をクリック) して、[次へ] ボタンをクリックする



契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

[登録先 : Microsoft] 画面が表示されます。

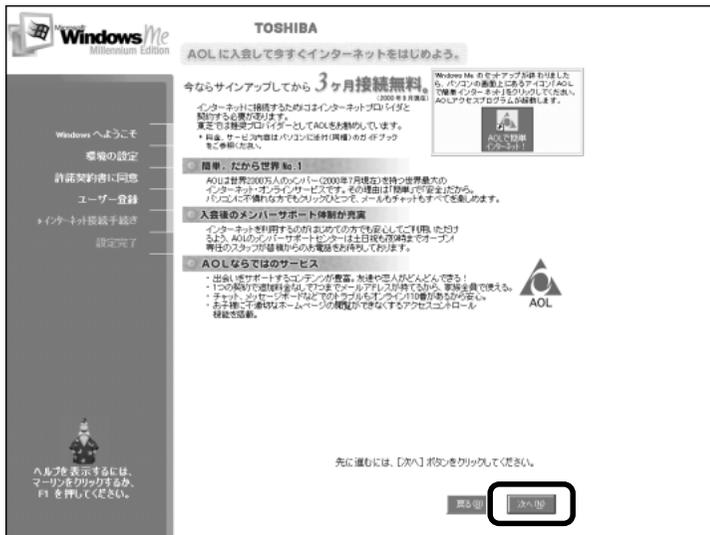
9 [いいえ、今は登録しません] をチェック (左側の○印をクリック) して、[次へ] ボタンをクリックする



オンライン登録には、インターネット (モデム) への接続が必要です。ここではインターネットへの接続は行いません。インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ後に行えます。

[AOLに入会して今すぐインターネットをはじめよう。] 画面が表示されます。

10 [次へ] ボタンをクリックする

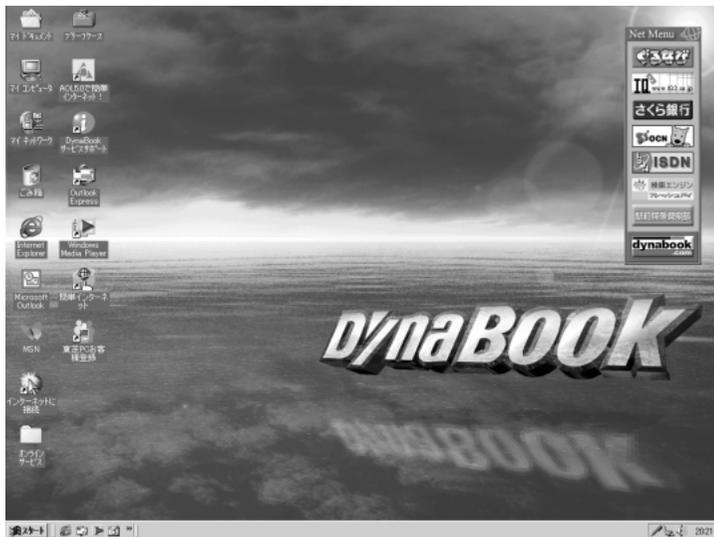


[設定が完了しました] 画面が表示されます。

11 [完了] ボタンをクリックする



Windows のセットアップが終了し、デスクトップ画面が表示されます。



(表示例)

 デスクトップについて ▶ 「3章 1 デスクトップとは」

Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、「3章 パソコンをさわってみよう」、または同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』をご覧ください。

3. イージーボタンとタッチパッドを使うには

Windowsのセットアップ終了後、イージーボタンとタッチパッドを使うための準備をします（インストール）。

イージーボタンの設定

1 [スタート] - [プログラム] - [Easy Button] - [Setup] をクリックする

画面が表示されます。

2 [OK] ボタンをクリックする



インストールが始まります。

インストールされると、画面右下に次のアイコンが表示され、イージーボタンが使えるようになります。



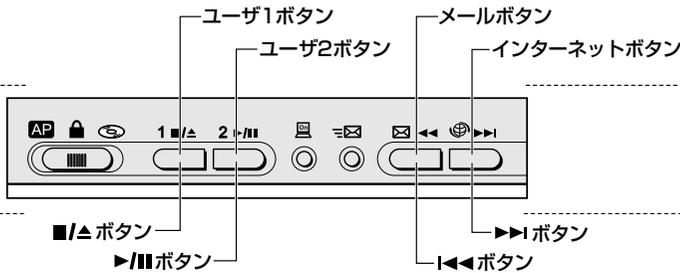
[メール] アイコン — [EasyButton] アイコン

〈イージーボタン〉

アプリケーションモード

(機能切り替えスイッチ：左)

ボタンの詳細 ▶ 「7章 11 イージーボタン」



音楽CDモード

(機能切り替えスイッチ：右)

ボタンの詳細 ▶ 「5章 1 音楽CDを聴く」

[閉じる] ボタン () をクリックして、開いている画面を閉じてください。

1 章

初めてパソコンを使うとき



用語

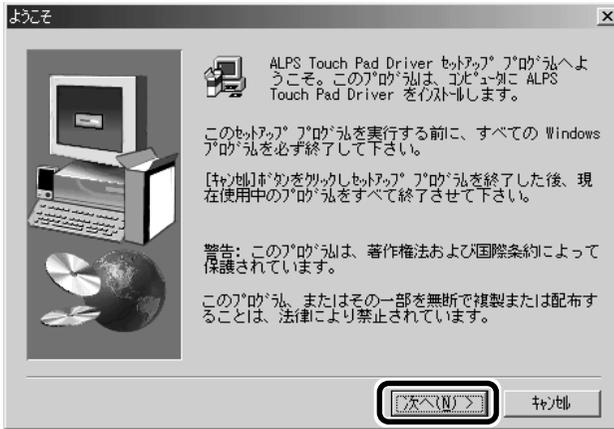
・インストール
必要なファイルなどをパソコンに組み込み、アプリケーションを使えるようにすること。

タッチパッドの設定

1 [スタート] - [プログラム] - [タッチパッド] - [セットアップ] をクリックする

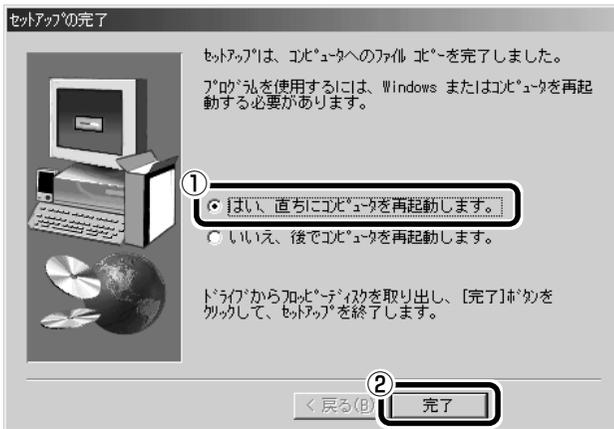
画面が表示されます。

2 [次へ] ボタンをクリックする



インストールが始まります。
終了すると、画面が表示されます。

3 [はい、直ちにコンピュータを再起動します。] が選択されているのを確認し①、[完了] ボタンをクリックする②



パソコンが再起動します。[Windows へようこそ] 画面が表示されたらパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。
画面右下に次のアイコンが表示され、タッチパッドの便利な機能を使えるようになります。



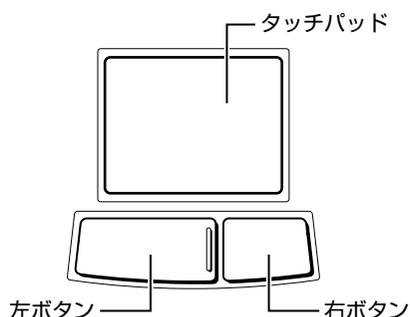
— [タッチパッド] アイコン

 タッチパッドの設定方法について ➡ 「7章 3 タッチパッド」

3

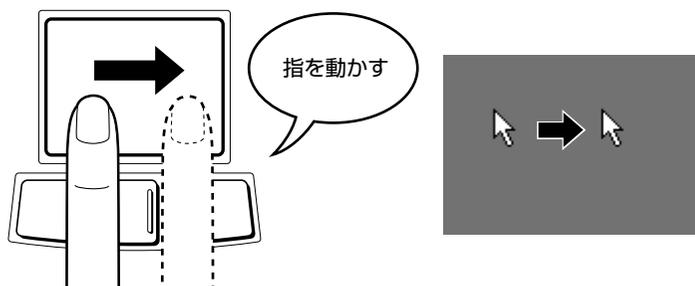
基本操作を覚える

画面上に表示される()を「マウスポインタ」といいます。タッチパッドと左ボタン/右ボタンを使って、マウスポインタを動かし、パソコンを操作します。



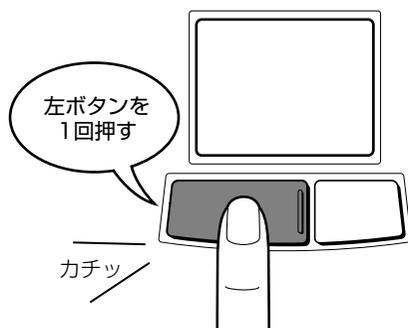
マウスポインタを動かす

タッチパッドに指を置き、指を上下左右に動かすと、マウスポインタが指の方向にあわせて動きます。



クリックする

マウスポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを1回押すことです。



お願い

・タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなど先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが壊れるおそれがあります。

1章

初めてパソコンを使うとき

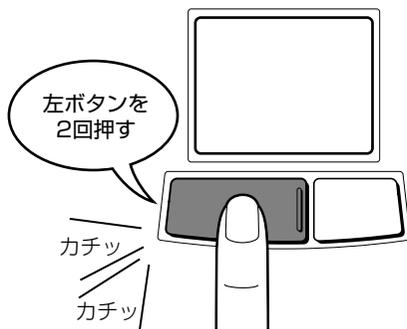


メモ

・指がタッチパッドの端まできてしまいそれ以上動かせなくなったときは、いったん指をタッチパッドから離して、指をタッチパッドの中央に置き直して操作します。

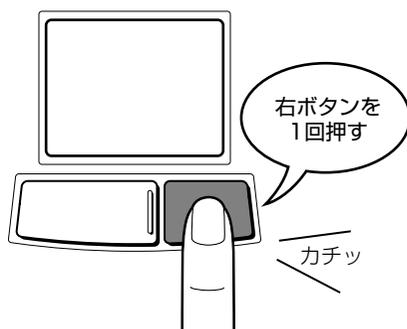
ダブルクリックする

マウスポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンをすばやく2回押すことです。



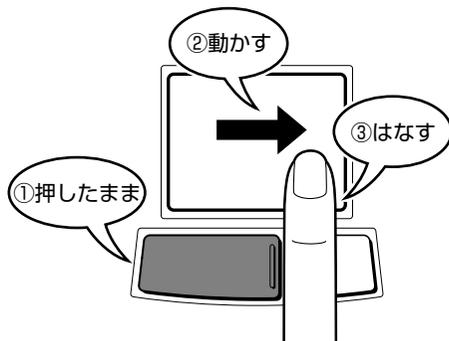
右クリックする

マウスポインタを目的の位置にあわせて、右ボタンを1回押すことです。



ドラッグアンドドロップする

左ボタンを押したまま①、タッチパッドでマウスポインタを動かします②（ドラッグ）。マウスポインタが目的の位置に移動したら、左ボタンから指を離します③（ドロップ）。



ここで説明した内容はタッチパッドの基本的な機能です。

タッチパッドの設定を変更したり、便利な機能を使ってみたいときは「7章 3 タッチパッド」をご覧ください。

便利な機能を使うときは、Windowsセットアップ終了後、タッチパッドのユーティリティを必ずインストールしてください。

 インストール方法 ▶ 「本章 2-3 イージーボタンとタッチパッドを使うには」

4

マウスを使う

本製品に同梱されているマウスをパソコンに接続して使用します。
パソコンの操作はタッチパッドから行えますが、マウスを使うと、より簡単にできます。

⚠ 注意

- ・ PS/2 マウスを接続する場合には、必ず電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま接続すると、故障のおそれがあります。

1. 取り付ける

PS/2 マウスは必ず電源を切って接続します。

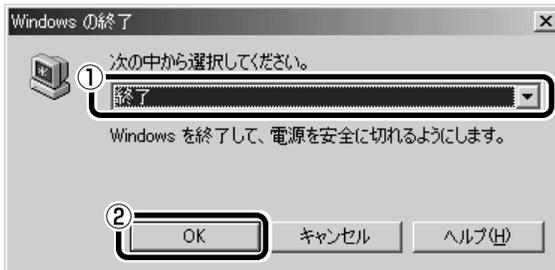
- 1 画面左下にある [スタート] ボタンをクリックし①、[Windows の終了] をクリックする②



(表示例)

[Windows の終了] 画面が表示されます。

- 2 [終了] が選択されていることを確認し①、[OK] ボタンをクリックする②

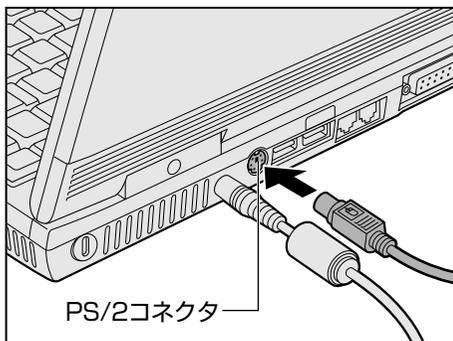


画面が暗くなり、パソコン本体の電源表示ランプが消えます。
電源表示ランプが消えると、電源が切れたことになります。

3 PS/2 コネクタに、PS/2 マウスのプラグを差し込む

接続するときは、プラグに印刷されているマークを上にしてしっかりと奥まで差し込んでください。

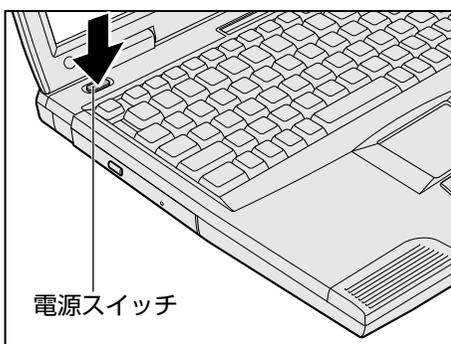
コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりして、パソコン本体やマウスが使えなくなることがあります。



4 電源スイッチを押す

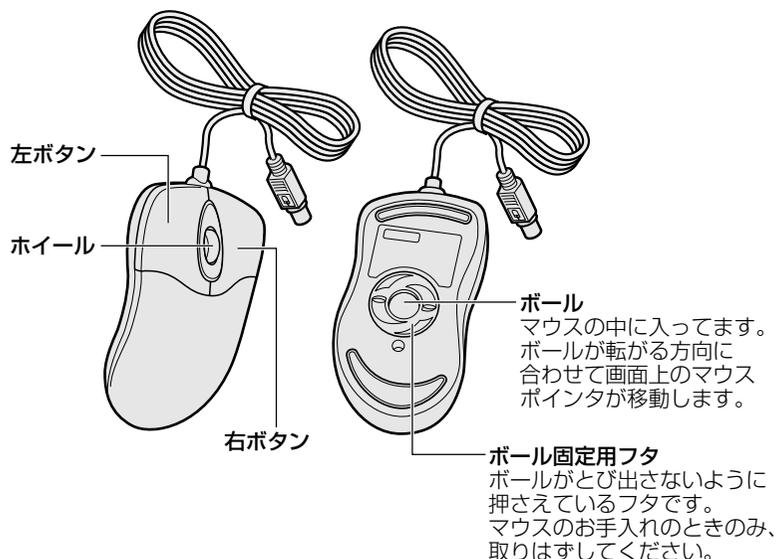
電源が入ります。

[Windows へようこそ] 画面が表示されたら、パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。



2. マウスの使いかた

マウスはタッチパッドや左ボタン／右ボタンと同じ働きをします。



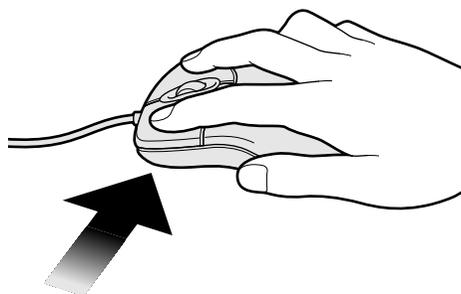
マウスの持ちかた

マウスを手のひらで包むように持ち、人差し指と中指をボタンの上に置きます。



マウスポインタを動かす

滑らせるようにしてマウスを上下左右に動かします。ポインタがマウスの動きにあわせて動きます。



・マウスは平らな机の上などで使用してください。
ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。



・マウスを動かす場所がなくなったときは、いったんマウスを持ち上げてマウスを動かせる位置に戻してください。

クリックする

マウスポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを1回押すことです。



ダブルクリックする

マウスポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンをすばやく2回押すことです。



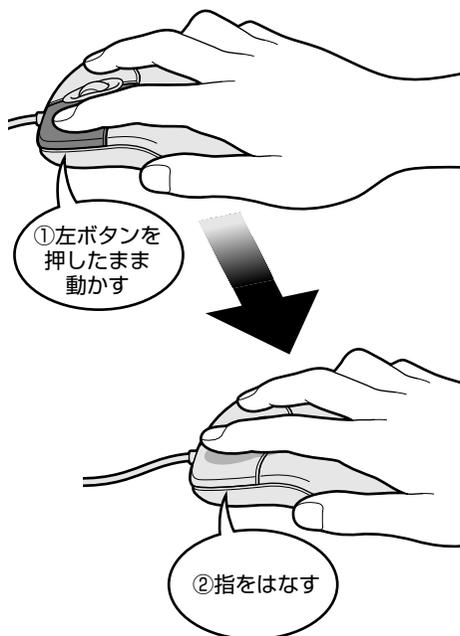
右クリックする

マウスポインタを目的の位置にあわせて、右ボタンを1回押すことです。

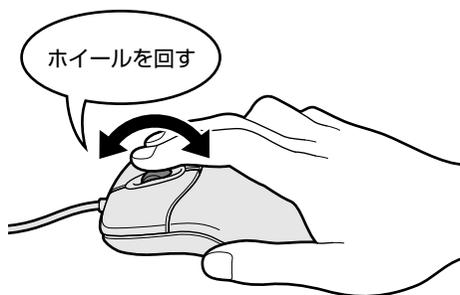


ドラッグアンドドロップする

左ボタンを押したまま、マウスを動かします①（ドラッグ）。マウスポインタが目的の位置に移動したら、ボタンから指を離します②（ドロップ）。

**スクロールする**

画面を動かすことをスクロールといいます。スクロールすることによって、画面の隠れてしまっている部分を見ることができます。ホイールを回すと画面が上下に動きます。



ここで説明したのはマウスの基本的な機能です。ボタンの役割など使いやすいように設定したい場合は、Windowsの[マウスのプロパティ]で変更することができます。

 [マウスのプロパティ]

- ▶ [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリック - [マウス] をダブルクリック



- ・マウスの動きを滑らかにするためには、マウスパッドのご使用をおすすめします。
- ・左ききのかたの場合は、左右のボタンの役割を入れ替えて、パソコンの左側にマウスを置くと便利です。

5

電源を切る

ひとまずWindowsを終了して電源を切ってみましょう。
画面左下の「スタート」ボタンから行います。

1 画面左下にある「スタート」ボタンをクリックする



(表示例)

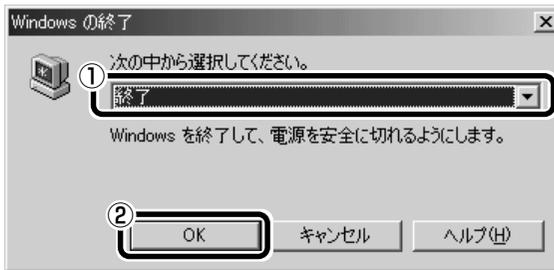
2 「Windowsの終了」をクリックする



(表示例)

「Windowsの終了」画面が表示されます。

3 「終了」が選択されていることを確認し①、「OK」ボタンをクリックする②



画面が暗くなり、パソコン本体の電源表示ランプが消えます。
電源表示ランプが消えると、電源が切れたことになります。

本製品をお使いになるにあたって、東芝とマイクロソフト社のユーザ登録を行なってください。今後のサービス・サポートが受けられます。

東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合は、パソコンの内蔵モデムをモジュラーケーブルで電話回線につなぎ、インターネットに接続する必要があります。

 詳細について ▶ 『インターネット編』

インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

■ インターネットで登録する

- ① [スタート] - [プログラム] - [東芝 PC お客様登録] - [東芝 PC お客様登録] をクリックする
- ② 表示される画面の内容を読み、[次へ] ボタンをクリックする
- ③ 表示される画面に従って操作する

[インターネットプロバイダと未契約の方] を選択した場合：

インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。

[インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくはLAN経由でインターネット接続されている方] を選択した場合：

インターネットに接続してユーザ登録できます。

[インターネット経由での登録を希望しない方] を選択した場合：

はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

■ すでに他のプロバイダに入会している場合

インターネットに接続するための設定を行なった後、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

マイクロソフト社へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合は、パソコンの内蔵モデムをモジュラーケーブルで電話回線につなぎ、インターネットに接続する必要があります。

 詳細について ▶ 『インターネット編』

- ① [スタート] - [ヘルプ] をクリックする
[ヘルプとサポート] 画面が表示されます。
- ② [Windows Millennium Edition を使う] をクリックする
- ③ [アプリケーションの登録] をクリックする
- ④ [Windows オンラインに登録する] をクリックする
- ⑤ 右画面の [ここをクリック] をクリックする
ウィザードが起動します。
- ⑥ 表示される画面に従って登録を行う

2 章

電源を入れる／切る

パソコンの電源を入れる／切るには、いろいろな方法があります。
本章ではこれらの方法について説明します。

- | | | |
|----------|----------------|----|
| 1 | 電源を入れる | 40 |
| 2 | 電源を切る | 42 |
| 3 | 作業を中断する | 44 |
| 4 | 簡単に電源を切る | 47 |

1

電源を入れる

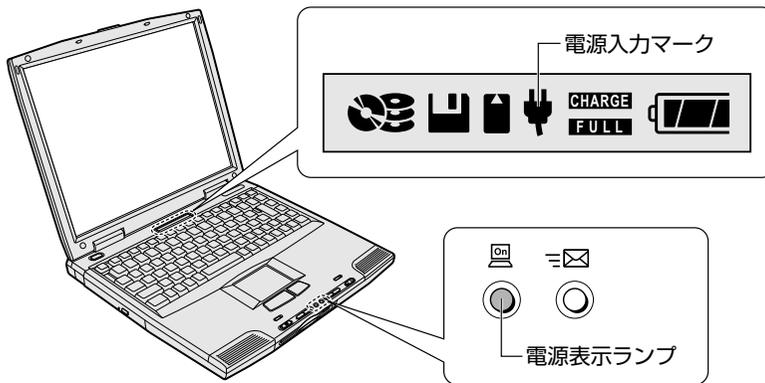
⚠ 注意

- ・パソコンの電源を長い間入れていると、パソコン本体の表面が熱を帯びます。長い間に渡って、素肌が直接接触れないようにしてください。長い間触れていると、低温やけどになるおそれがあります。
- ・スタンバイ状態は電源が入った状態です。パソコンを持ち運ぶときには、必ず電源を切ってください。

ここでは、Windowsのセットアップを終えた後、電源を入れる方法について説明します。

電源に関する表示

次のマークとランプが、電源に関する表示です。



それぞれの意味は次のとおりです。

	状態	パソコン本体の状態
電源入力マーク 	表示中	ACアダプタを接続している
	消灯	ACアダプタを接続していない
電源表示ランプ 	点灯	電源ONまたは 音楽CDモード時（機能切り替えスイッチ：右）  音楽CDモード  「5章 1 音楽CDを聴く」
	点滅	スタンバイ中
	消灯	電源OFF

⚠ 注意

- ・状態表示パネルのCD/ハードディスクマーク  やフロッピーディスクマーク  表示中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンやCD-ROMドライブの取り出しボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブが壊れるおそれがあります。
- ・パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。故障の原因になります。もう1度電源を入れるときは、およそ5秒以上たってから入れてください。
- ・ディスプレイを閉じる場合は、静かに閉じてください。ディスプレイを強く閉じると、衝撃でパソコン本体が故障するおそれがあります。
- ・パソコンを持ち運ぶときには、必ず電源を切ってください。
- ・電源を切っている途中でディスプレイを閉じないでください。電源表示ランプが消えたら、ディスプレイを閉じてください。

パソコン本体の電源は、必ず手順に従って電源を切ってください。手順どおりに電源を切らないと、パソコン本体が故障する、またはデータが消失するおそれがあります。

周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。

作業を中断したときの状態をいったん保存して、またすぐに使う場合は、スタンバイ機能を実行、または休止状態にすることができます。

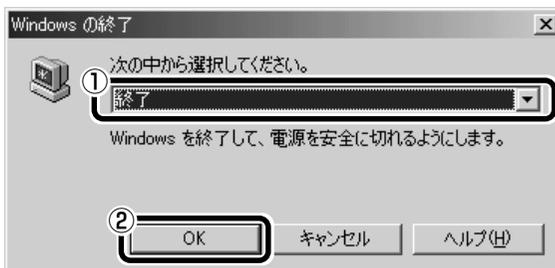
 スタンバイ機能、休止状態について ▶ 「本章 3 作業を中断する」

1 データを保存し、アプリケーションを終了する

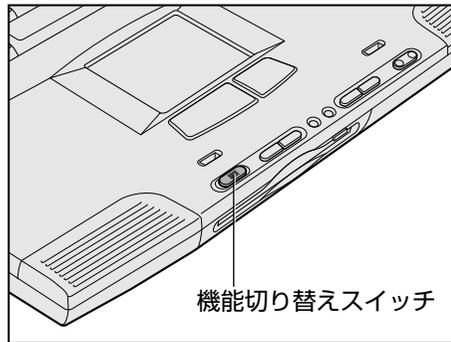
2 [スタート] ① - [Windows の終了] ②をクリックする



3 [終了] が選択されていることを確認し①、[OK] ボタンをクリックする②



4 機能切り替えスイッチを ロック状態（中央）にする



機能切り替えスイッチをアプリケーションモード（左）または音楽 CD モード（右）にしていると、バッテリーを早く消耗します。パソコン本体の電源を切っているときは、ロック状態に設定してください。

3

作業を中断する

スタンバイ機能を実行したり、休止状態にすると、作業を中断したときの状態から、すぐに使うことができます。

スタンバイ機能

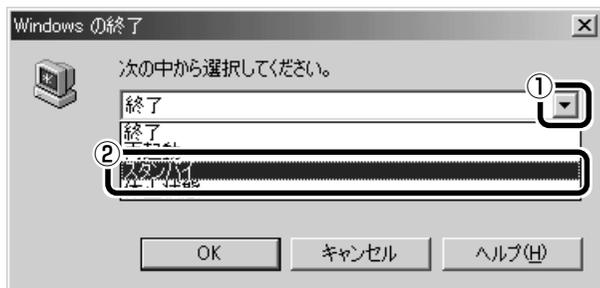
作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。スタンバイ機能を実行した後に電源を入ると、状態を再現することができます。

スタンバイ機能を実行するとすばやく状態が再現されますが、休止状態にしたときよりバッテリーを消耗します。バッテリーを使い切ってしまうとデータは消失しますので、スタンバイ機能を実行する場合は、ACアダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。

1 [スタート] ① - [Windows の終了] ②をクリックする



2 ▼ ボタンをクリックし①、[スタンバイ] を選択する②



3 [OK] ボタンをクリックする

メモリへの保存が終わると、画面が真っ暗になります。

4 電源表示ランプが緑点減しているか確認する

スタンバイ機能を実行したときも、電源を入れる手順は同じです。



- ・スタンバイ機能を実行したときは、パソコンを持ち運ばないでください。
- ・スタンバイ機能または休止状態に設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

休止状態

⚠ 注意

- ・ 休止状態になる前にディスプレイを閉じないでください。電源表示ランプが消えたら、ディスプレイを閉じてください。

作業を中断したときの状態をハードディスクに保存して電源を切ります。次に電源を入れると、状態を再現することができます。パソコンをバッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることをおすすめします。

1 休止状態を有効に設定する

ご購入時は休止状態は有効になっています。

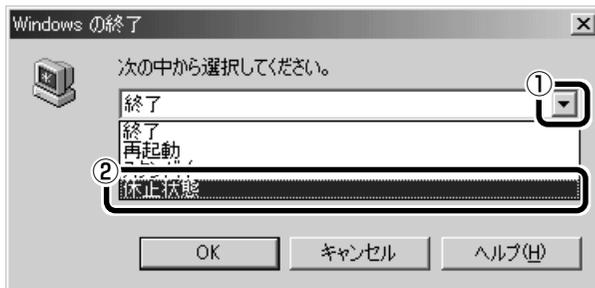
- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [電源の管理] アイコンをダブルクリックする
- ③ [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする (☑)

休止状態が有効になります。

2 [スタート] ① - [Windows の終了] ② をクリックする



3 ▼ ボタンをクリックし①、[休止状態] を選択する②



4 [OK] ボタンをクリックする

休止状態を実行したときも、電源を入れる手順は同じです。

[スタート] メニューから以外にも、電源スイッチを押したとき、ディスプレイを閉じたときにもスタンバイ機能を実行したり、休止状態にすることができます。その場合は、設定が必要です。

休止状態について ▶ 「本章 4 簡単に電源を切る」

スタンバイ機能について ▶ 『活用編 4章 2 スタンバイ機能を使う』

🙏 お願い

- ・ 休止状態にするときは、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、CD/ハードディスクマーク が表示されます。マーク表示中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。

メモ

- ・ [コントロールパネル] 画面に [電源の管理] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

2章

電源を入れる／切る

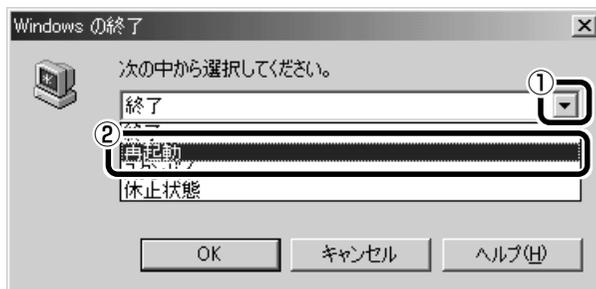
再起動

いったんWindowsを終了した後、すぐにもう1度起動することを再起動といいます。パソコンの設定を変えたときや、パソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。

1 [スタート] ① - [Windowsの終了] ②をクリックする



2 ▼ ボタンをクリックし①、[再起動] を選択する②



3 [OK] ボタンをクリックする

[スタート] メニューから電源を切る、または作業を中断する以外にも、電源スイッチを押したとき、ディスプレイを閉じたときに、電源を切る、または休止状態にすることができます。

電源スイッチを押す

電源スイッチを押すと電源を切る、または休止状態に設定できます。
ご購入時は「電源オフ」（電源を切る）に設定されています。

休止状態にする場合は、休止状態が有効になっているか確認してください。
ご購入時は有効になっています。

 休止状態を有効にする ▶ 「本章 3- 休止状態」

1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [電源の管理] アイコンをダブルクリックする
- ③ [詳細設定] タブの [コンピュータの電源ボタンを押したとき] で [休止状態] [電源オフ] のいずれかを選択する
- ④ [OK] ボタンをクリックする

2 電源スイッチを押す

設定に応じて電源を切る、または休止状態を実行します。

ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じると電源を切る、または休止状態に設定できます。
ご購入時は「なし」（何もしない）に設定されています。

休止状態にする場合は、休止状態が有効になっているか確認してください。
ご購入時は有効になっています。

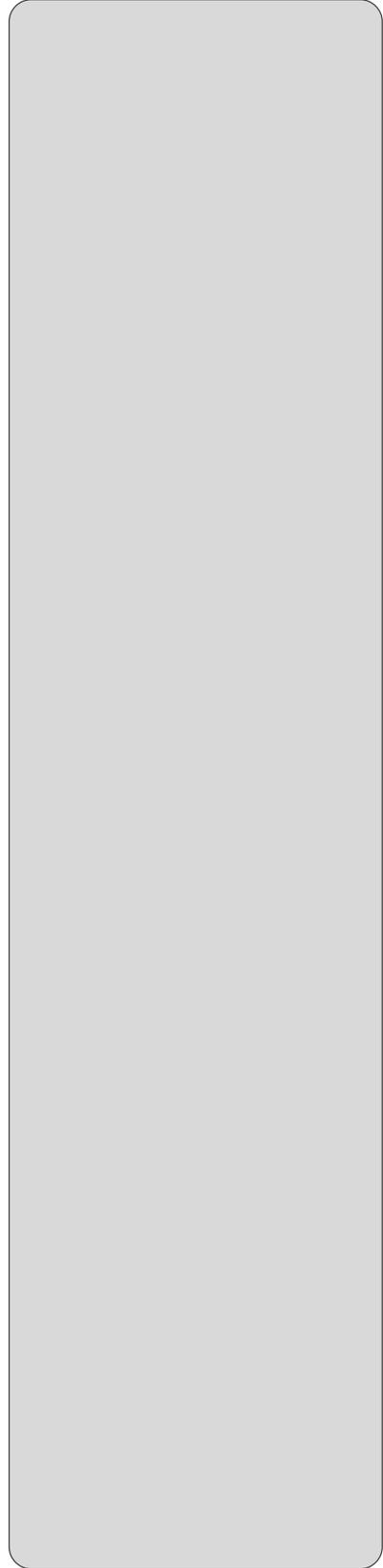
 休止状態を有効にする ▶ 「本章 3- 休止状態」

1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [電源の管理] アイコンをダブルクリックする
- ③ [詳細設定] タブの [ポータブルコンピュータを閉じたとき] で [なし] [休止状態] [電源オフ] のいずれかを選択する

2 ディスプレイを閉じる

設定に応じて、何もしない、電源オフ、休止状態のいずれかが実行されます。



3章

パソコンをさわってみよう

Windows の基本操作について説明します。
初めて Windows をお使いになるときにお読みください。

- 1 デスクトップとは 50
- 2 ウィンドウを開く 51
- 3 ファイルやフォルダを作る 52
- 4 ファイルやフォルダをコピーする 59
- 5 ファイルやフォルダを削除する 61

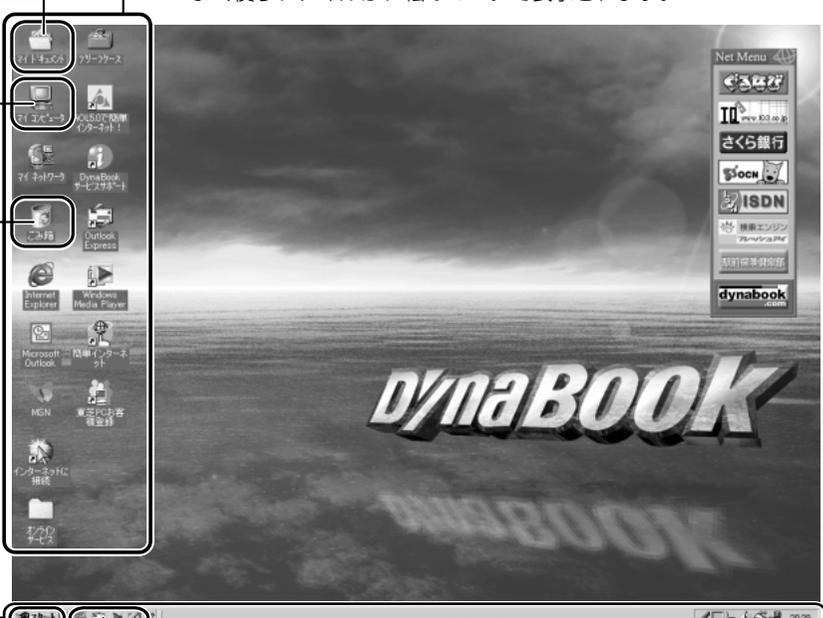
1 デスクトップとは

パソコンに表示される画面全体をデスクトップといいます。

デスクトップとは「机の上」のことで、画面全体を机、パソコンを使って動かすものを文房具などの道具にたとえた言いかたです。パソコンでも机の上のように、いろいろな道具を使って作業することができます。

ここでは、デスクトップに表示されているものの役割を確認しましょう。

*本章で使用している画面は表示例です。



アイコン
よく使うファイルが、絵のマークで表示されます。

マイ ドキュメント
自分で作った文書などを保存する場所です。

マイ コンピュータ
お使いのパソコンの構成を知ることができます。

ごみ箱
いらなくなったファイルをいったんここに捨て、まとめて消去します。

クイック起動ボタン
通常はアイコンや [スタート] メニューから起動するものを、ボタンをクリックするだけで簡単に起動できます。

[スタート] ボタン
このボタンをクリックすると、[スタート] メニューが表示されます。マウスポインタでメニューの階層をたどってクリックすると、目的の操作を始めることができます。

タスクバー
現在、Windows上で作業しているものの名前が一覧表示されます。右端にはいろいろなアイコンが表示され、音量などの設定が手軽にできます。また、バッテリーの状態も確認できます。



・ Windows の使いかたについては、同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』、または [スタート]-[ヘルプ] をクリックして、『ヘルプとサポート』もご覧ください。

2 ウィンドウを開く

Windowsでは、1つ1つのデータや道具を窓のかたち（ウィンドウ）で開き、操作します。

「マイドキュメント」のウィンドウを開いてみましょう。

1 デスクトップにある【マイドキュメント】アイコン（)にマウスポインタをあわせ、ダブルクリックする

【マイドキュメント】のウィンドウが開きます。

閉じるボタン——
ウィンドウを閉じます。

最大化ボタン（元のサイズに戻すボタン）——
ウィンドウを画面いっぱいに表示します。
最大化された状態のとき、同じ位置に出る元のサイズに戻すボタン（)をクリックすると、ウィンドウが元の大きさに戻ります。

最小化ボタン——
ウィンドウをタスクバーにおさめます。
タスクバーのウィンドウ名をクリックすると、元に戻ります。

タイトルバー——
ウィンドウの名前が表示されます。
この部分にマウスポインタをあわせてドラッグすると、ウィンドウを移動することができます。

メニューバー——
それぞれのボタンをクリックすると、メニューが表示されます。項目をクリックして、いろいろな指示を出すことができます。

ツールバー——
メニューバーのメニューの中で、よく使う指示がボタンで表示されます。

アドレスバー——
開いているウィンドウが、パソコンのどこにあるのかを表示します。

ステータスバー——
ウィンドウの状態などが表示されます。



ウィンドウ説明——
ウィンドウの名前やアイコンの内容説明が表示されます。

スクロールバー——
ウィンドウの大きさでは画面に表示しきれない部分があるときに表示されます。
バーをドラッグするか、矢印ボタン（)をクリックしてスクロールすることができます。

ウィンドウの境界線にマウスポインタをあわせると、矢印が（)の形に変わります。その状態でドラッグすると、ウィンドウの大きさを変えることができます。

ここからは、表示される画面全体のことを「デスクトップ」、開いたウィンドウのことを「画面」と呼びます。

3 章

パソコンをさわってみよう

3

ファイルやフォルダを作る

パソコンのデータは、「ファイル」の単位で保存・整理します。

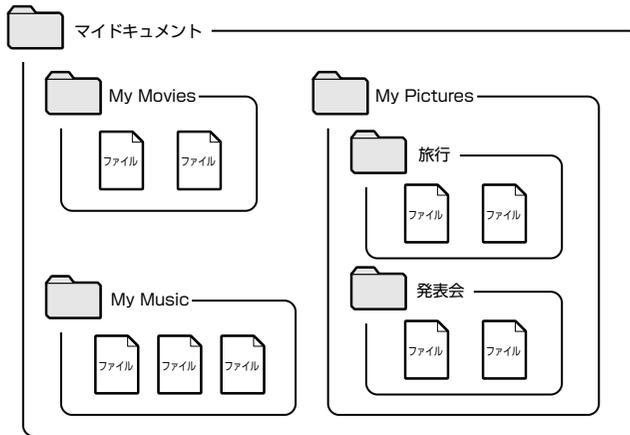
ファイルにはいろいろな種類があります。ファイルの種類ごとに違うアイコンで表示されます。

アイコンの例です。



また、ファイルをまとめておく入れものを「フォルダ」といいます。フォルダの中にはさらにフォルダを入れて、細かく分類することができます。

先ほど開いた「マイ ドキュメント」もフォルダです。



Windows は、たくさんのファイルやフォルダで構成されています。

ここでは、フォルダとファイルを自分で新しく作成し、管理する方法について説明します。

フォルダを作る

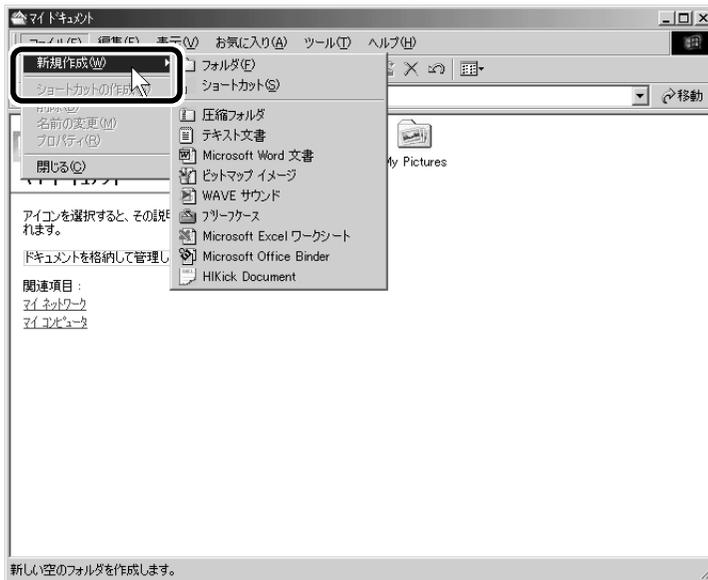
[マイドキュメント] の中に、フォルダを作ってみましょう。

1 [マイドキュメント] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックする



メニューが表示されます。

2 マウスポインタを [新規作成] にあわせる



右端の  の右にメニューが表示されます。

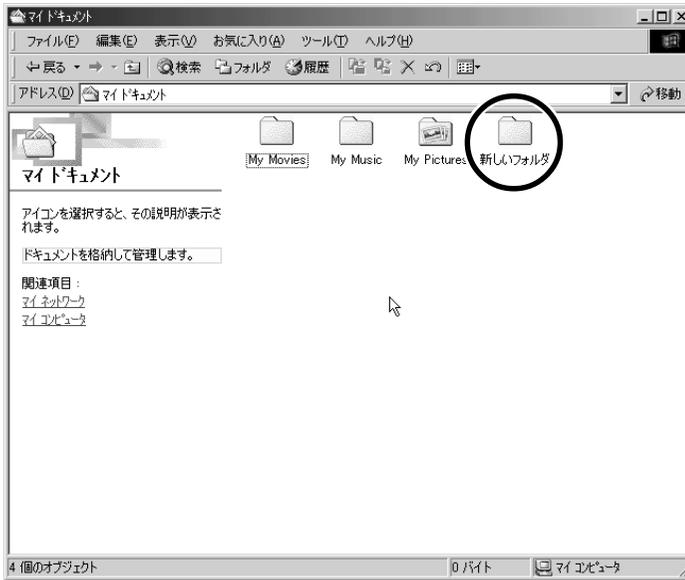
3 [フォルダ] にマウスポインタをあわせ、クリックする



[マイ ドキュメント] の中に、[新しいフォルダ] が作成されます。



フォルダ名が反転表示されて確定していない場合は、[マイ ドキュメント] 中の何も無いところにマウスポインタを移動してクリックすると、フォルダ名がそのまま [新しいフォルダ] で確定されます。



これで、[マイ ドキュメント] の中に、[新しいフォルダ] を作成することができました。

用語

・確定

文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、一度削除して入力し直す。

3章

パソコンをさわってみよう

ファイルを作る

フォルダを作ったら、その中にファイルを作ってみましょう。
ここでは、「テキスト文書」ファイルの作りかたについて説明します。

1 [新しいフォルダ] をダブルクリックする

[マイ ドキュメント] 画面が消えて、[新しいフォルダ] 画面が開きます。
中にあるフォルダを開くと、上の階層のフォルダに重なり、上の階層のフォルダ画面は自動的に閉じます。上の階層のフォルダ画面をもう1度表示させる場合は、ツールバーの [上へ] ボタン () をクリックしてください。

2 [新しいフォルダ] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックする



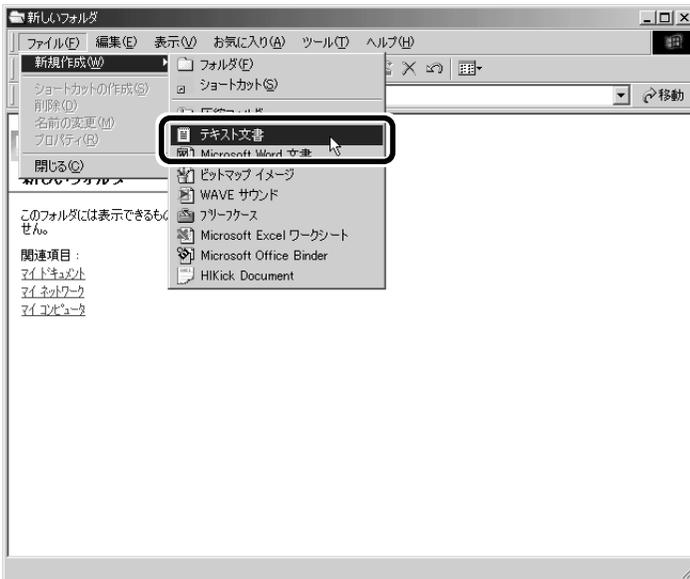
メニューが表示されます。

3 マウスポインタを [新規作成] にあわせる



右端の ▶ の右にメニューが表示されます。

4 [テキスト文書] にマウスポインタをあわせ、クリックする



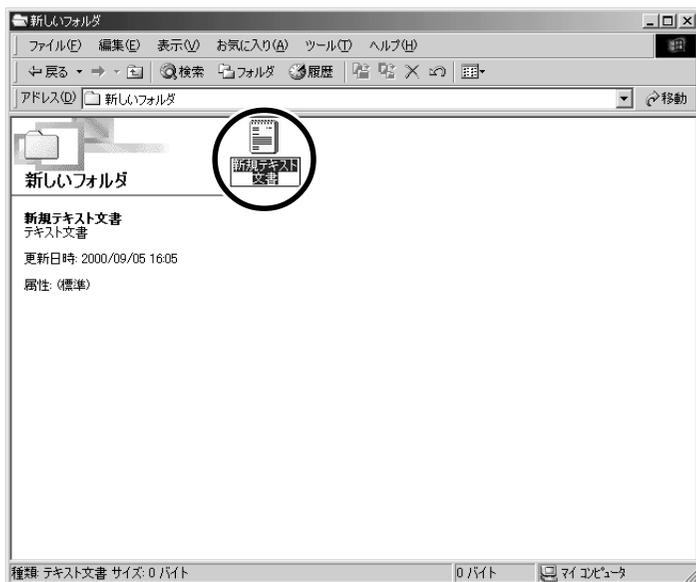
用語

・テキスト文書
文字だけを入力するための形式です。文字の種類を変えたり、図を入れたりすることはできません。

3章

パソコンをさわってみよう

[新しいフォルダ] の中に、[新規テキスト文書] が作成されます。



ファイル名が反転表示されて確定していない場合は [新しいフォルダ] の中の何もないところをクリックして、ファイル名をそのまま [新規テキスト文書] で確定してください。

これで、[新しいフォルダ] の中に、[新規テキスト文書] ファイルを作ることができました。

フォルダやファイルの名前を変更する

フォルダやファイル名を反転表示させると、文字を入力して名前を付けることができます。

 文字の入力について ▶ 「4章 3 文字を入力する」

フォルダやファイル名は、次の手順で反転表示できます。

1 フォルダやファイルのアイコンをクリックして選択する

2 少し間をおいてアイコンのファイル名の部分をクリックする、またはメニューバーの [ファイル] - [名前の変更] をクリックする

フォルダやファイル名が反転表示されます。

ここでは、ファイルの名前は [新規テキスト文書] のまま説明を進めます。[新しいフォルダ] の中の何もないところをクリックして、次に進んでください。

用語

・確定

文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

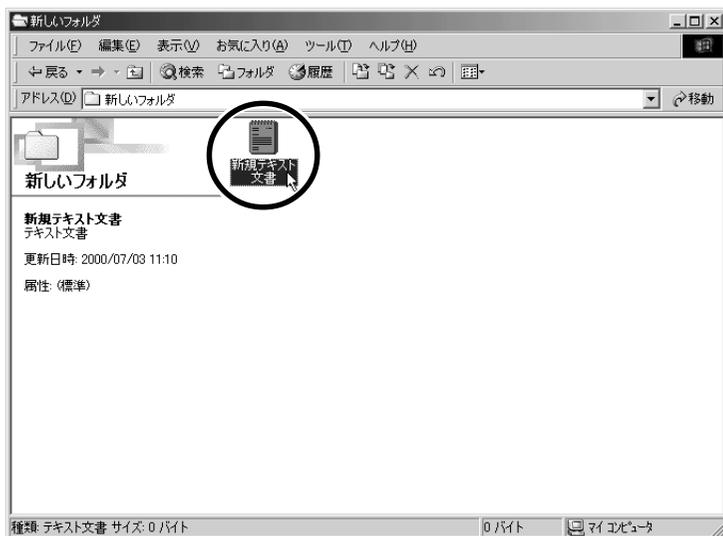
いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、1度削除して入力し直す。

4

ファイルやフォルダをコピーする

ファイルやフォルダは、簡単に複製を作る（コピーする）ことができます。ここでは、[新しいフォルダ] の中に作った [新規テキスト文書] を [マイ ドキュメント] フォルダにコピーしてみましょう。

1 [新しいフォルダ] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする



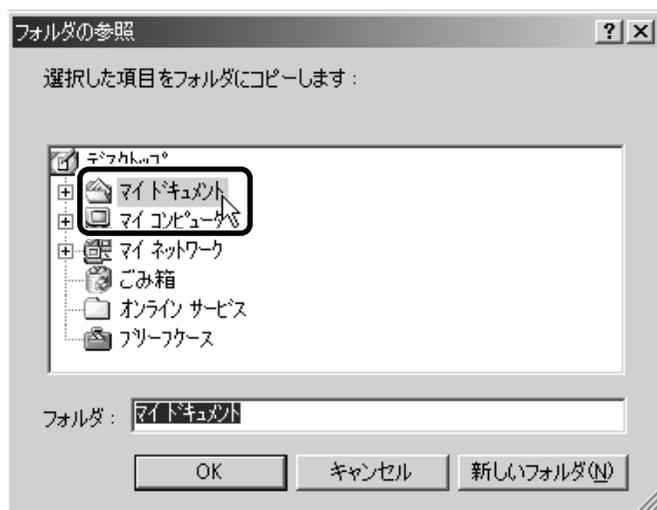
アイコンが反転表示されます。

2 ツールバーの [コピー先] ボタン () をクリックする

[フォルダの参照] 画面が表示されます。

3 [フォルダ] 欄が [マイ ドキュメント] になっているか確認する

他の場所になっている場合は、一覧から [マイ ドキュメント] をクリックしてください。



4 [OK] ボタンをクリックする

3 章

パソコンをさわってみよう

これで [新規テキスト文書] をコピーすることができました。

[上へ] ボタン () をクリックすると、1つ上の階層にある [マイドキュメント] 画面が表示されます。

[新規テキスト文書] があることを確認してください。



5

ファイルやフォルダを削除する

ファイルやフォルダを削除するときは、いったん [ごみ箱] フォルダに入れてから、まとめて消去します。誤ってファイルやフォルダを削除してしまっても、[ごみ箱] フォルダにあるうちは、元の場所に戻してまた使うことができます。

[マイ ドキュメント] にコピーした [新規テキスト文書] を削除してみましょう。

1 [マイ ドキュメント] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする



アイコンが反転表示されます。

2 ツールバーの [削除] ボタン (X) をクリックする

[ファイルの削除の確認] 画面が表示されます。

3 [はい] ボタンをクリックする



[マイ ドキュメント] フォルダから [新規テキスト文書] が消えますが、ファイルはなくなったわけではありません。[ごみ箱] の中に移動しています。



・ [新しいフォルダ] 画面から [マイ ドキュメント] 画面に移動するには、ツールバーの [上へ] ボタンをクリックします。

3章

パソコンをさわってみよう

4 デスクトップの [ごみ箱] アイコン () をダブルクリックする

[ごみ箱] 画面が開き、削除した [新規テキスト文書] が表示されます。



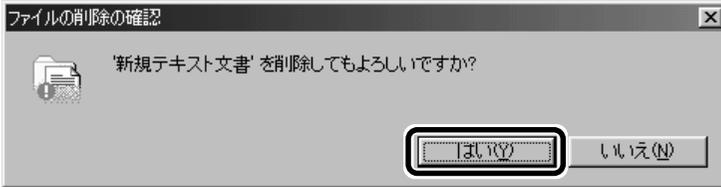
5 [ごみ箱] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする



アイコンが反転表示されます。

6 ツールバーの【削除】ボタン () をクリックする

【ファイルの削除の確認】画面が表示されます。

7 【はい】ボタンをクリックする

【新規テキスト文書】が完全に削除されます。



- ・【ごみ箱】から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除を行ってください。

3章

パソコンをさわってみよう

■ まとめて削除する方法

〔ごみ箱〕画面でファイルやフォルダ名を選択せずに、〔ごみ箱を空にする〕ボタンをクリックした場合は、〔ごみ箱〕にあるファイルやフォルダすべてを削除することができます。



・〔ごみ箱〕から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除を行ってください。

ごみ箱に入れたファイルを元に戻す

〔ごみ箱〕にあるファイルやフォルダを元に戻すときは、次の手順で行います。

1 デスクトップの〔ごみ箱〕アイコン () をダブルクリックする

〔ごみ箱〕画面が開きます。



2 [ごみ箱] 画面で元に戻したいファイルやフォルダをクリックする

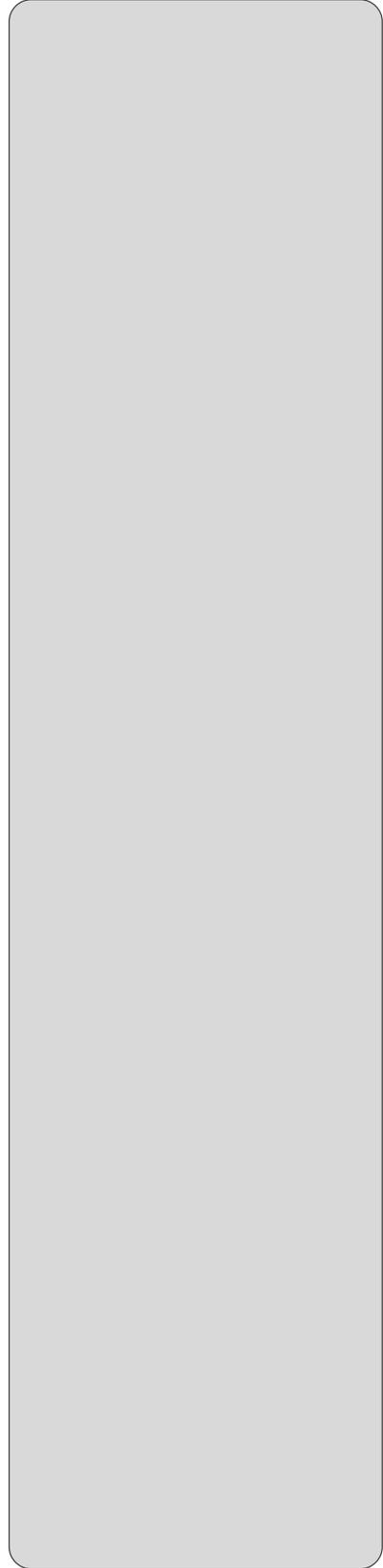
選択したファイルやフォルダが反転表示されます。



3 [元の場所に戻す] ボタンをクリックする

選択したファイルやフォルダが、元の場所に戻ります。





4章

文字を入力してみよう

キーボードで文字を入力し、
文書を作成する方法について説明します。

- 1 メモ帳を開く 68
- 2 キーボードについて 69
- 3 文字を入力する 70
- 4 文書を保存する 85

1

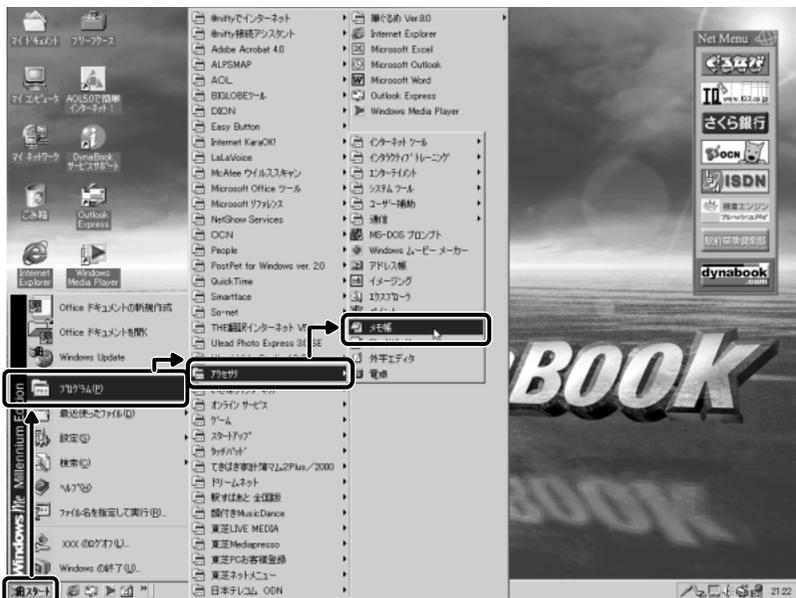
メモ帳を開く

ここでは、文書ファイルにキーボードを使って文字を入力し、文書として保存する方法について説明します。

はじめに、文字を入力するファイルを開きましょう。

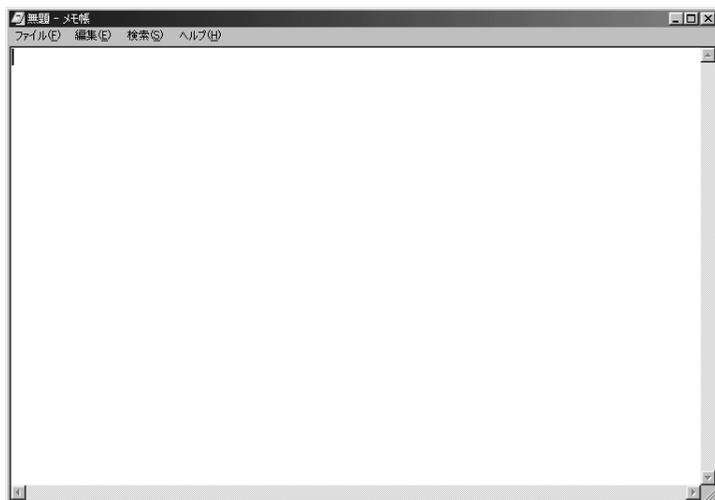
ここでは、Windowsに付属のアプリケーション「メモ帳」を使って「テキスト文書」を作成します。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] - [アクセサリ] - [メモ帳] までたどり、[メモ帳] をクリックする



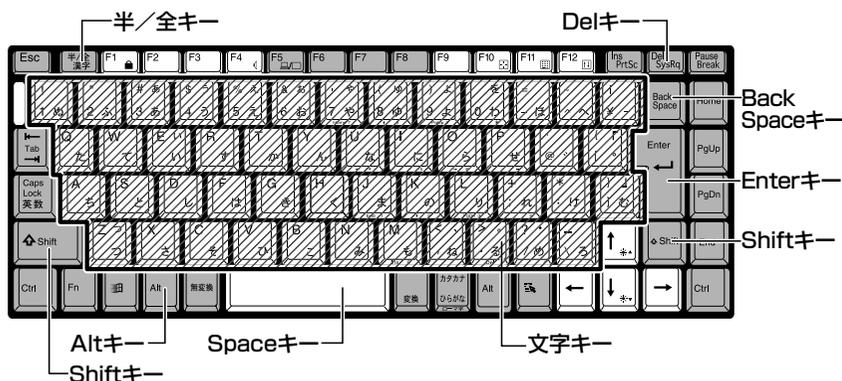
(表示例)

[無題 - メモ帳] 画面が開きます。



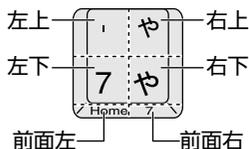
2

キーボードについて



文字キー

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。
文字キーに印刷されている2~6種類の文字や記号は、制御キーで使い分けます。



■ 左上

(Shift)キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。

■ 右上

かな入力ができる状態で (Shift) キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの促音そくおん、拗音ようおんが入力できます。

■ 左下

他のキーは使わず、そのまま押すと、数字やアルファベットの小文字が入力できます。大文字固定入力状態にすると、大文字も入力できます。

大文字入力固定状態 ▶ 「7章 4- 入力に関する制御キー」

■ 右下

かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。

かな入力の設定 ▶ 「本章 3-2 入力モードを決める」

■ 前面左

カーソルキー入力状態のときに押すと、カーソル制御キーとして使えます。

カーソルキー入力状態 ▶ 「7章 4- 数字/カーソルキー入力機能」

■ 前面右

数字入力状態のときに押すと、テンキーとして使えます。

数字入力状態 ▶ 「7章 4- 数字/カーソルキー入力機能」

4章

文字を入力してみよう

用語

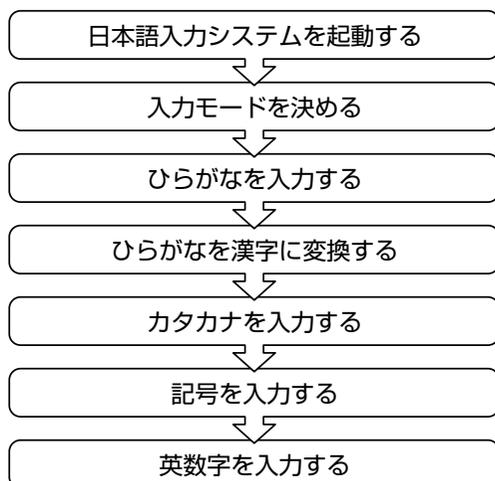
- ・ 促音 (そくおん)
小さい「っ」のこと。
- ・ 拗音 (ようおん)
他のかなにつける小さい「ゃ、ゅ、ょ」などのこと。

メモ

- ・ 「\」(バックスラッシュ)を入力すると、「¥」と表示されます。かな入力状態のときに押すと、カタカナや記号が入力できます。

3 文字を入力する

ここでは、簡単な文を入力しながら、パソコンでの文字入力について覚えましょう。
次の流れにそって進めていきます。



1. 日本語入力システムとは

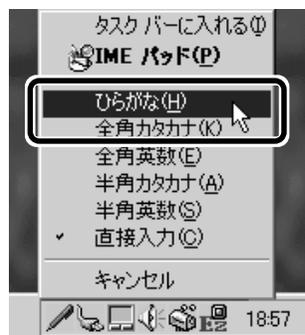
本製品には、日本語入力システム MS-IME が用意されています。
起動したときは、英数字入力ができるようになっています。日本語を入力できる
ようにするには、次の方法があります。

■ 方法1 - (半/全)キーを押す

日本語入力が行えるようになると、MS-IME ツールバーは次のようになります。



■ 方法2 - タスクバーの (IME) をクリックし、メニューの「ひらがな」をクリックする



(表示例)



・半角/全角
パソコンで入力できる文字
には、「半角」「全角」2種類
の大きさがある。
「半角」は漢字モードではな
いときに普通に表示される
文字で、少し縦長。(例: A, ア)
「全角」は半角を二つあわせ
たくらいの大きさ。(例: A, ア)
英数字やカタカナは半角・
全角どちらでも入力できる
が、ひらがなと漢字は全角
でのみ入力できる。

2. 入力モードを決める

入力モードによって、同じキーを押したときでも、表示される文字が異なります。「ローマ字入力」は、キーに印刷されている英数字のとおりローマ字入力して、ひらがなに変換する方法です。

「かな入力」は、キーに印刷されているひらがなのとおりに入力する方法です。日本語入力システムを起動したときの標準設定は、ローマ字入力になっています。

 ローマ字入力について ▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」

かな入力に設定を変更する場合は、どちらかの方法で設定してください。

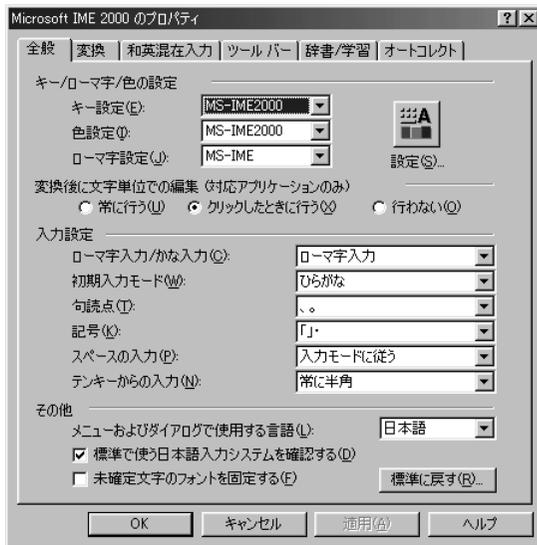
キーボードで設定する

- 1 **[Alt]キーを押したまま、[カタカナひらがな]キーを押す**
パソコンの電源を切ると、ローマ字入力に戻ります。

画面上で設定する

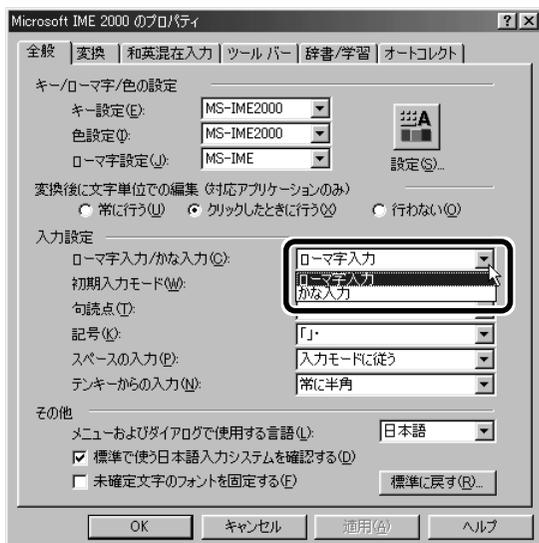
- 1 **MS-IME ツールバーの [プロパティ] アイコン () をクリックする**

[Microsoft IME のプロパティ] 画面が表示されます。

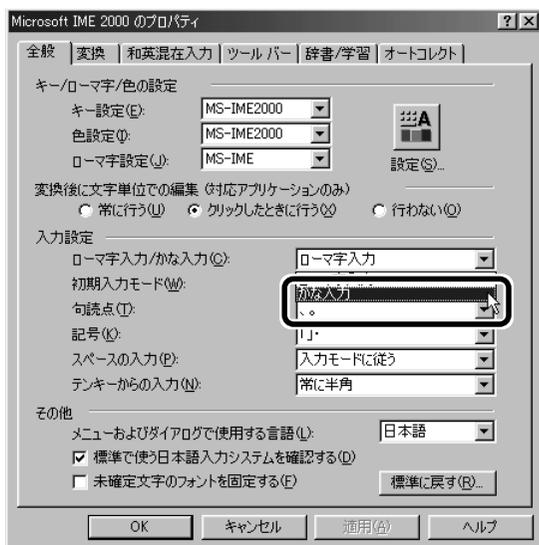


2 [全般] タブで、[入力設定] の [ローマ字入力/かな入力] ボックスの右にある ボタンをクリックする

[ローマ字入力]、[かな入力] のメニューが表示されます。

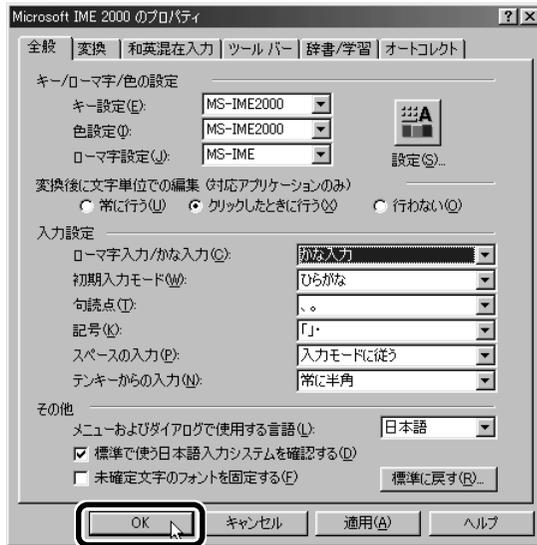


3 [かな入力] をクリックする



・タブ
タイトルバーの下に表示されている見出しのこと。タブ名だけが見えているので、目的のタブ名をクリックすると、クリックしたタブが1番上に表示される。

4 [OK] ボタンをクリックする



かな入力が行えるようになると、MS-IME ツールバーは次のようになります。



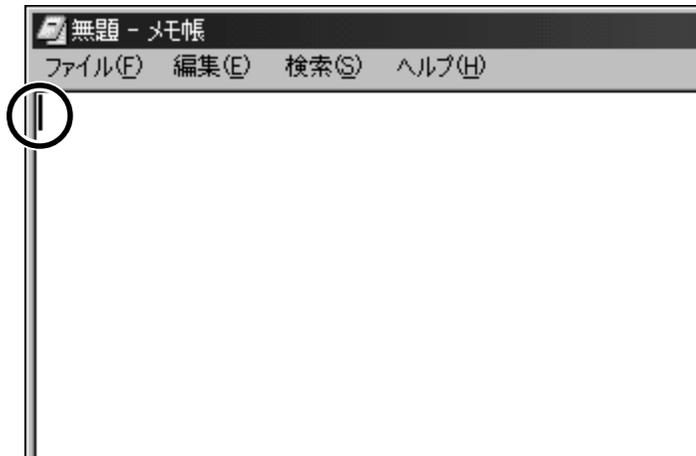
くぼんで表示されます。

3. ひらがなを入力する

日本語入力システムを起動したら、「本章 1 メモ帳を開く」で起動した「無題 - メモ帳」画面に、ひらがなを入力してみましょう。

画面左の一番上の段に、「カーソル」というたての棒が点滅しています。ここから、文字入力ができます。

 ローマ字入力について ▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」



それでは、次の文をつくります。

こんばんは
来週パーティーを開きます。
21日、7:00p.m.におこしてください。
服部

「こんばんは」は、次のように入力します。

●ローマ字入力の場合

(K)(O)(N)(N)(B)(A)(N)(N)(H)(A)と、キーボードのキーを順に押す

●かな入力の場合

(こ)(ん)(は)(　)(ん)(は)と、キーボードのキーを順に押す

こんばんは|

日本語を入力すると、文字の下に点線がつきます。これは、この文字が漢字変換できることを表しています。

ここでは、ひらがなで入力したら、(Enter)キーを押して確定してください。

文字の下線が消えます。

新しい文を次の行に入力するために、改行します。

(Enter)キーを押してください。カーソルが1段下の左端に移動します。

こんばんは
|



・確定

文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

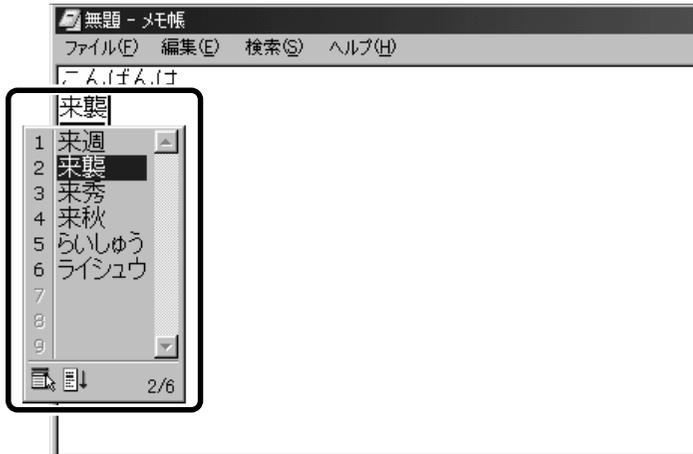
いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、1度削除して入力し直す。

4. ひらがなを漢字に変換する

漢字を入力するには、まずひらがなを入力し、漢字に変換します。
「らいしゅう」と入力し、(Space)キーを押します。

こんばんは
来週

目的の漢字ではない場合は、もう1度(Space)キーを押すと、候補の一覧が表示されます。



一覧から(Space)または(↑)(↓)キーで選択し、(Enter)キーを押して確定してください。

こんばんは
来週



・「しゅ」と入力する方法
ローマ字入力の場合は、
(S)(H)(U)または(S)(Y)(U)と
キーを押します。



参照 ローマ字入力について
▶「8章 1 ローマ字
入力一覧表」

かな入力の場合は、(し)キー
を押した後、(Shift)キーを
押したまま、(8)(9)キーを押
します。キートップ右上に印
刷された、拗音などの文字
を入力する場合は、(Shift)
キーを押しながら文字キー
を押します。

4章

文字を入力してみよう

5. カタカナを入力する

カタカナを入力したい場合は、漢字の変換と同じようにに、ひらがなをカタカナに変換することができます。

「ぱーていー」と入力します。

(Space)キーを押すと、「パーティー」と変換されます。(Enter)キーを押して確定してください。

■ カタカナのみ入力するとき

ツールバーで次のように設定します。



MS-IME ツールバーは次のようになります (ローマ字入力の場合)。



続けて「をひらきます」と入力して「を開きます」に変換してみましょう。



- ・「一」と入力する方法
ローマ字入力の場合は、キーを押します。
かな入力の場合は、キーを押します。
- ・「てい」と入力する方法
ローマ字入力の場合は、 または とキーを押します。
 ローマ字入力について
▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」
かな入力の場合は、キーを押した後、(Shift)キーを押したまま、キーを押します。
- ・(F7)キーを押すと、必ず全角カタカナに変換されます。日本語入力の辞書に登録されていないカタカナの単語を入力するときに便利です。

6. 記号を入力する

「。」を入力してみましょう。

● 「。」(句点)

ローマ字入力の場合 ..  キーを押す

かな入力の場合 (Shift)キーを押したまま、 キーを押す

「。」が入力できたら、(Shift)キーを押して、改行してください。

その他に、よく使う記号の入力方法は次のとおりです。

● 「、」(読点)

ローマ字入力の場合 ..  キーを押す

かな入力の場合 (Shift)キーを押したまま、 キーを押す

● 「？」(疑問符)

ローマ字入力の場合 .. (Shift)キーを押したまま、 キーを押す

● 「！」(感嘆符)

ローマ字入力の場合 .. (Shift)キーを押したまま、 キーを押す

かな入力の場合、「？」「！」はMS-IME ツールバーを「半角英数」「直接入力」に変更して入力する、またはMS-IMEパッドから探してください。

 IMEパッド ▶ 「本節 8- 読みかたがわからない文字を入力する」

「半角英数」や「直接入力」に変更する場合は、次のように操作します。



ここをクリックし、メニューから「半角英数」または「直接入力」を選択する



・ [] (チルダ) を入力する方法
日本語入力システムを終了し、(Shift)キーを押しながら  キーを押します。

4章

文字を入力してみよう

7. 英数字を入力する

「ひらがなまたはカタカナ入力」⇔「直接入力」の切り替えは、(半/全)キーを押すと簡単にできます。

または、ツールバーで次のように設定します。



ここをクリックし、メニューから「直接入力」を選択する

直接入力では、MS-IME ツールバーは表示されません。

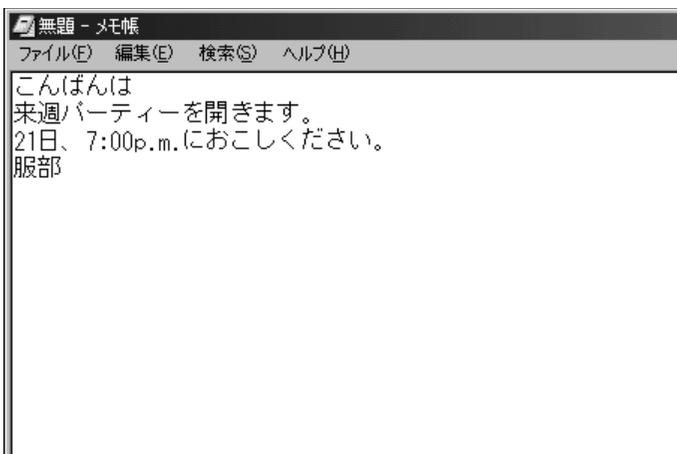
「21」と入力してみましょう。

直接入力の場合は、文字を入力するだけで、自動的に確定されます。

続けて入力モードを切り替えながら「日、」「7:00」「p.m.」「に」「おこしてください。」を、少しずつ入力してみましょう。

(Enter)キーを押して、改行してください。

「はっとり」と入力して、(Space)キーを押して変換し、(Enter)キーを押して確定します。



文が完成しました。



・「全角英数」も選択できますが、英字または数字だけの文章の場合は、一般的に半角で入力します。



・小さい「っ」と入力する方法
ローマ字入力の場合は、次の子音を重ねます。「服部」のときは (H)(A)(T)(T)(O)(R)(I) となります。
かな入力の場合は、(は)キーを押した後、(Shift)キーを押したまま (っ) キーを押します。



ローマ字入力について
▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」

8. 入力がうまくできないとき

文字を削除する

文字を確定する前

■ 間違えたときには

(BackSpace)キーを押すと、右から順に画面上の文字が消えます。

こんばん|

その後、正しい文字を入力し直してください。

文字を確定した後

■ 1文字ずつ削除する

(→)(←)(↑)(↓)キーでカーソルを、消したい文字の右側に移動し、(BackSpace)キーを押します。

また、(Del)キーを押すと、カーソルの1つ右側にある文字が消えます。

■ 範囲を選択して削除する

一定の範囲の文字をまとめて削除することもできます。

マウスポインタを消したい範囲のはじめの文字の左側に移動し、クリックします。

消したい範囲をドラッグアンドドロップします。

こんばんは
来週パーティを開きます。
21日、7:00 p.m.にお越しください。
服部

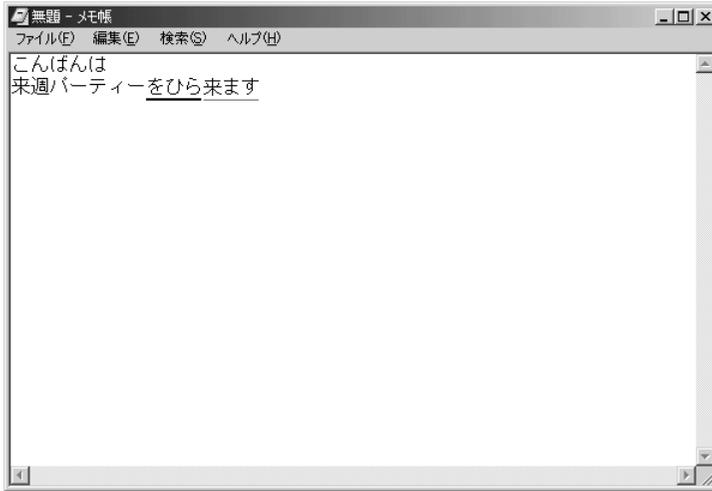
(Del)または(BackSpace)キーを押すと、選択した範囲が消えます。

こんばんは
来週パーティを開きます。
21日、お越しください。
服部

変換の区切りを変える

ひらがなを漢字やカタカナに変換するとき、変換する区切りを指定することができます。

「をひらきます」と入力し、(Space)キーを押したとき、「をひら来ます」と変換された場合などは、区切りの範囲を指定して変換し直します。



(Shift) + (←)、(→) キーで範囲を指定してください。



(Space)キーを押すと、変換の区切りを変更して変換されます。



次の区切りの再変換が必要な場合は、(→)キーで太い下線を移動し、(Space)キーを押します。

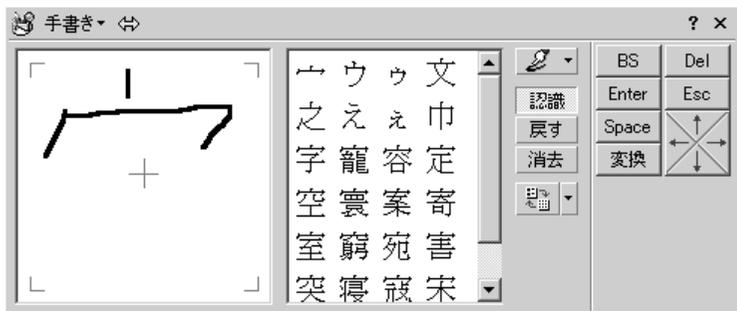
読みかたがわからない文字を入力する

MS-IME では、読みかたがわからない漢字や記号は、IMEパッドから探すことができます。

ここでは、記号の「☆ (ほし)」を入力する場合を例にあげて説明します。

1 MS-IME ツールバーの [IMEパッド] アイコン () をクリックする

[手書き] 画面が表示されます。



2 [手書き] をクリックし①、表示されたメニューから [文字一覧] をクリックする②



[文字一覧] 画面が表示されます。

3 「半角英字」と表示されているボックスの右にある ボタンをクリックする



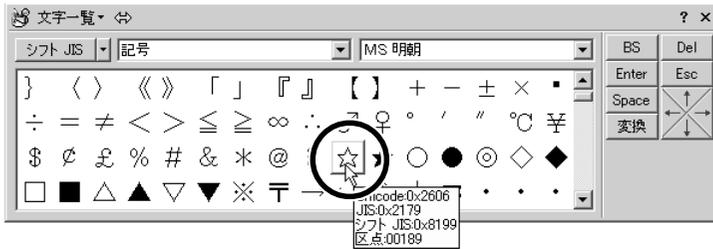
IMEパッドをお使いになったことのある場合は、最後に表示されていた画面が表示されます。

4 表示されたメニューから、[記号] をクリックする



記号の一覧が表示されます。

5 スクロールバーを使って目的の記号を探し、クリックする



記号がカーソルの位置に入力されます。

6 [Enter] ボタン (Enter) をクリックする

記号が確定します。

入力した記号を削除したり、カーソルを移動したい場合などは、画面右のボタンをクリックします。各ボタンはキーと同じ働きをします。



ヘルプの起動

日本語入力システム MS-IME の詳しい使いかたについては、次の手順で『MS-IME のオンラインヘルプ』をご覧ください。



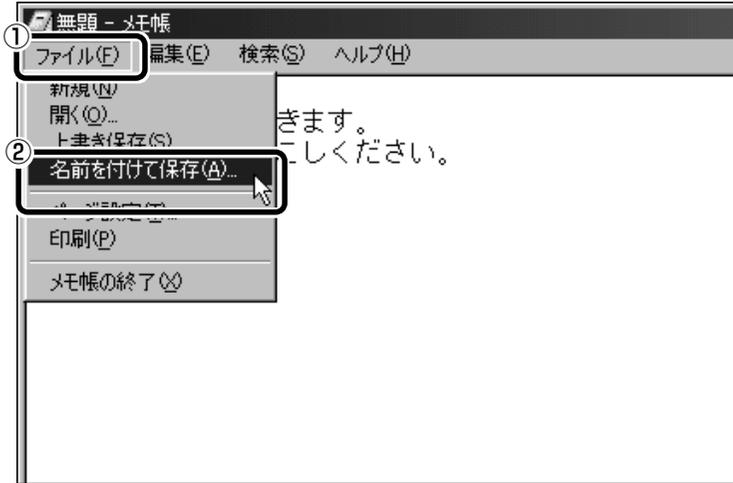
ここをクリックし、メニューから
[目次とキーワード] を選択する

4

文書を保存する

作成した文書を保存して、パソコンの中に保存しておきましょう。

- 1 [無題 - メモ帳] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックし①、表示されたメニューから [名前を付けて保存] をクリックする②



[名前を付けて保存] 画面が開きます。



[ファイル名] に、「無題」の文字が反転表示されています。反転表示されていない場合は、「無題」の文字をクリックしてください。

2 日本語入力になっているか確認する

MS-IMEツールバーが表示されていない場合は直接入力です。(半/全) キーを押して切り替えてください。

4章

文字を入力してみよう



・「無題」の文字は確定されていないので、何か文字を入力して確定すると、消すことができます。

3 [ファイル名] 欄に「招待状」と入力する

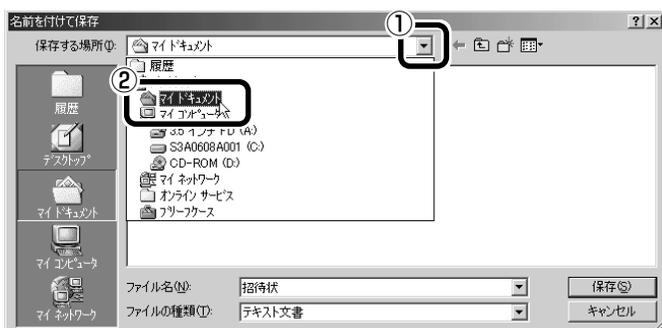
「しょうたいじょう」と入力してから、(Space)キーを押して漢字に変換します。忘れずに(Enter)キーを押して確定してください。



4 [保存する場所] が [マイドキュメント] になっているか確認する

他の場所になっている場合は、ボックス右端の ▾ ボタンをクリックして①、場所のメニューを表示します。

[マイドキュメント] をクリックしてください②。



5 [保存] ボタンをクリックする



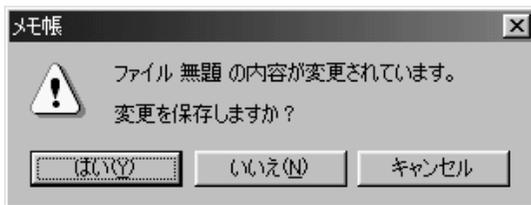
保存したら、開いていた [無題 - メモ帳] 画面のタイトルが「招待状 - メモ帳」になっているか確認してください。保存したファイルは、画面右上の [閉じる] ボタン (X) で閉じることができます。

「招待状」を閉じたら、[マイドキュメント] を開いて [招待状] のファイルがあるか確認してください。



■ ファイルを保存せずに閉じた場合

保存されていないファイルの画面を閉じようとする、「変更を保存しますか？」などのメッセージ画面が表示されます。

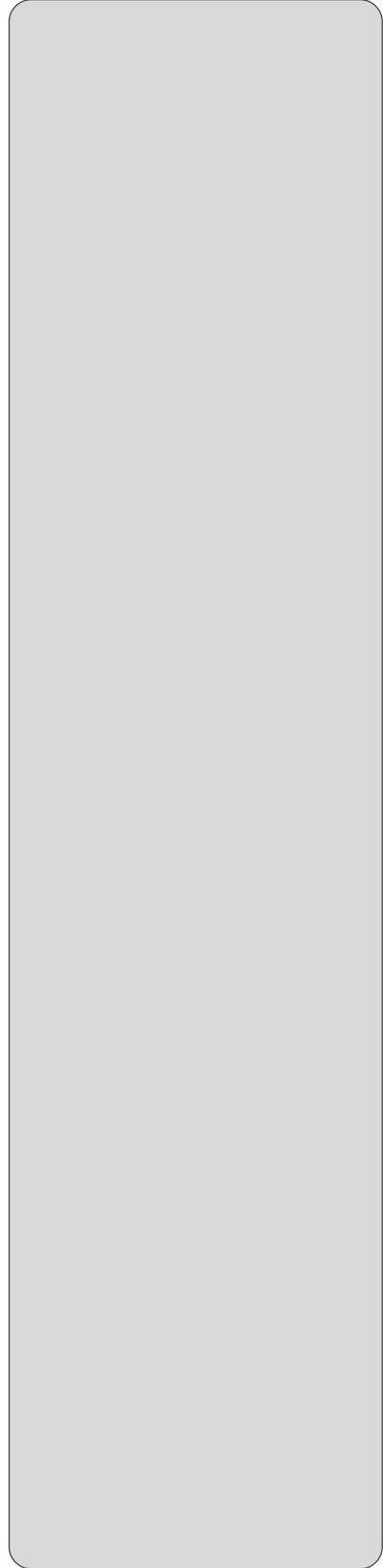


変更を保存するときは、[はい] ボタンをクリックします。

[名前を付けて保存] 画面が表示されますので、本節手順2以降の操作を行なってください。

入力した文字などを保存しないときは、[いいえ] ボタンをクリックします。ファイル画面が閉じます。

元のファイル画面に戻るときは、[キャンセル] ボタンをクリックします。この場合、ファイルは保存されず、編集画面に戻ります。



5章

音楽を楽しもう

音楽 CD や音楽ファイルを聴く方法について説明します。

- 1** 音楽 CD を聴く 90
- 2** 音楽ファイルを聴く 93

1 音楽CDを聴く

音楽CDを聴くときには次の方法があります。

- Windows を起動して音楽CDを聴く
- Windows を起動しないで音楽CDを聴く（音楽CDモード）

Windowsで、イージーボタンを使用して音楽CDを聴くときは、イージーボタンのセットアップを行なってください。

セットアップをしないと、CDプレーヤやイージーボタンが使えません。

 セットアップ ▶ 「1章 2-3 イージーボタンとタッチパッドを使うには」



・ CDプレーヤでVideo CD、AVIファイルを再生することはできません。再生する場合は、システムに標準の「Windows Media Player」をご使用ください。

1. Windowsを起動して音楽CDを聴く

音楽CDをセットする、または機能切り替えスイッチを右にしてイージーボタンの▶/|| ボタンを押すとCDプレーヤが表示され、音楽の再生が始まります。

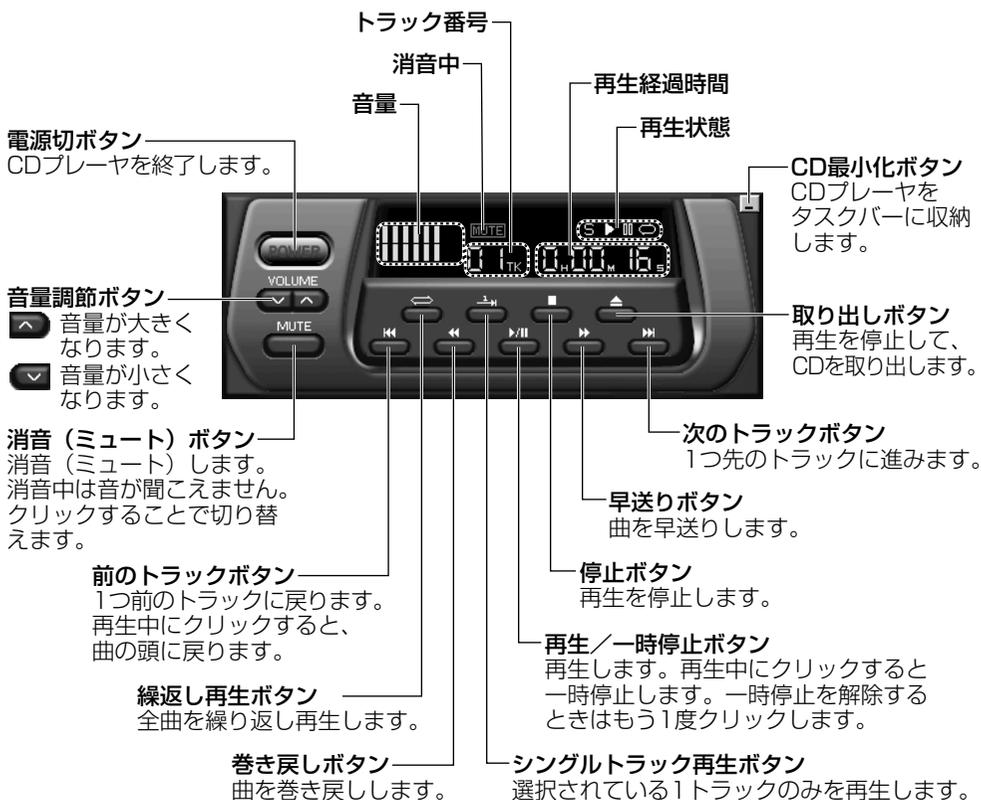
音楽CDは、CDプレーヤまたはイージーボタンから操作します。



・ イージーボタンのセットアップをしないでCDをセットすると、「Windows Media Player」が起動します。

CDプレーヤ

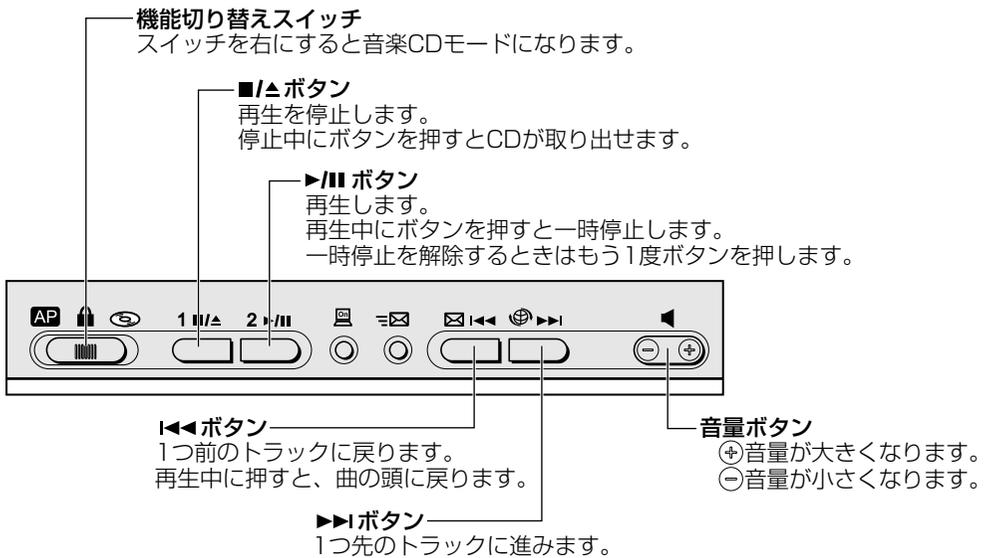
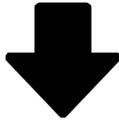
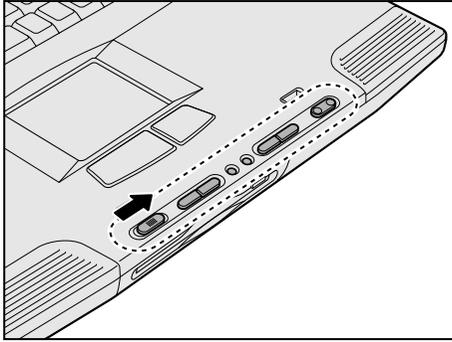
CDプレーヤの各ボタンをクリックして操作します。



操作がわからないときは、『イージーボタンのヘルプ』をご覧ください。

イージーボタン

機能切り替えスイッチを右にしてから、各ボタンを押して操作します。



2. Windowsを起動しないで音楽CDを聴く(音楽CDモード)

Windowsを起動しないで音楽CDを再生します。イージーボタンを使って操作します。

1 機能切り替えスイッチを右にする

2 音楽CDをセットする

■/▲ ボタンを押す、またはCD-ROMドライブの取り出しボタンを押すと、ディスクトレイがでできます。

 CDのセット ▶ 「7章 10-2 CDのセットと取り出し」

3 約10秒程たってから、▶/|| ボタンを押す

再生が始まります。

4 終了する場合は、■/▲ ボタンをクリックする

イージーボタンの使いかたは「本節 1-イージーボタン」をご覧ください。

5 音楽CDを取り出す

■/▲ ボタンを押す、またはCD-ROMドライブの取り出しボタンを押すと、ディスクトレイがでできます。

 CDの取り出し ▶ 「7章 10-2 CDのセットと取り出し」

6 機能切り替えスイッチを中央(ロック状態)にする

誤操作を防ぐために、ご使用にならないときは必ず機能切り替えスイッチを中央にしてください。バッテリーを使用中の場合、機能切り替えスイッチを中央にしないとバッテリー消費が早くなります。

2

音楽ファイルを聴く

「東芝 LIVE MEDIA PLAYER」で次のような音楽ファイルを再生できます。

- WAVE 形式
- MIDI 形式
- MP3 形式 など

起動方法

- 1 [スタート] - [プログラム] - [東芝 LIVE MEDIA] - [PLAYER] をクリックする



再生する前に

再生するには、音楽ファイルを作成したり、インターネットからダウンロードするなどして、音楽ファイルをご用意ください。また、次の方法で再生の準備をしてください。

- プレイファイルを作成しない場合
プレーヤーアプリケーションを起動する前に、「C:¥My Documents¥My Music」に再生したい音楽ファイルをあらかじめ保存しておきます。
- プレイファイルを作成する場合
プレイファイルを作成します。作成方法は「本節 プレイファイルを再生する」をご覧ください。プレイファイルを作成したときは、「C:¥My Documents ¥My Music」に保存されているファイルも、プレイファイルに登録されていないと再生できません。



- ・ [My Music] にサンプル用の音楽ファイルが保存されていた場合、ファイルが再生されます。停止するときは  ボタンをクリックします。



- プレイファイル
好きな音楽を入れた任意のフォルダのこと。自由に作成し、名前を付けることができる。再生するプレイファイルの切り換えは「東芝 LIVE MEDIA PLAYER」の画面から簡単にできる。



- ・ 各音楽ファイルは「1トラック」として扱われます。
- ・ 音楽ファイルには、曲名やアーティスト名などの情報が記録されていることがあります。これらの情報がある場合は、画面上に表示します。

再生する

現在のトラック再生する

1 ボタンをクリックする

再生を一時停止するには、 ボタンをクリックします。

再生を再開するには、もう1度  ボタンをクリックします。

2 再生を停止するには、 ボタンをクリックする

トラックを選択して再生する

1 ボタンをクリックする

 ボタンをクリックすると次のトラックに移動します。

 ボタンをクリックすると前のトラックに移動します。

2 ボタンをクリックする

プレイファイルを再生する

複数の音楽ファイルを集めてプレイファイルを設定することができます。それぞれのプレイファイルごとに、音楽ファイルを登録するプレイリストを設定します。プレイファイルは、1枚のMDやCDのようなイメージになります。

プレイファイルを作成する

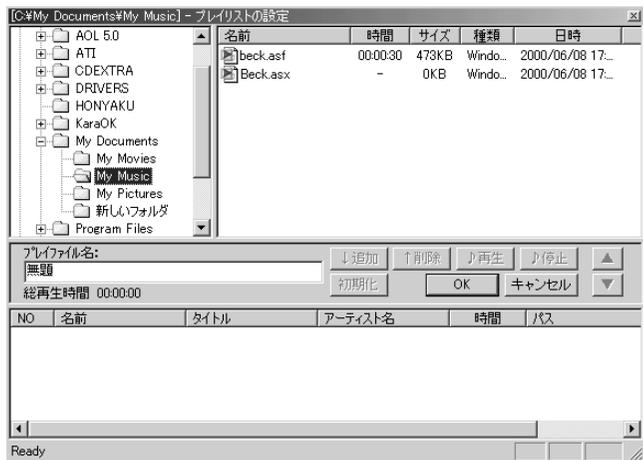
1 ボタンをクリックする

[プレイファイルの設定] 画面が表示されます。



2 [新規] ボタンをクリックする

画面が表示されます。



3 フォルダを選択する

画面左上のウィンドウから、リストに追加したい音楽ファイルがあるフォルダを選択します。

画面右上に、選択したフォルダにある音楽ファイルが表示されます。

4 音楽ファイルを登録する

画面右上から音楽ファイルを選択し、**↓追加** ボタンをクリックします。

登録したファイル順にトラック No. が割り当てられます。

登録を取り消す場合は、トラック No. を選択して **↑削除** ボタンをクリックします。

音楽ファイルの内容を確認するには、ファイルを選択して **♪再生** ボタンをクリックします。

トラックの順番を変更するには、トラック No. を選択して **▲** ボタンまたは **▼** ボタンをクリックします。

5 [プレイファイル名] を入力して、[OK] ボタンをクリックする

プレイファイルが作成されます。

作成後は [プレイファイルの設定] 画面から次のようなことが行えます。

- プレイファイルを編集する : プレイファイルを選択して、[編集] ボタンをクリックする
- プレイファイルを削除する : プレイファイルを選択して、[削除] ボタンをクリックする
- プレイファイルを無効にする : プレイファイル名の左側にあるチェックボックスのチェックをはずす
- プレイファイルの順番を変更する : プレイファイルを選択して、**▲** ボタンまたは **▼** ボタンをクリックする

プレイファイルを選択する

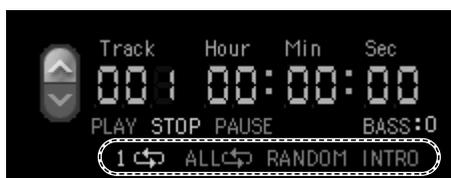
MDチェンジャやCDチェンジャで次のディスクを選択するように、プレイファイルを選択できます。

1 ボタンまたは ボタンをクリックする

- ② ボタンをクリックすると、次のプレイファイルに移動します。
- ① ボタンをクリックすると、前のプレイファイルに移動します。

再生モードを切り替える

操作パネルの次のボタンをクリックすると、再生モードが切り替わります。モードは操作パネルで確認できます。



プレイファイルは設定されている順番に再生されます。プレイファイルを作成している場合は、プレイファイルに登録されていないファイルは再生できません。

再生モード	ボタン	内容
NORMALモード	—	通常の再生を行います。
1 REPEATモード		現在選択されている曲を繰り返し再生します。
ALL REPEATモード		すべての曲を繰り返し再生します。
RANDOMモード	*	ランダム再生を行います。
INTROモード		各曲の最初の部分を数秒ずつ再生します。
—		低音レベルを切り替えます。 クリックするたびに切り替わります。 0 → 1 → 2

* 停止中のみ選択できます。

6章

パソコンのしくみ

ふだん「パソコン」と呼んでいるものは、
いろいろな要素から成り立っています。

- 1 ハードウェアとは 98
- 2 ソフトウェアとは 102

1 ハードウェアとは

コンピュータのしくみについて、「ハードウェア」と「ソフトウェア」、または省略して「ハード」と「ソフト」という言葉がよく使われます。

ハードウェア (Hardware) とは、「固体の、形あるもの」のことです。

パソコンの世界では、ディスプレイやキーボード、マウスなど、実際に目に見えるもの、手に触れられるものを指します。プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器もハードウェアです。

しかし、ハードウェアはそれ自体だけでは使えません。そのハードウェアに合ったソフトウェアが必要です。ソフトウェアがあってはじめて、ハードウェアはそれぞれの役割を果たすことができます。

パソコンのハードウェアは、役割によって次のように分類することができます。

1. ^{シーピーユー}CPU(プロセッサ)

指示に従ってデータを処理するところです。中央演算処理装置とも呼ばれます。CPUの性能によって、パソコンの性能が左右されます。

CPU名の後に書かれている「XXXMHz」はクロック周波数と呼ばれ、処理速度を表しています。同じCPUであれば、周波数が大きいほど性能が高くなります。

2. メモリ

ハードディスクからデータを読み込んで処理をするところです。容量が大きいほど処理がスムーズになります。容量を大きくしたいときは増設もできます。

3. 記憶装置

パソコンで扱うデータを記憶する装置には、次のようなものがあります。

ハードディスクドライブ

データを磁気で記憶する装置です。電源を切っても、データが消えることはありません。大きな容量で、たくさんのデータが記憶できます。

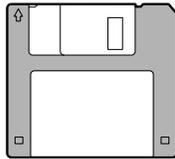
本製品には、ハードディスクドライブが内蔵されています。

必要があれば「外付け」のものを追加して記憶容量を増やすこともできます。

 ハードディスクドライブ ▶ 「7章 6 ハードディスクドライブ」

フロッピーディスク

3.5インチの薄い円盤にデータを記憶する媒体です。小型で持ち運びができるので、データの受け渡しに便利です。



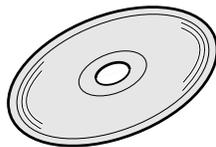
フロッピーディスクのデータをパソコンに読み込む装置を「フロッピーディスクドライブ」または「フロッピーディスク装置」といいます。

本製品には、フロッピーディスクドライブが内蔵されています。

 フロッピーディスクの使いかた ▶ 「7章 9 フロッピーディスク」

CD

直径8cm、12cmの円盤にデータを記憶する媒体です。



パソコンのデータを記録するCDには、次の種類があります。

CD-ROM 読み出し専用

CD-R 書き込みができる。一度書き込まれたデータの削除・変更はできない

CD-RW 1000回程度、データの書き換えや削除が行える

CD エクストラ 記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分け、両方の再生装置でそれぞれ再生する

フォトCD 普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録する
音楽CD

本製品には、CD-ROM ドライブが内蔵されています。

 CD ▶ 「7章 10 CD」

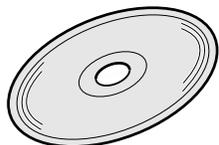


・内蔵

パソコン本体にあらかじめ組み込まれていること。

DVD

直径 12cm の円盤に、CD の 6 ~ 8 倍のデータを記憶できます。



次の種類があります。

DVD-ROM 読み出し専用

DVD-Video 映像再生用

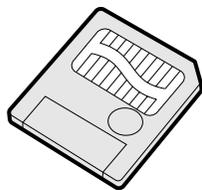
DVD を読むには、DVD-ROM ドライブが必要です。

フラッシュメモ리카ード

データを記憶する小さなカードです。次の種類があります。

スマートメディア

SDメモ리카ード など



フロッピーディスクには入らないような大きなデータが保存できるので、デジタルカメラ、電子楽器、音声・音楽用機器、プリンタなどの機器とのデータの移動に便利です。

4. 表示装置

表示装置は、パソコンの内部で行う作業を、目に見えるように表示する装置です。一般的にディスプレイが使われます。ディスプレイを見ながらパソコンに指示を出すことができます。

液晶ディスプレイ

画面をごく小さな点に分けて、点ごとに電圧を変化させて画像を表示します。本製品には、液晶ディスプレイが内蔵されています。

 液晶ディスプレイ ▶ 「7章 5 ディスプレイ」

CRTディスプレイ

テレビと同様に、ブラウン管を発光させて表示します。

5. 入力装置

キーボード

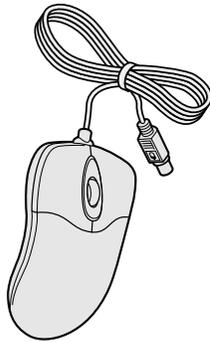
文字や数字など、記号を入力してパソコンに指示を与える装置です。



 詳細について ▶ 「7章 4 キーボード」

マウス

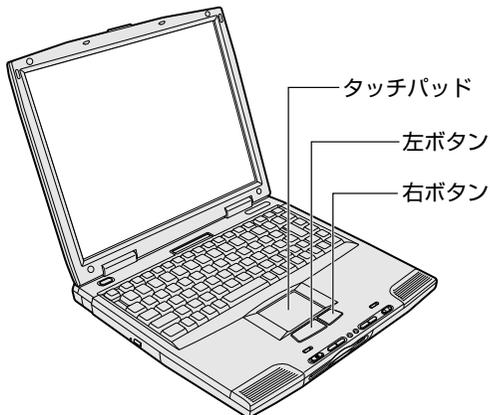
画面上のマウスポインタ () を動かして、パソコンに指示を与える装置です。本製品に同梱されています。



 詳細について ▶ 「1章 4 マウスを使う」

タッチパッドと左ボタン/右ボタン

マウスと同じ役割を持つ入力装置です。



 詳細について ▶ 「1章 3 基本操作を覚える」
「7章 3 タッチパッド」

2 ソフトウェアとは

ソフトウェア (Software) とは、パソコンに実際の命令を出す道具です。ソフトウェアは、ハードウェアであるパソコンに組み込んで (インストールして) 初めて使えます。ソフトウェアがないと、ハードウェアは存在しているだけで、その価値を発揮できません。

パソコンで使用するソフトウェアは、大きく分けて次のように呼ばれます。

1. OS (オペレーティングシステム)

基本システムともいいます。パソコンでデータを扱うための、土台となるソフトウェアです。

本製品では、OSに「Windows Me」を使います。パソコンを購入して最初にWindowsのセットアップを行うのは、パソコンを動かす土台を敷くためです。セットアップ済みのパソコンでは、毎回電源を入れるたびに、Windowsが起動して、その上でデータを扱えるようになります。

OSによって、画面の表示形式と、機器を操作する環境が異なります。Windowsでは、パソコン内部での作業をイメージしやすいように、画面上にマウスポインタやアイコンが表示されます。

2. アプリケーション

アプリケーション・ソフトウェアの略で、特定の用途のために利用するソフトウェアのことです。

アプリケーションはOSのセットアップが終了した後、OSの上で起動して使います。

本製品には、いろいろなアプリケーションがインストールされていますので、目的に応じて使ってみてください。

 本製品に入っているアプリケーションについて

▶『活用編 1章 アプリケーションについて』

新たに購入するときはWindowsMe対応のアプリケーションをご購入ください。

購入したアプリケーションを初めて使うときは、パソコンへインストールする作業が必要です。1度インストールすれば、2回目以降はすぐに使えます。

 インストール方法 ▶『活用編 2章 2 アプリケーションを追加する』

アプリケーションを使って作ったデータは、ファイルの形で保存します。Windowsでは、ファイルがどのアプリケーションで作られたものかわかるように、アプリケーションごとに異なるアイコンでファイルを表示します。

その他にも、OS上でハードウェアを動かすためのソフトウェア (ドライバ)、アプリケーションを補佐する働きをもつソフトウェア (ユーティリティ) など、様々な種類のソフトウェアがあります。

用語

・インストール
ソフトウェアをパソコンに組み込み、使える状態に設定すること。

7章

本体の機能を知ろう

本製品に用意されている機能について説明しています。

1	各部の名前	104
2	状態表示パネル	109
3	タッチパッド	110
4	キーボード	116
5	ディスプレイ	124
6	ハードディスクドライブ	125
7	サウンド機能	126
8	バッテリー	130
9	フロッピーディスク	138
10	CD	142
11	イージーボタン	148
12	赤外線ポート	152
13	日常の取り扱いとお手入れ	153

1

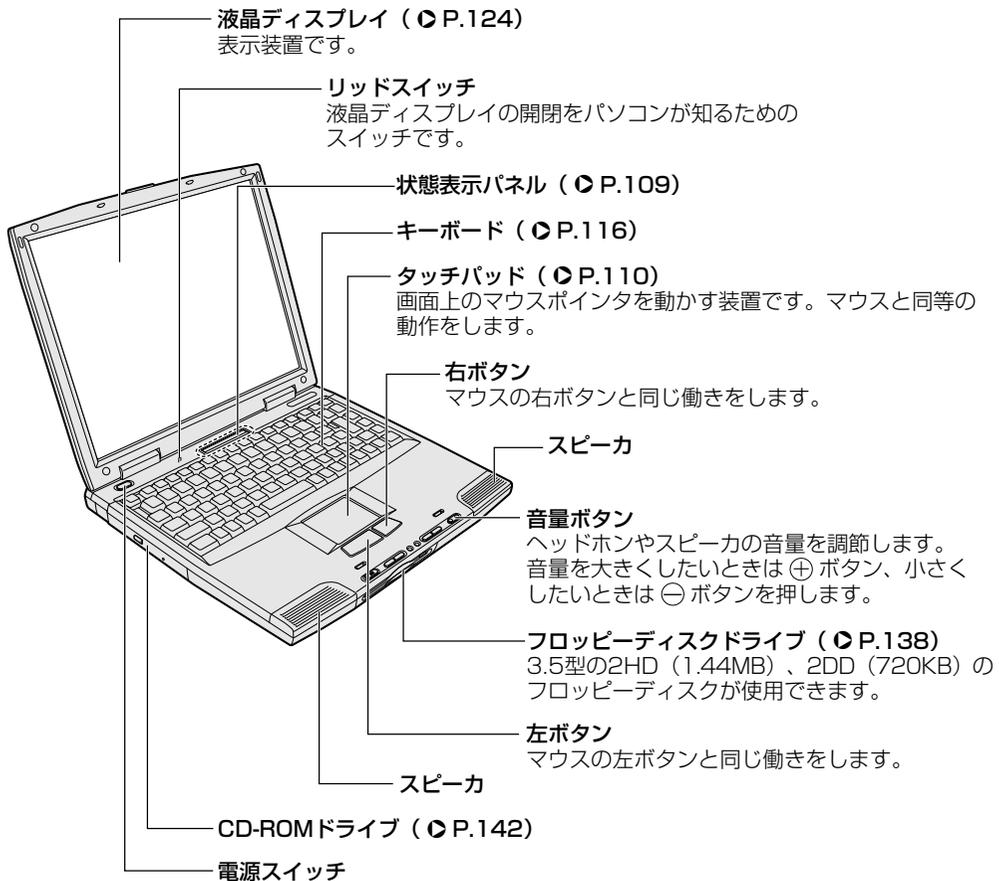
各部の名前

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。

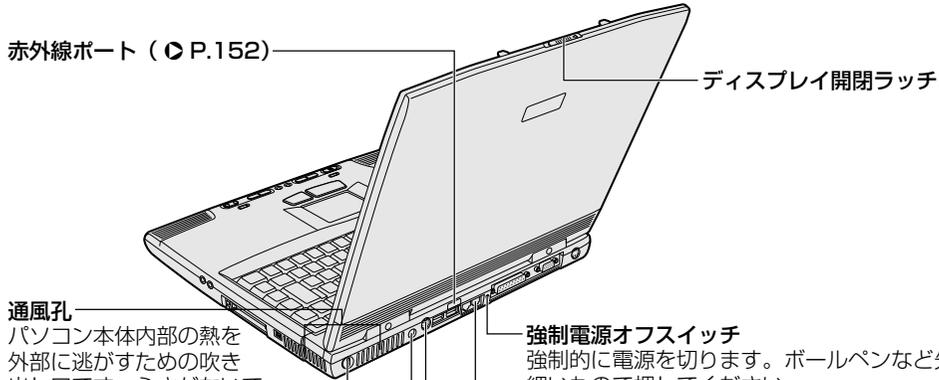
それぞれについての詳しい説明は、それぞれに関連する節で行います。

1. 本書で説明しているところ

■ 前面図



■ 背面図



赤外線ポート (P.152)

ディスプレイ開閉ラッチ

通風孔

パソコン本体内部の熱を外部に逃がすための吹き出し口です。ふさがないようにしてください。

セキュリティロックスロット

盗難防止用チェーンなどを接続します。



セキュリティロック用の機器については、本製品に対応のものを販売店にご確認ください。

電源コネクタ

付属のACアダプタを接続します。

PS/2コネクタ

PS/2対応のキーボードや同梱されているマウスを取り付けることができます。接続するときは、パソコン本体の電源を必ず切ってください。

▶「1章 4 マウスを使う」

強制電源オフスイッチ

強制的に電源を切ります。ボールペンなど先の細いもので押ししてください。

⚠ 注意

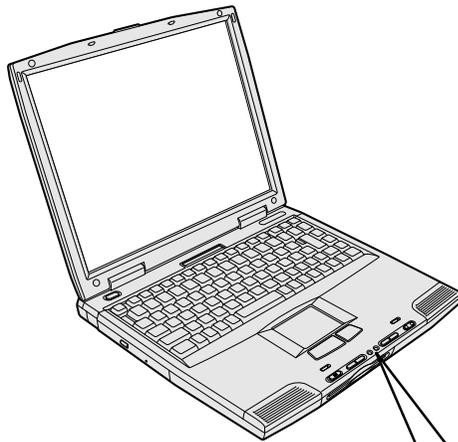
・通常電源を切るときには、ご使用にならないでください。ご使用になるとデータが消失するおそれがあります。このスイッチは電源スイッチを5秒以上押し続けても電源が切れない場合にのみご使用ください。

モジュージャック

モデム機能を使用するとき、モジュラーケーブルを接続し、もう一方を電話回線に接続します。

▶『インターネット編 1章 2-2 パソコンと電話回線を接続する』

■ イージーボタン拡大図



〈イージーボタン〉

機能切り替えスイッチ

スイッチの位置によって、ボタンの機能が変わります。

スイッチ左：アプリケーションモード

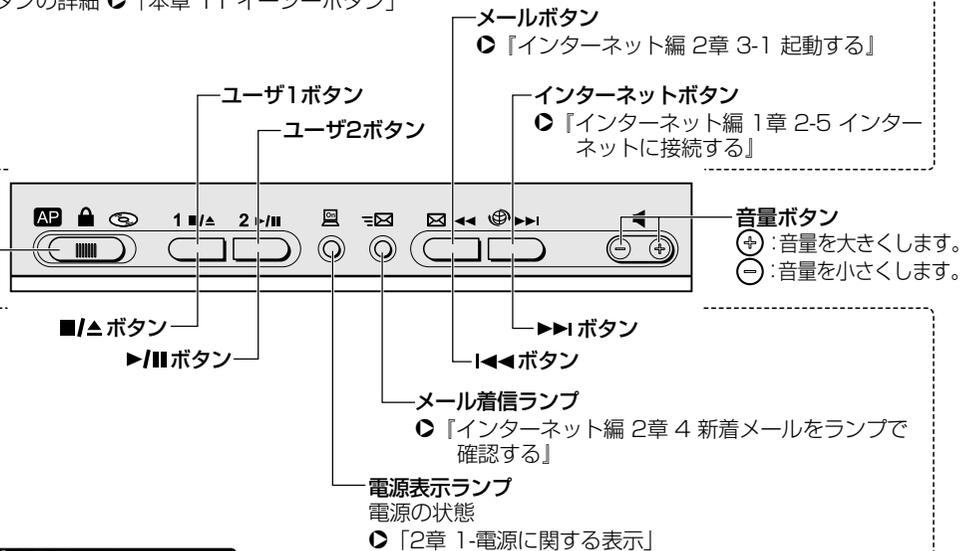
スイッチ右：音楽CDモード

スイッチ中央：ボタンは使用できません（ロック状態）。

アプリケーションモード

（機能切り替えスイッチ：左）

ボタンの詳細 ▶ 「本章 11 イージーボタン」

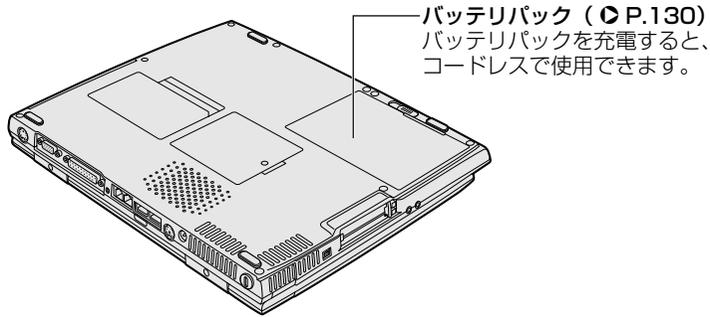


音楽CDモード

（機能切り替えスイッチ：右）

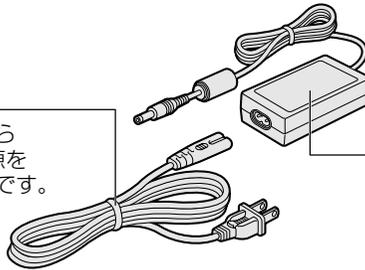
ボタンの詳細 ▶ 「5章 1 音楽CDを聴く」

■ 裏面図



■ 付属品

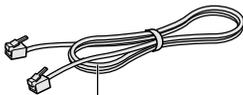
電源コード
電源コンセントから
ACアダプタに電源を
供給するケーブルです。



ACアダプタ
電源コネクタに接続し、
パソコン本体に電源を
供給します。



PS/2マウス
PS/2コネクタに接続して
使用できます。
▶ 「1章 4 マウスを使う」



モジュラーケーブル
電話回線と内蔵モデムを接続するケーブルです。
▶ 『インターネット編 1章 2-2 パソコンと電話
回線を接続する』

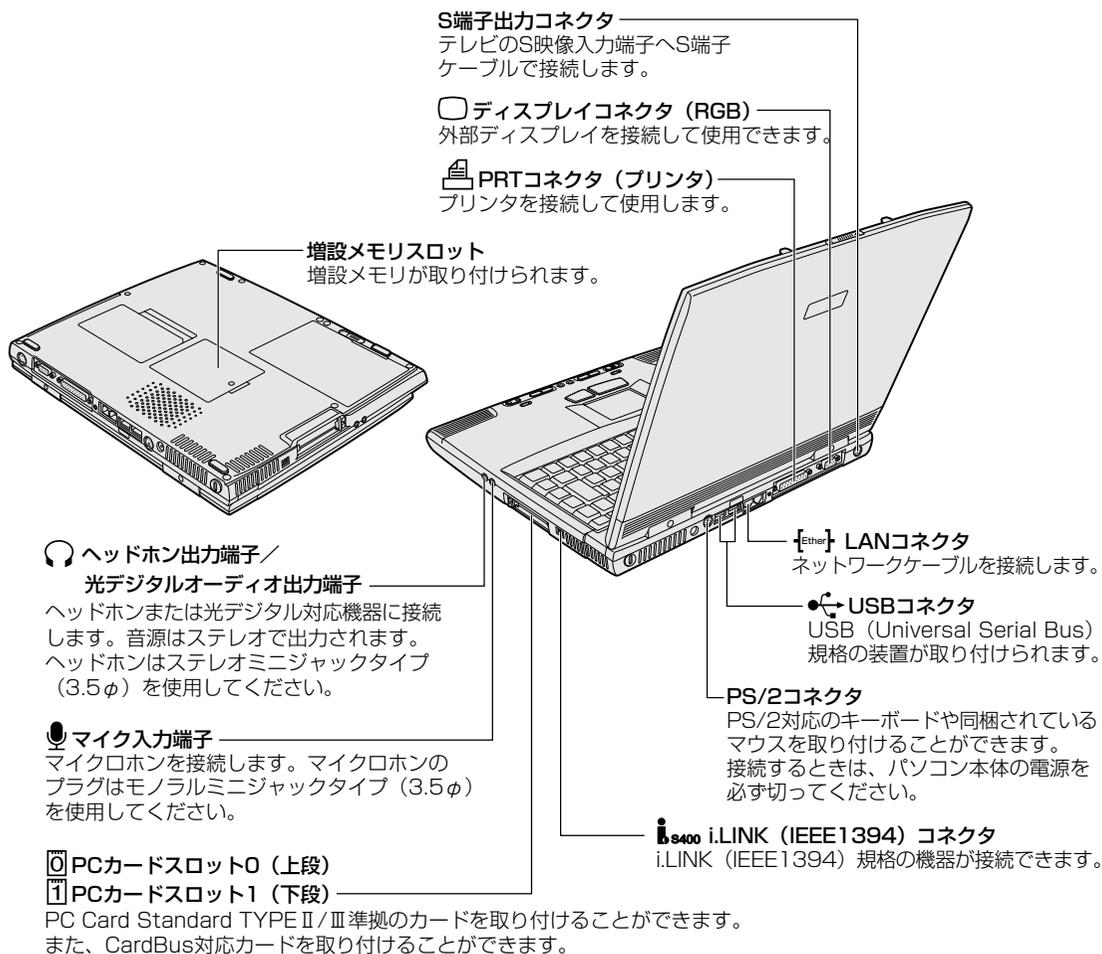


すいすいセットアップビデオ
パソコンの使いかたをビデオで
説明しています。
はじめにご覧ください。

2. 『活用編』で説明しているところ

次の場所には、周辺機器が接続できます。

詳しい説明は、『活用編 3章 周辺機器を使おう』をご覧ください。



2

状態表示パネル

マークの点灯状況によって、パソコン本体がどのような動作をしているか知ることができます。



次のマークはパソコン本体の動作状況を示します。

	CD/ハードディスクマーク	CD-ROMドライブまたはハードディスクドライブにアクセスしている ▶「本章 10 CD」 ▶「本章 6 ハードディスクドライブ」
	フロッピーディスクマーク	フロッピーディスクドライブにアクセスしている ▶「本章 9 フロッピーディスク」
	PCカードマーク	PCカードにアクセスしている ▶「活用編 3章 2 PCカードを接続する」
	電源入力マーク	電源コードの接続状態 ▶「2章 1-電源に関する表示」
	バッテリー充電マーク	バッテリーパックの充電状態 ▶「本章 8 バッテリー」
	バッテリーフル充電マーク	バッテリーパックがフル充電されている ▶「本章 8 バッテリー」
	バッテリー残量表示マーク	バッテリー残量の状態 ▶「本章 8 バッテリー」

次のマークはキーの入力状態を示します。

キーボードのキーは、状態によって入力できる文字が異なります。

 詳細について ▶「本章 4 キーボード」

 A	大文字入力固定状態
 +	カーソルキー入力固定状態
	数字入力固定状態
 ↑↓	画面スクロール入力固定状態

3 タッチパッド

タッチパッドや右ボタン／左ボタンはお好みに応じて、使いやすく設定できます。本節では、お使いになると便利な機能を紹介します。
本節で紹介する機能をお使いになるには、タッチパッドユーティリティのセットアップを行なってください。

 インストール方法について

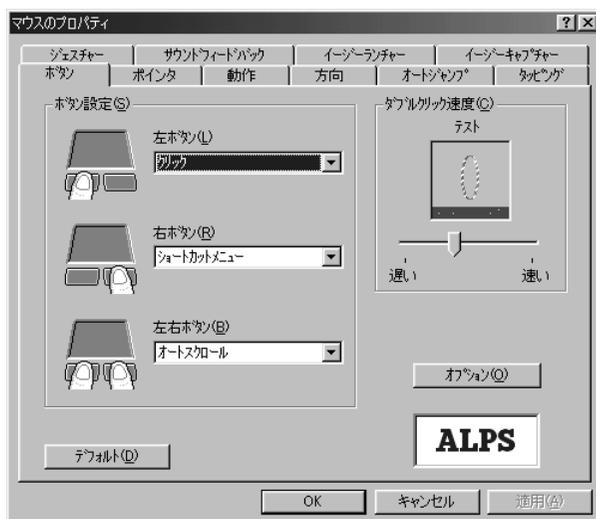
▶ 「1 章 2-3 イージーボタンとタッチパッドを使うには」

【マウスのプロパティ】の設定方法

設定は【マウスのプロパティ】で行います。

1 タスクバーの【タッチパッド】() アイコンをダブルクリックする

画面が表示されます。



2 各タブで機能を設定し、【OK】ボタンをクリックする

各機能の設定については、本節の以降の説明をご覧ください。
【キャンセル】ボタンをクリックした場合は、設定が変更されません。

ヘルプの起動方法

1 【マウスのプロパティ】画面を表示し、画面右上の をクリックする

マウスポインタが  に変わります。

2 画面上の知りたい場所をクリックする

説明文がポップアップで表示されます。



・ BIOS セットアップの [Pointing Device] が [Auto-Selected] の場合 (初期設定) に、マウスを接続すると [タッピング] タブ、[イージーキャプチャ] タブ、[ジェスチャー] タブは表示されません。

 BIOSセットアップについて

▶ 「活用編 5 章 BIOS セットアップ」

・ [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックし、[マウス] をダブルクリックしても表示できます。

タッピング機能

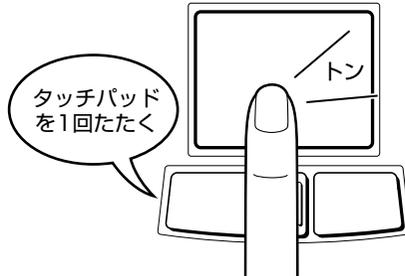
[タッピング] タブで設定します。

タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。

タッピング機能を使うと、左ボタン／右ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

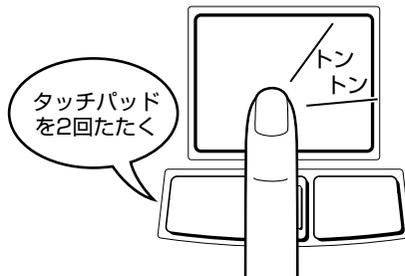
クリックする

タッチパッドを1回軽くたたきます。



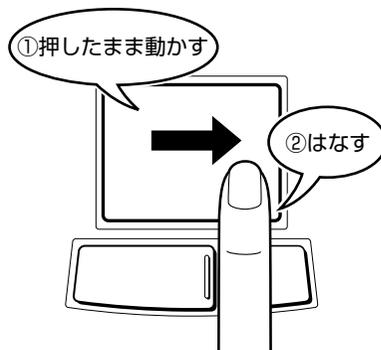
ダブルクリックする

タッチパッドを2回軽くたたきます。



ドラッグアンドドロップする

タッチパッドを続けて2回たたき、2回目はタッチパッドから指を離さずに目的の位置まで移動し①、指を離します②。



タッピング機能の各項目について説明します。



■ [タッピング]

チェックすると、タッピング機能が使用できます。

ご購入時はチェックされています。

続けてタッピングするときの速度は、スライダーバーを動かして調節します。

■ [ドラッグロックの設定]

タッピングでドラッグした場合、指を離してもドラッグ状態を保ちたい場合は、[ドラッグロック] をチェックします。

ドラッグ状態を解除する方法を次の中から選択します。

[自動解除] : ある一定時間経ったらドラッグ状態を解除します。
時間はスライダーバーを動かして調節できます。

[タッピング又はクリックで解除] : タッピング (1 回たたく) またはクリックの動作でドラッグ状態を解除します。

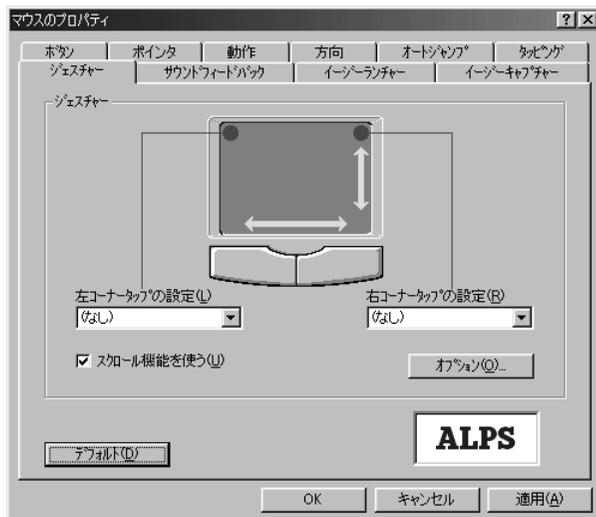
■ [キー入力時タップしない]

タッピング機能を設定していても、キーボードから文字を入力している間はタッピング機能が効かないようにします。この項目をチェックすると、入力中にマウスポインタが意図しない場所に移動してしまうのを防ぐことができます。

タッピング機能を便利に使う

[ジェスチャー] タブで設定します。

タッチパッドの右上、左上をタッピングしたときの動作や、スクロール機能を設定しておくことができます。



■ [左コーナータップの設定] [右コーナータップの設定]

タッチパッドの左上、右上をタッピングしたときの動作を設定できます。

なし	設定しません。
ショートカットメニュー	右クリックや  キーを押したときと同じ動作をします。
オートスクロール	マウスポインタが  アイコンになります。このアイコンを中心にしてスクロールしたい方向にマウスポインタを移動すると  (表示例：下の場合) が表示され、自動的にその方向の端までスクロールします。
イーजीランチャー	イーजीランチャー画面を表示します。 ▶ 「本節 イーजीランチャー機能」
イージーキャプチャー	イージーキャプチャー画面を表示します。一時的にメモ帳のように使用できます。

■ [スクロール機能を使う]

タッチパッドの右端、下端に指を合わせて上下または左右に動かしたときに、スクロール機能を使用するときはチェックします。

オートジャンプ機能

[オートジャンプ] タブで設定します。

ウィンドウを開いたときに、マウスポインタが自動的に指定の位置に移動する機能です。

3つの項目から、マウスポインタを移動したい位置をチェックして、優先順位を設定します。

チェックすると優先順位に従って、   が表示されますので、位置をご確認ください。

ウィンドウによって内容が異なりますので、ウィンドウの内容と優先順位に従って、マウスポインタが移動します。

画面はすべての項目をチェックした場合です。



イーजीランチャー機能

イーजीランチャー画面をデスクトップ上に一時的に表示し、ボタンをクリックするだけで、最小化、閉じるなどの操作を実行したり、登録したアプリケーションやファイルを簡単に起動できる機能です。

イーजीランチャー画面を使う

1 タスクバーの アイコンを右クリックし、表示されるメニューから [イーजीランチャー] をクリックする

イーजीランチャー画面が表示されます。画面が表示されている間、マウスポインタはイーजीランチャー画面内しか動きません。



(表示例)

2 イーजीランチャー画面のボタンをクリックする

ボタンをクリックすると、イーजीランチャー画面は消えます。



・ [ジェスチャー] タブの [左コーナータップの設定] または [右コーナータップの設定] で [イーजीランチャー] を選択すると、タッチパッドの左上または右上を1回たたきただけでイーजीランチャー画面が表示されるので便利です。

ボタンを登録する

[イージーランチャー] タブで設定します。

1 [追加] ボタンをクリックする

2 登録したいアプリケーションやファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックする

ショートカットリストに追加されます。

画面は「Internet Explorer」を登録した場合です。



3 ショートカットリストにアプリケーションやファイルが追加されたことを確認し、[OK] ボタンをクリックする

イージーランチャー画面に登録されます。



・イージーランチャー画面の表示形式を変更するには、[オプション] ボタンをクリックし、表示される画面で設定します。

4 キーボード

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。



主なキーの呼びかたと役割

キー	内容
(Esc) (エスケープ)	操作を取り消すときに使います。
(Shift) (シフト)	アルファベットの英大文字、英小文字入力の一時的な切り替えや記号などを入力するときに使います。
(Alt) (オルト) (Ctrl) (コントロール)	他のキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
(田) (ウイン)	Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
(Space) (スペース)	空白文字を入力するときや、入力した文字をかな漢字変換するときに使います。
(鼠) (アプリケーション)	マウスの右ボタンおよびパソコン本体の右ボタンを押すことと同じ動作を行いたいときに使います。
(Fn) (エフエヌ)	数字／カーソル入力キーを使用するときに使います。また、ファンクションキーとの組み合わせにより特殊機能を実行するときに使用します。
(Ins) (インサート)	文字の入力モードを挿入／上書きに切り替えるときに使います。
(Del) (デリート)	文字を削除するときなどに使います。
(←) (→) (↑) (↓) (矢印)	カーソル移動などに使います。
(Enter) (エンター)	作業を実行するときなどに使います。
(F1)～(F12) (ファンクション)	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容	
(Ctrl) + (CapsLock 英数)	カナ入力 固定状態	この状態で文字キーを押すと、キー トップ右下に印刷されたひらがなを、 カタカナで入力できます。
(Shift) + (CapsLock 英数) ( A)	大文字入力 固定状態	この状態で文字キーを押すと、キー トップ左上に印刷された英字などの文 字を、大文字で入力できます。

カナ入力固定や大文字入力固定状態を解除するには、もう1度同じキー操作をします。入力固定状態の優先度は、カナ入力固定状態>大文字入力固定状態です。

上の表の機能はお使いになる日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
(Fn)+(F1) <インスタント セキュリティ機能>	表示画面をオフにし、キーボードやタッチパッドから操作できないようにします。 解除するには、次のように操作します。 パスワードを設定している場合 :パスワードを入力し、(Enter)キーを押す パスワードを設定していない場合 : (Enter)キーを押す パスワードは、BIOS セットアップの [User Password] で設定してください。  詳細について ●『活用編 5章 4 Securityメニューの詳細』
(Fn)+(F4) <アラーム音量の調整>	アラーム音量を切り換えます。 ↑off→小→中→大↓
(Fn)+(F5) <表示装置の切り替え>	表示装置を切り替えます。 (Fn)+(F5)キーを押すことにより、現在の表示から、次の順で表示が切り替わります。 ↑内部→同時→外部↓ 内部：液晶ディスプレイ 同時：液晶ディスプレイと外部ディスプレイ 外部：外部ディスプレイ
(Fn)+(F10) ( ) <カーソルキー入力状態>	カーソルキーのオン/オフが切り替わります。
(Fn)+(F11) ( ) <数字入力状態>	数字キーのオン/オフが切り替わります。
(Fn)+(F12) ( ) <スクロールロック状態>	画面スクロール入力状態になります。 「Microfoft Excel」など一部のアプリケーションで(←)(→)(↑)(↓)キーを使って画面のスクロールができます。



・外付けキーボードをご使用のときは、(Fn)キーの機能は左(Ctrl)+左(Alt)キーで代用できます。

⌘キーを使ったショートカットキー

⌘キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
⌘+R	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
⌘+M	すべてをアイコン化する
Shift+⌘+M	すべてのアイコン化を元に戻す
⌘+F1	Windows の『ヘルプとサポート』を起動する
⌘+E	Windows エクスプローラを起動する
⌘+F	ファイルまたはフォルダを検索する
Ctrl+⌘+F	他のコンピュータを検索する
⌘+Tab	タスクバーのボタンを順番に切り替える
⌘+Break	[システムのプロパティ] 画面を表示する

特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	操作
システムの再起動	Ctrl+Alt+Del	プログラムの強制終了画面が表示されます。もう1度押すと、システムを再起動します。
画面コピー	Fn+Ins	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	Fn+Del	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。

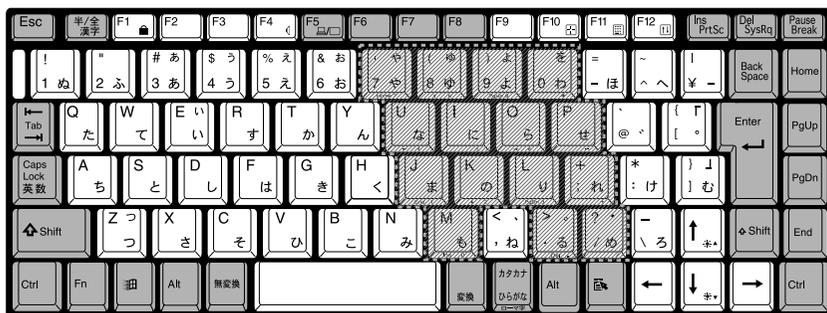


・システムが操作不能になったとき以外は、Ctrl+Alt+Delキーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

数字／カーソルキー入力機能

点線枠で示したキーを数字キーやカーソルキーとして使用できます。同時に2つの機能は使用できません。

数字キー入力機能では、キーの前面右に印刷されている数字や記号を入力できます。カーソルキー入力機能では、キーの前面左に印刷されている数字や記号を入力できます。



■ 数字キーとカーソルキーの割りあて

キー 数字キー機能 カーソルキー機能

キー	数字キー機能	カーソルキー機能
⑦	⑦	(Home)
⑧	⑧	(↑)
⑨	⑨	(PgUp) (ページアップ)
⑩	(*)	(*)
U	④	(←)
I	⑤	なし
O	⑥	(→)
P	(-)	(-)
J	①	(End)
K	②	(↓)
L	③	(PgDn) (ページダウン)
(+)	(+)	(+)
M	⑦	(Ins)
(>)	(.)	(Del)
(?)	(/)	(/)

数字／カーソルキー入力固定状態にする

点線枠で示したキーを常に数字キーやカーソルキーとして使用します。

■ カーソルキー入力機能を使う場合

(Fn)+(F10)キーを押し、  と表示されたら各キーを押す
解除するには、もう1度 (Fn)+(F10)キーを押します。

■ 数字キー入力機能を使う場合

(Fn)+(F11)キーを押し、  と表示されたら、各キーを押す
解除するには、もう1度 (Fn)+(F11)キーを押します。

一時的にカーソルキー入力固定状態にする

点線枠で示したキーを入力固定状態にせず、一時的にカーソルキーとして使用します。

■ カーソルキー入力機能を使う場合

(Fn)キーを押しながら各キーを押す

5 ディスプレイ

本製品では TFT 方式カラー液晶ディスプレイ（1024 × 768 ドット）を採用しています。

 ディスプレイとは ▶ 「6 章 1-4 表示装置」

カラー液晶ディスプレイの機能について説明します。

■ 表示について

- 本製品では、カラー対応のアプリケーションをご使用の場合にカラー表示されます。それ以外の場合は、モノクロ表示になります。
- TFT 方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け・常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるように管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

■ 表示可能色数

設定した解像度によって、次にあげる色数まで表示できます。

1600 × 1200 ドット	65,536 色
1280 × 1024 ドット	1,677 万色
1024 × 768 ドット	1,677 万色
800 × 600 ドット	1,677 万色
640 × 480 ドット	1,677 万色

1280 × 1024 ドット以上は仮想スクリーン表示になります。



・1,677 万色はディザリング表示です。



・ディザリング
1 ピクセル（画像表示の単位）では表現できない色（輝度）の階調を、数ピクセルの組み合わせによって表現する方法。

6

ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは、本体に内蔵されています。取りはずしはできません。

 ハードディスクドライブとは ▶ 「6章 1-3 記憶装置」

ハードディスク装置に関する表示

ハードディスクとデータをやり取りしているときは、CD/ハードディスクマークが点灯します。



ハードディスクに記録された内容は故障や損害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、ご了承ください。

万一故障した場合に備え、バックアップを取ることをおすすめします。

 バックアップについて ▶ 「本章 13- データのバックアップについて」

ハードディスクを使用するときのお願い

- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起ったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスクやフロッピーディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。
- 磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。落とす、ぶつけるなど強いショックを与えないでください。
- パソコン本体に強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。



お願い

- ・CD/ハードディスクマークが点灯中は、電源を切ったり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データが消失するおそれがあります。

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

- スピーカについて ▶「本節 1 スピーカの音量を調整する」
- 音楽／音声の録音レベルの調整について
 - ▶「本節 2 音楽／音声の録音レベルを調整する」
- システムスピーカについて
 - ▶「本節 3 システムスピーカの音量を調整する」

1. スピーカの音量を調整する

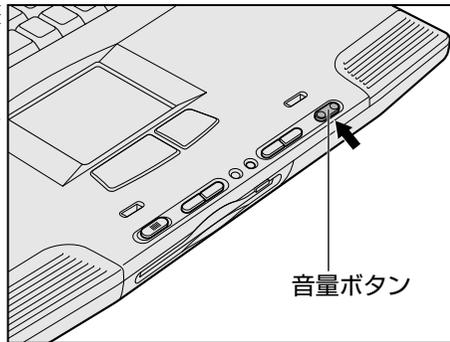
標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能は Microsoft Windows Sound System に適合しています。

スピーカの音量調整は、音量ボタン、または Windows の「ボリュームコントロール」を使用します。

音量ボタンで調整する

本体前面の音量ボタンで音量を調整します。

音量を大きくしたいときには ⊕ ボタン、小さくしたいときには ⊖ ボタンを押します。



 音量ボタン ▶「本章 1 各部の名前」

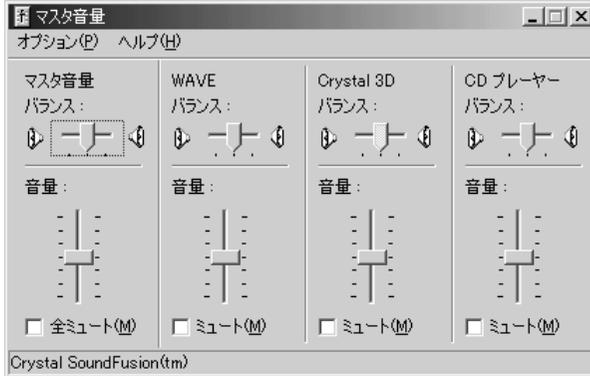


- ・ イージーボタンユーティリティのセットアップを行うと、デスクトップ画面で音量を確認できます。

ボリュームコントロールで調整する

再生したいファイルごとに音量を調節したい場合、次の方法で調節できます。

- 1 タスクバー上の [音量] アイコン () をダブルクリックする
または、[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [エンターテイメント] - [ボリュームコントロール] をクリックする
[マスタ音量] 画面が表示されます。



(表示例)

2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするるとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると消音となります。

■ 音楽／音声を再生するとき

「マスタ音量」の各項目では次の音量が調整できます。

- マスタ音量 : すべての音量を調整する
- WAVE : MP3 ファイル、Wave ファイル、音楽 CD (Windows Media Player の場合) など
- Crystal 3D : MIDI ファイル
- CD プレーヤー : 音楽 CD

また、お使いのアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『ボリュームコントロールのヘルプ』をご覧ください。

[音量]アイコンから調整する

1 タスクバー上の [音量] アイコン (🔊) をクリックする

次の画面が表示されます。



2 つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上に行くとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると、消音になります。

使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。

- 本製品の音量ボタンで音量を調整する
- 使用しているアプリケーションの設定を変える
- 外部マイクをスピーカから離す



用語

・ハウリング

スピーカから出た音がマイクに入りスピーカに返されると、音が増幅される。これが繰り返されて発生する高く大きな音のこと。

2. 音楽／音声の録音レベルを調整する

録音レベルの調整は、次のように行います。

パソコン上で録音するとき

- 1 タスクバーの [音量] アイコンをダブルクリックする、または [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [エンターテイメント] - [ボリュームコントロール] をクリックする
- 2 メニューバーの [オプション] - [プロパティ] をクリックする
- 3 [音量の調整] で [録音] をチェックする
- 4 [表示するコントロール] をチェックする
[ステレオミックス] [マイク] がチェックされていることを確認します。
- 5 [OK] ボタンをクリックする
- 6 [録音の調節] 画面で、使用するデバイスの [選択] をチェックする
[ステレオミックス] : MP3 ファイル、Wave ファイル、MIDI ファイル、音楽 CD などを録音するとき
[マイク] : 外部マイクから録音するとき
- 7 選択したデバイスのつまみで音量を調節する



・同時に2つのデバイスを選択することはできません。

光デジタルオーディオ出力端子経由で録音するとき

光デジタルオーディオ出力端子経由で録音する場合は、音量ボタンや「ボリュームコントロール」などで、再生している音量を調節します。

- 音量ボタン、ボリュームコントロールについて
▶ 「本節 1 スピーカの音量を調整する」

3. システムスピーカの音量を調整する

システムスピーカを設定すると、パソコンのハードウェアの状態を知ることができます。

システムスピーカの音量は調整できます。

- 1 **(Fn) + (F4)** キーを押す

押すたびに、次の順で音量が切り替わり、実際の音が鳴ります。

「off (鳴らない) → 小 → 中 → 大」

8

バッテリー

危険

- ・バッテリーパックを火の中へ投げ入れたり、加熱したりしないでください。破裂、発火させる原因となります。
- ・バッテリーパックを分解・改造しないでください。破裂、発火させる原因となります。
- ・バッテリーパックの電極の（+）と（-）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。
- ・バッテリーパックにくぎを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないでください。電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

- ・バッテリーパックの使用、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、すぐにパソコン本体から取りはずしてください。
- ・バッテリーパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、東芝純正バッテリー（TOSHIBA バッテリーパック：PXBAS008）をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発煙、火災のおそれがあります。使用済みのバッテリーパックの処理は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠ 注意

- ・バッテリーパックの充電温度範囲内（5～35℃）で充電してください。
充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- ・バッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
発熱したり、サビなどのおそれがあります。
- ・バッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。
東芝 PC 集中修理センタに点検を依頼してください。
- ・バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。
バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）を使いきってしまうと、スタンバイ機能が効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、一度全バッテリーを充電するために、AC アダプタを接続して充電してください。
- ・バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。スタンバイ機能を実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- ・バッテリーパックを保管する場合は、ショート防止のために電極に絶縁テープをはるなどの対策をこうじてください。そのままの状態では保管すると、破裂や火災のおそれがあります。
- ・バッテリーパックはしっかりと取り付けられているかどうか、必ず確認してください。正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、思わぬケガのおそれがあります。
- ・充電機能が著しく低下した場合や、バッテリーのなくなったことによる警告メッセージが表示された場合は使い続けしないでください。
そのまま使い続けると、本体内の記憶内容がこわされるおそれがあります。手順に従いバッテリーの交換をしてください。
- ・バッテリーパックを捨てるときは、ショート防止のために、電極に絶縁（ぜつえん）テープをはり、地方自治体の条例や規則に従ってください。
そのままの状態では捨てると、破裂、発火のおそれがあります。
- ・本体側の電極に手を触れないでください。故障の原因になります。

パソコン本体には、バッテリーパックが取り付けられています。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（AC アダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、AC アダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。

ご購入時は、バッテリーはフル充電されていませんので、本製品を初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してからお使いください。

パソコンをバッテリーで使用していると、放電時間が短くなったり、バッテリー残量表示と実際のバッテリー残量に誤差が生じたりすることがあります。このような場合は、バッテリーのリフレッシュを行なってください。月に1度くらいを目安にバッテリーのリフレッシュを行うことをおすすめします。

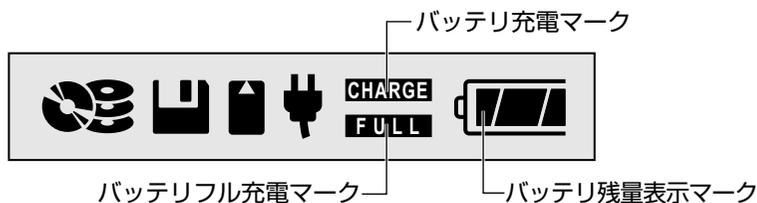
 バッテリーのリフレッシュ ▶ 「本節 1-バッテリーのリフレッシュを行う」

1. バッテリ充電量を確認する

バッテリ駆動で使う場合、バッテリの充電量が減って途中で作業を中断したりしないよう、バッテリの充電量を確認しておく必要があります。バッテリ充電量を確認するには、次の方法があります。

バッテリ残量表示マークで確認する

次のマークが、バッテリの状態を示すマークです。



マークは次の状態を示します。

マークの状態		バッテリの状態
バッテリー充電マーク CHARGE	点滅	バッテリーパックを充電しています。
バッテリーフル充電マーク FULL	点灯	バッテリーはフル充電されています。
バッテリー残量表示マーク		バッテリーは十分に充電されています。
		バッテリーは充電されていますが、バッテリー残量に注意してお使いください。
		充電が必要です。
	点滅	すぐに充電が必要です。警告音が鳴ります。

ACアダプタを接続している場合、バッテリー充電マーク **CHARGE** が点滅から消灯へと変わり、バッテリーフル充電マーク **FULL** が点灯するとバッテリの充電は完了です。



・バッテリー残量表示マークは、概算によるものです。パソコンの使用状況によっては、実際の残り時間が異なることがあります。

アイコンで確認する

タスクバーの「電源メーター」アイコン（ または ）の上にマウスポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。バッテリー充電量は目安です。

- ACアダプタを接続している場合
- バッテリー駆動の場合



(表示例)

また、ダブルクリックすると、「電源メーター」画面が表示されます。

「電源メーター」アイコン（ または ）を表示する

「電源メーター」アイコンが表示されていない場合、次の手順で表示できます。

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [電源の管理] アイコンをダブルクリックする
- 3 [詳細設定] タブで [アイコンをタスクバーに常に表示する] をチェックする
- 4 [OK] ボタンをクリックする

バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量の減少が進むと、次のように警告します。

- バッテリー残量表示マーク  が点滅する（バッテリーの減少を示しています）
- 警告音（ビープ音）が鳴る

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの対処を実行してください。

- パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源を供給する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

対処しないと、休止状態が有効に設定されている場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

休止状態が無効の場合、パソコン本体は何もしないで電源が切れますので、休止状態を有効にしておくことをおすすめします。

時計用バッテリー

本製品には、取りはずしができるバッテリーパックの他に、内蔵時計を動かすための時計用バッテリーが内蔵されています。

時計用バッテリーの充電は、ACアダプタを接続しているときに行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識して行う必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。充電完了までの時間は次のとおりですが、実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。

状態	時計用バッテリー
電源ON	約24時間
電源OFF	約24時間



- ・「電源の管理」アイコンが表示されていない場合は、画面左の「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。



- ・長時間使用しないで自然に放電しきってしまったときは、警告音でもバッテリー残量表示マークでも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。



- ・時計用バッテリーが切れていると、時間の再設定をうながす Warning（警告）メッセージが出ます。

バッテリーのリフレッシュを行う

次のような場合に、バッテリーのリフレッシュを行なってください。

- ・ バッテリー残量表示マークと実際の残り時間の誤差が大きくなってきたとき
- ・ 新しいバッテリーパックと交換したとき

1 機能切り替えスイッチをロック状態（中央）にする

2 パソコン本体の電源を入れる

3 「DynaBook」画面が表示されている間に、**(F2)**キーを押す BIOS セットアップが起動します。

4 AC アダプタを取りはずし、バッテリーパックを完全に放電する

最長約2時間かかります。

放電中はACアダプタを接続しないでください。バッテリーのリフレッシュが中断されます。

完全に放電されると、電源が切れます。電源表示ランプが消え、画面が真っ暗になります。

5 AC アダプタを接続し、フル充電になるまで充電する

フル充電になると、バッテリー充電マークが点滅から消灯へと変わり、バッテリーフル充電マークが点灯します。

フル充電になるまでに約2時間かかります。

6 もう1度、手順1から5を繰り返す

2. バッテリを充電する

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

充電方法

1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ

バッテリー充電マーク **CHARGE** が点滅すると、充電が開始されます。

パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF に関わらず常時充電されます。

2 バッテリ充電マーク **CHARGE** が点滅しなくなるまで通電する

バッテリーの充電が完了すると、バッテリー充電マーク **CHARGE** が点滅から消灯へ変わり、バッテリーフル充電マーク **FULL** が点灯します。

電源入力マークが消灯している場合は、電源が供給されていません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。

充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

状態	充電時間
電源ON	約3~4.5時間
電源OFF	約2時間

(注) 周囲の温度が低いとき、バッテリーの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くかかることがあります。

使用できる時間

バッテリー駆動での使用時間は、パソコン本体の使用環境によって異なります。次の時間は目安にしてください。

■ 充電完了の状態で使用した場合

省電力モード	動作時間
フルパワー	約2.1時間

(注) 当社オリジナルプログラムで計測

●使っていないときの充電保持時間

パソコン本体を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。この場合も放置環境などに左右されますので、保持時間は、目安にしてください。



・バッテリーパックが極端に熱いか冷えていると、正常に充電されないことがあります。バッテリーを充電するには、5~35℃の室温で充電してください。

■ フル充電した状態で電源を切った場合

パソコン本体の状態		保持時間
スタンバイ		約30時間
電源OFFまたは 休止状態	ロック状態	約10週間
	アプリケーションモード	約120時間
	音楽CDモード	約38時間

バッテリーを節約する

バッテリーを節約して、本製品をバッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- バッテリーの充電を完了（フル充電）する
- バッテリー駆動で使用した後は、バッテリーを充電しておく
- 休止状態にし、こまめに電源を切る
 休止状態 ▶ 「2章 3 作業を中断する」
- 入力しないときは、ディスプレイを閉じておく
- 省電力モードに設定する
 省電力設定 ▶ 「活用編 4章 消費電力を節約する」



・電源 OFF または休止状態後は、機能切り替えスイッチを中央にしてロック状態にしてください。アプリケーションモード（スイッチを左）や音楽 CD モード（スイッチを右）では保持時間が短くなります。

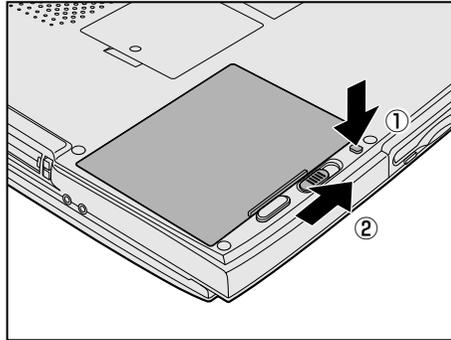
3. バッテリパックを交換する

取りはずし／取り付け

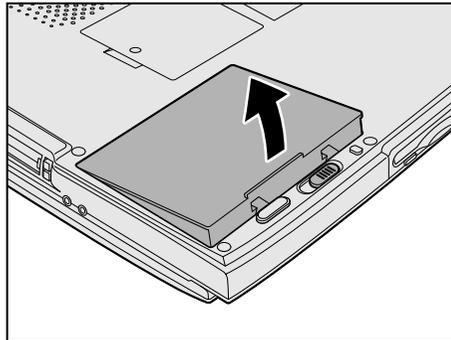
- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 [スタート] - [Windows の終了] をクリックする
- 3 [終了] を選択し、[OK] ボタンをクリックする
Windows を終了して電源が切れます。
- 4 パソコン本体から AC アダプタと周辺機器のケーブル類をはずす
- 5 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

- 6 バッテリラッチ右のボタンを押しながら①、バッテリーラッチを奥までスライドする②

バッテリーパックが持ち上がります。

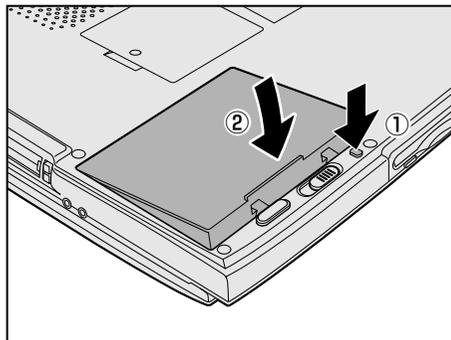


- 7 バッテリパックをパソコン本体から取り出す



- 8 バッテリラッチ右のボタンを押しながら①、交換するバッテリーパックを静かに挿入する②

「カチッ」と音がしたことを確認してください。



・バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。

⚠ 注意

- ・パソコン本体の電源が入っている場合で、フロッピーディスクマークが点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたり、パソコン本体を動かしたりしないでください。フロッピーディスクのデータやフロッピーディスクドライブが壊れるおそれがあります。

1. フロッピーディスク

 フロッピーディスクとは ▶ 「6章 1-3 記憶装置」

フロッピーディスクを使用する場合は、データの消失をふせぐ、またはフロッピーディスクを長くお使いいただくために、取り扱い上のご注意をよくお読みください。

 フロッピーディスクの取り扱いについて ▶ 「本章 13-フロッピーディスク」

使用できるフロッピーディスクの種類とその容量

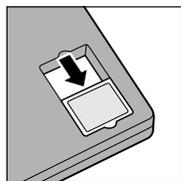
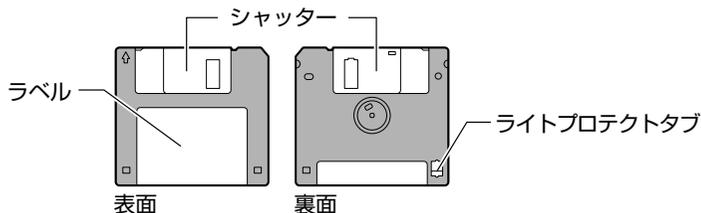
フロッピーディスクに保存できる容量は、次のとおりです。

フロッピーディスクの種類	1枚に保存できる容量
2DDタイプ	720KB
2HDタイプ	1.44MB

 フォーマットについて ▶ 「本節 3 フロッピーディスクのフォーマット」

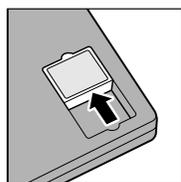
ライトプロテクトタブ

フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。



書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りもできます。



- ・Windows用にフォーマットされていないフロッピーディスクを使用する場合は、フォーマットが必要です。

フロッピーディスクドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、フロッピーディスクとデータをやり取りしているときは、フロッピーディスクマークが点灯します。

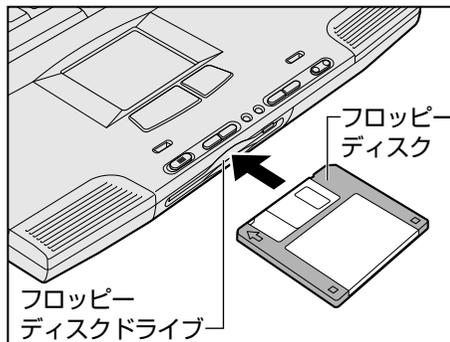


2. フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

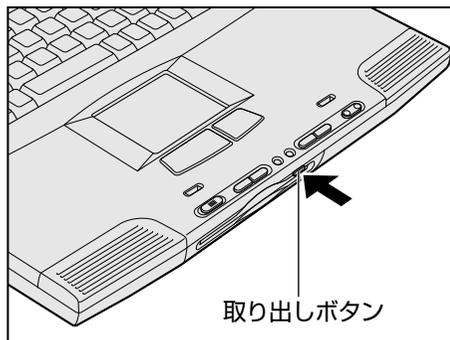
フロッピーディスクのセット

- 1 フロッピーディスクの隅に印刷されている矢印の向きにあわせて挿入する
「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされると取り出しボタンが出てきます。



フロッピーディスクの取り出し

- 1 取り出しボタンを押す
フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



・フロッピーディスクマーク  表示中は、フロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れることがあります。

フロッピーディスクの内容を見る

1 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする

[マイ コンピュータ] 画面が開きます。

2 [3.5 インチ FD (A:)] アイコン () をダブルクリックする

[3.5 インチ FD (A:)] 画面が開き、セットしたフロッピーディスクの内容が表示されます。

3. フロッピーディスクのフォーマット

新品のフロッピーディスクは、使用するシステム (OS) にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。

フォーマットとは、フロッピーディスクにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、フロッピーディスクを使えるようにすることです。

新品のフロッピーディスクには、システムの種類別にフォーマットされているものと、フォーマットを行わずに販売されているものがあります。新品のフロッピーディスクを使用する場合は、「Windows フォーマット済み」かどうか確認してください。フォーマットされていないフロッピーディスクを使うときは、必ずフォーマットを行なってください。

他のシステム上でフォーマットされたフロッピーディスクも、Windows 上でフォーマットすることにより、Windows で使用することができます。

フォーマットには、「クイックフォーマット」と「通常のフォーマット」という方法があります。

■ クイックフォーマット

以前にフォーマットしたことのあるフロッピーディスクに実行できます。クイックフォーマットを行うと、すべてのファイルが削除されますが、基本情報の書き込みなどは行われません。フロッピーディスクが壊れているおそれのある場合は、クイックフォーマットは行わないでください。

■ 通常のフォーマット

すべてのファイルが削除され、基本情報が書き込まれます。ディスクの損傷があるかどうかもチェックされます。

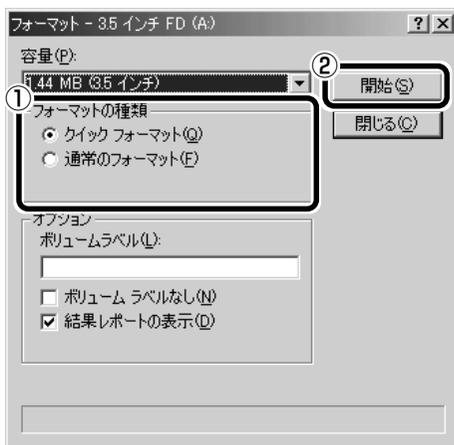


・フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消去されます。1度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は注意してください。

フォーマット方法

Windows でのフォーマット方法を簡単に説明します。詳細については、Windows の『ヘルプとサポート』をご覧ください。

- 1** フロッピーディスクドライブに、フォーマットするフロッピーディスクをセットする
- 2** デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする
- 3** [3.5 インチ FD (A:)] アイコン () をクリックする
[3.5 インチ FD (A:)] が選択され、アイコンの色が反転します。
- 4** メニューバーの [ファイル] をクリックし、表示されたメニューから [フォーマット] をクリックする
アイコンを右クリックして表示されるメニューからも選択できます。フォーマット方法を選択する画面が表示されます。
- 5** フォーマット方法を選択し①、[開始] ボタンをクリックする②



フォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると、フロッピーディスクの情報が表示されますので確認してください。

- 6** [フォーマット結果] の内容を確認し、[閉じる] ボタンをクリックする

これで、フォーマットは完了です。

他のフロッピーディスクも続けてフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、手順5から実施します。

フォーマットを終了する場合は、[フォーマット] 画面で [閉じる] ボタンをクリックします。



- ・他社のパソコンでフォーマットしたフロッピーディスクの中には使用できないものがあります。
- ・2HDフロッピーディスクを2DDタイプでフォーマットしたり、またその逆でのフロッピーディスクの使用はできません。正しくフォーマットされているフロッピーディスクを使用してください。
- ・フォーマット形式は、2DDの場合は720KB、2HDの場合は1.44MBのみになります。



- ・初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、多少時間がかかります。

本製品には CD-ROM ドライブが内蔵されています。

 CD とは ▶ 「6 章 1-3 記憶装置」

警告

- ・ CD-ROM ドライブはサービスマン以外のかたは絶対に分解しないでください。内部にはレーザー光線が使用されており、万一、分解または不適切な使用、修理などがありますと、人体への悪影響^{えいしきょう}(目の痛みなど)をおよぼすおそれがあります。

注意

- ・ ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。CD-ROM ドライブの故障の原因になります。
- ・ CD/ハードディスクマークが点灯しているときは、CD-ROM ドライブが動作しています。このときは取り出しボタンを押さないでください。CD が傷ついたり、CD-ROM ドライブの故障の原因となります。
- ・ パソコン本体の電源が入っている場合で、CD/ハードディスクマークが点灯しているときは、CD を取り出さないでください。CD のデータや CD-ROM ドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ 電源が入っているときには、非常取り出し穴を押さないでください。回転中の CD のデータや CD-ROM ドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ CD-ROM ドライブのトレイを開けたときに、CD が回転している場合には、停止するまで CD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。



お願い

- ・ CD-ROM ドライブはレーザー光線を使用しています。製品を安全に使用するため、本書をよく読んでからお使いください。機器に保守・修理が必要になった場合には、東芝 PC 集中修理センターにご相談ください。

1. CD

使用できるCD

読み込みできるCDは、次の種類です。

①音楽用CD

8cmまたは12cmの音楽用CDが聴けます。

▶ 「5章 1 音楽CDを聴く」

②フォトCD

③CD-ROM

使用するシステムに適合するISO 9660フォーマットのものが使用できます。

④CDエクストラ

⑤CD-R

⑥CD-RW

⚠ 注意

- ・本製品では円形ディスクのみご使用いただけます。
円形以外のディスクを使用すると、本製品の故障の原因となります。

CD-ROMドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、CD-ROMドライブが動作しているときは、CD/ハードディスクマークが点灯します。

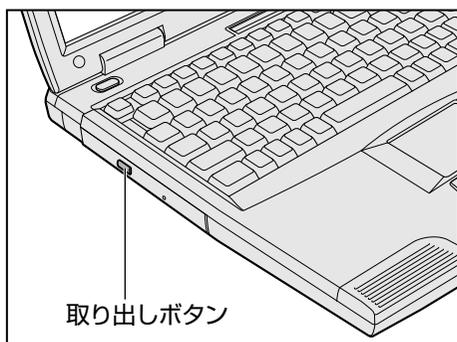


2. CDのセットと取り出し

CDは、電源が入っているときにセット／取り出しができます。

⚠ 注意

- ・ ディスクトレイ内のレンズに触れないでください。CD-ROMドライブの故障の原因になります。
- ・ CD/ハードディスクマーク  表示中は、CD-ROMドライブが動作しています。このときは、取り出しボタンを押さないでください。CDを傷つけたり、CD-ROMドライブの故障の原因となります。



次の場合は、ディスクトレイは取り出しボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。

- 電源を入れた直後
- リセットした直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- CD/ハードディスクマークが点灯しているとき

これらの場合には、時間を置いてから、取り出しボタンを押してください。

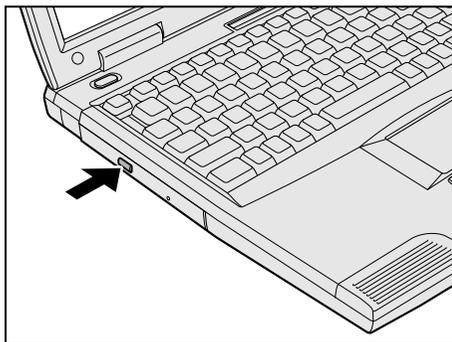
CDのセット

CDをセットするには、次のように行います。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 取り出しボタンを押す

取り出しボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。



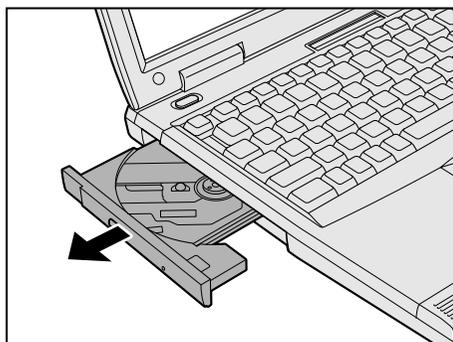
🙏 お願い

- ・ パソコン本体を携帯するときは、CD-ROMドライブにCDが入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。

🔧 トラブルシューティング

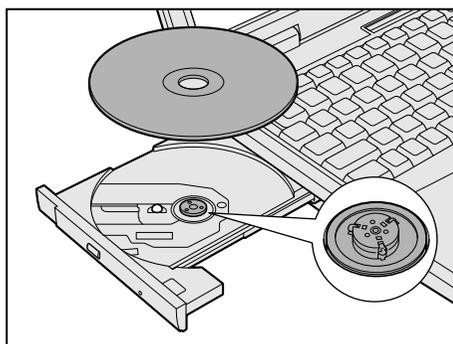
- ・ Windowsが起動したとき、CD/ハードディスクマークが周期的に薄く点灯します。これはCDの自動挿入を検出しているため、故障ではありません。
- ・ 電源が入っていないと、取り出しボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。
- ・ イージーボタンの  ボタン（機能切り替えスイッチ：右のとき）を押してもディスクトレイが出てきます。
▶ 「5章 1 音楽CDを聴く」

- 3 ディスクトレイを引き出す**
CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

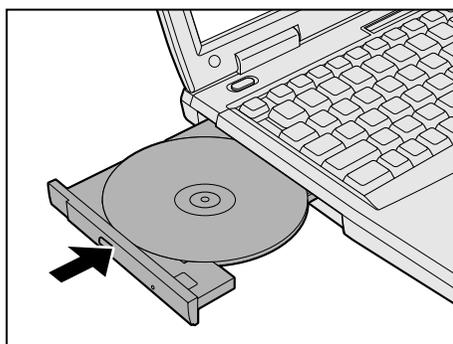


- 4 文字が書いてある面を上にして、CDの穴の部分をディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットする**

カチッと音がして、セットされていることを確認してください。



- 5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す**



お願い

- ・ ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。CD-ROMドライブの故障の原因となります。
- ・ CDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ・ CDを正しくディスクトレイにセットしないとCDを傷つけることがあります。



- ・ 傷ついたり汚れのひどいCDは、CDを挿入してから再生が始まるまで、時間がかかる場合があります。その場合、しばらくすると、再生が始まります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れを拭きとってから再生してください。
- ・ CDの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

CDの取り出し

⚠ 注意

- ・ CD/ハードディスクマーク  表示中は、CDを取り出さないでください。CDのデータやCD-ROMドライブがこわれるおそれがあります。

1 パソコン本体の電源を入れる**2** 取り出しボタンを押す

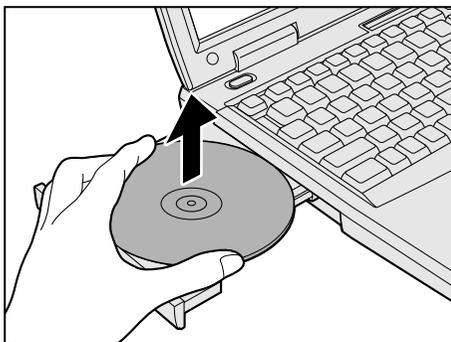
ディスクトレイが少し出てきます。

3 ディスクトレイを引き出す

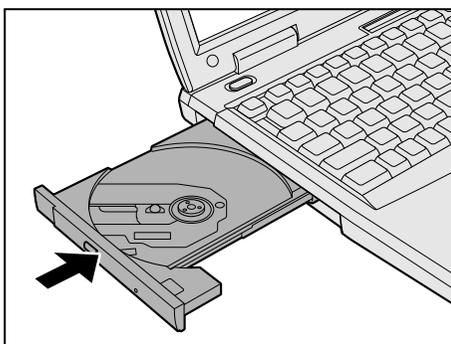
CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 CDの両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す

ディスクトレイからCDを取り出します。



CDを取り出しにくいときは、中央凸部を少し押ししてください。簡単に取り出せるようになります。

5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す お願

- ・ パソコン携帯時は、CD-ROMドライブに入っているCDは取り出してください。
- ・ 電源を入れ、CD/ハードディスクマークの表示が消えてから、CD-ROMドライブの取り出しボタンを押してください。マーク表示中に取り出しボタンを押すとディスクトレイが出てこない場合があります。

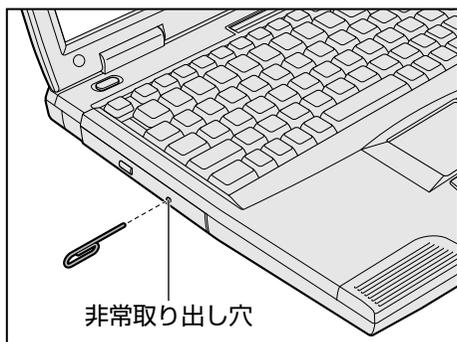
 メモ

- ・ イージーボタンの  ボタン（機能切り替えスイッチ：右のとき）を押してもディスクトレイが出てきます。

▶ 「5章 1 音楽CDを聴く」

■ ディスクトレイが出てこない場合

電源を切っているときに取り出しボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、CD-ROMドライブの非常取り出し穴を、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。



- ・電源が入っているときには、非常取り出し穴を押さないでください。
回転中のCDのデータやCD-ROMドライブが壊れるおそれがあります。

11 イージーボタン

本製品には、ワンタッチでアプリケーションやファイルを起動したり、音楽CDを操作できるイージーボタンがあります。

イージーボタンをお使いになるには、イージーボタンユーティリティのセットアップを行なってください。

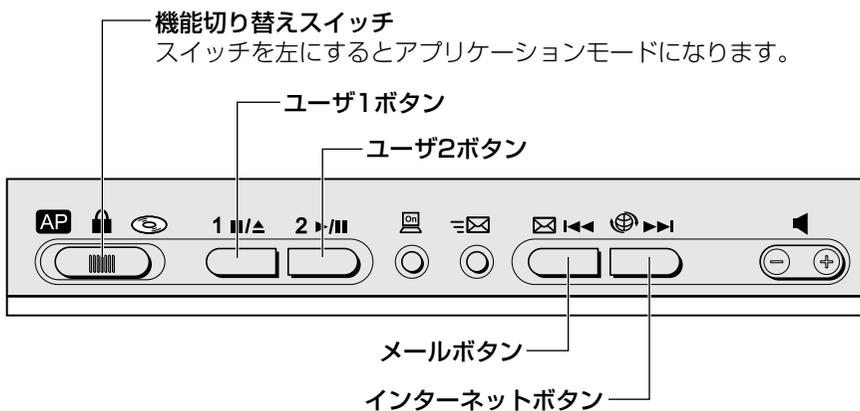
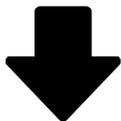
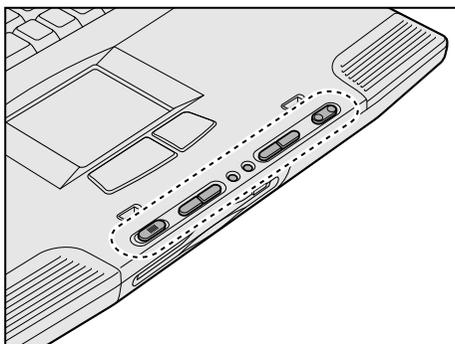
 インストール方法について

▶ 「1章 2-3 イージーボタンとタッチパッドを使うには」

イージーボタンは機能切り替えスイッチで、アプリケーションモードと音楽CDモードを切り替えます。

 音楽CDを操作するとき ▶ 「5章 1 音楽CDを聴く」

ここではアプリケーションモードの詳細について説明します。



アプリケーションモードについて

ボタンを押すだけで、アプリケーションやファイルを起動したり、ある特定の操作（閉じる、消音など）を実行できます。

ご購入時は次のように設定されています。

ユーザ1ボタン ／ユーザ2ボタン	設定されていません。 初めてボタンを押すと、登録画面が表示されます。 ▶「本節 アプリケーションやファイルを登録する」
メールボタン	アウトルックエクスプレス OutlookExpressを起動する ▶『インターネット編 2章 3-1 起動する』
インターネットボタン	インターネットエクスプローラ Internet Explorerを起動する ▶『インターネット編 1章 2-5 インターネットに接続する（2回目以降）』

使用方法

1 機能切り替えスイッチを左にする①

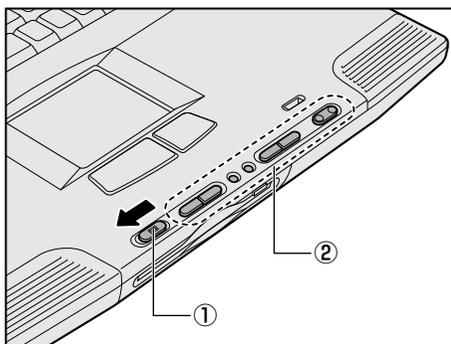
2 ディスプレイを開く

ディスプレイを閉じた状態では、ボタンは使えません。

3 各ボタンを押す②

パソコン本体の電源が OFF または休止状態のときも使用できます。ボタンを2秒以上押し続けた後、指をボタンから離してください。電源が入ります。電源を切っていた場合は「Windows へようこそ」画面が表示されますので、ユーザ名とパスワードを入力してください。ユーザ1ボタン／ユーザ2ボタンを初めて押したときには、登録画面が表示されます。

 詳細について ▶「本節 アプリケーションやファイルを登録する」



アプリケーションやファイルを登録する

1 タスクバーの [Easy Button] () アイコンをダブルクリックする

2 必要な項目を設定をする

画面は [プロパティ] で [アプリケーションの起動] をチェックしている場合です。[機能の選択] をチェックしているときは、[起動ファイル名] は表示されません。



(表示例)

■ [ボタン名]

ボタンを選択します。

WWW : インターネットボタン

Mailer : メールボタン

User-1 : ユーザ 1 ボタン

User-2 : ユーザ 2 ボタン

■ [プログラム名]

ボタンを押したときに、画面に表示したい名称 (文字) を入力します。

■ [標準設定] ボタン

現在選択されているボタンの設定をご購入時の状態に戻します。

■ 【プロパティ】

次の中から、ボタンを押したときに起動するアプリケーションやファイルなどを選択します。

機能の選択 : チェックすると、あらかじめ登録されている一定の操作を選択できます。

MUTE	消音する
Close Application	選択されているアプリケーションやウィンドウを閉じる
Task Switch	タスクバーに表示されているウィンドウを順番に切り替える

アプリケーションの起動 : チェックすると、あらかじめ登録されているアプリケーションを選択できます。

起動ファイル名 : 上記以外のアプリケーションやファイルを登録したい場合、[アプリケーションの起動] をチェック後、[参照] ボタンをクリックして設定します。

■ 【全てを標準設定に戻す】 ボタン

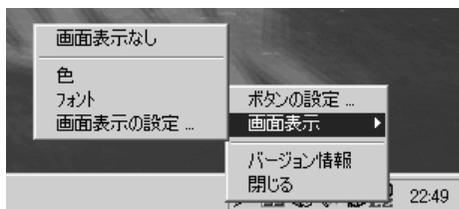
すべてのボタンの設定をご購入時の状態に戻します。

3 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックする

画面表示の設定

ボタンを押したときの画面の表示について設定できます。

- 1 タスクバーの [Easy Button] () アイコンを右クリックする
- 2 【画面表示】 を選択し、表示されるメニューから設定したい項目をクリックする



(表示例)

■ 【画面表示なし】

ボタンを押したときに画面に [プログラム名] を表示しません。

■ 【色】

文字の色を設定します。

■ 【フォント】

文字の種類を設定します。

■ 【画面表示の設定】

文字のサイズ、表示時間、背景色などを設定します。

12 赤外線ポート

赤外線ポートを使って、IrDA方式の赤外線ポートを持つ機器と通信が行えます。赤外線通信を行う機器は、同じ通信用のアプリケーションを使用してください。

1 通信を行いたい機器と赤外線ポートを向かいあわせる

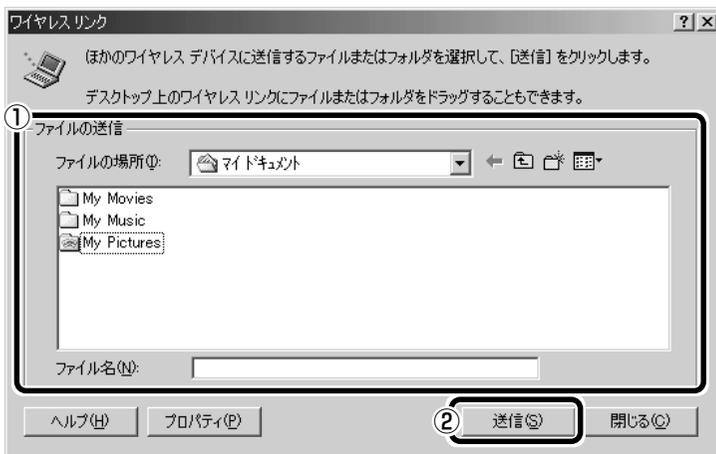
赤外線ポートと赤外線ポートの間には、障害物を置かないでください。通信できる状態になるとタスクバーに次のアイコンが表示されます。



2 アイコンをクリックする

画面が表示されます。

3 [ファイルの送信] で送信したいファイルを選択し①、[送信] ボタンをクリックする②



送信先の機器に「受信しますか？」のメッセージが表示されます。

4 送信先の機器上で [はい] ボタンをクリックする

ファイルが送信されます。

詳しくは『ワイヤレスリンクのヘルプ』をご覧ください。

⚠ 注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードを AC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- ・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

パソコン本体

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
温度 5 ~ 35℃、湿度 20 ~ 80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所
非常に高温または低温になる場所
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
ホコリの多い場所
振動の激しい場所
薬品の充満している場所
薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面や AC アダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。電源を入れた状態、またはスタンバイ状態で持ち運ばないでください。
電源を切った後も、CD/ハードディスクマーク  が点灯中は動かさないでください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、フロッピーディスクや CD がセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
故障の原因になります。
- 持ち運ぶときはディスプレイを閉じてください。

消耗品について

次の部品は消耗品です。

●バッテリーパック（充電式ニッケル水素電池）

長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパック（PXBAS008）と交換してください。

仕様について

本製品の仕様は国内向けです。

廃棄について

本製品の廃棄については、地方自治体の条例、または規則に従ってください。

電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取ってください。

キーボード

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、堅くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、東芝PC集中修理センタにご相談ください。コーヒータンブラなど飲み物をこぼしたときは交換を依頼してください（有償）。

液晶ディスプレイ

画面の手入れ

●画面の表面には偏光フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

●無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

サイドライト用FL管について

液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにサイドライト用FL管（冷陰極管）が内蔵されています。サイドライト用FL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、東芝PC集中修理センタにご相談ください。有償にて交換いたします。

フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニングディスクを使ってフロッピーディスクドライブをクリーニングします。1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

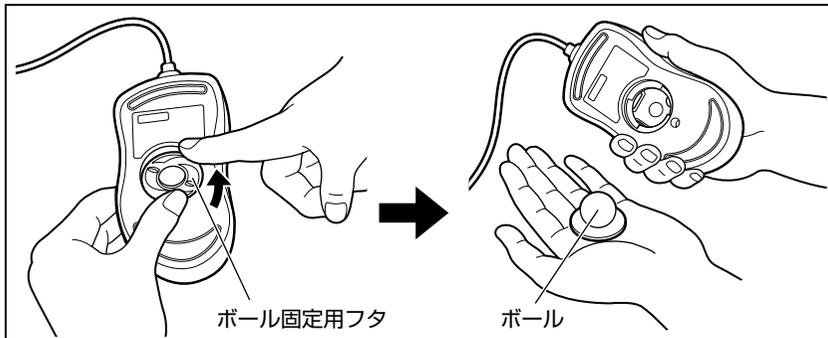
CD-ROMドライブ

ディスクトレイを引き出したままにしないでください。
市販のクリーニングディスクを使って、1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

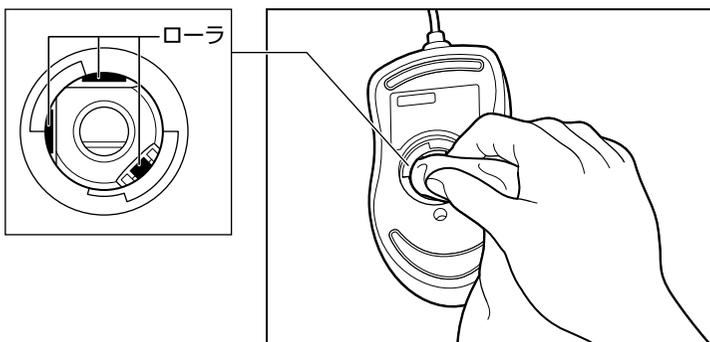
マウス

マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。
マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

- ①パソコン本体の電源を切ってください。
- ②マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。

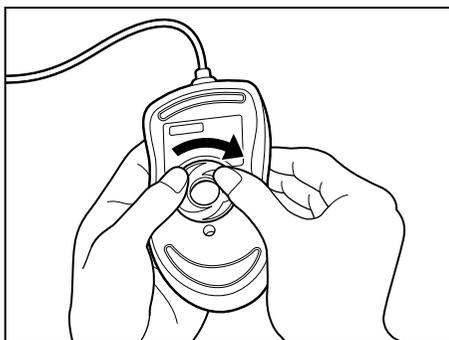


- ③マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



- ④ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。
- ⑤乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。

- ⑥ボール固定用のフタを、矢印方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5~35℃	4~53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

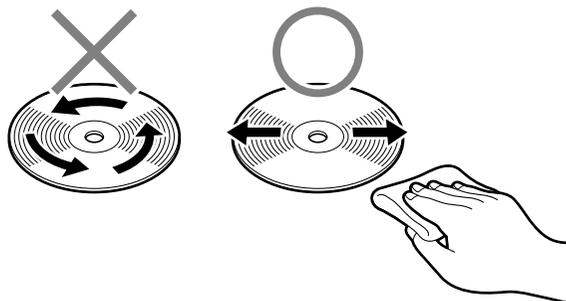
製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

CD

CDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み込むことができなくなります。
- CDを直射日光が当たる場所や、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。
- CDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CDの表面に文字などを書かないでください。
- CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。



データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。

本製品は次のような場合、スタンバイ機能または休止状態が無効になり、本体内の記憶装置が変化し、消失するおそれがあります。

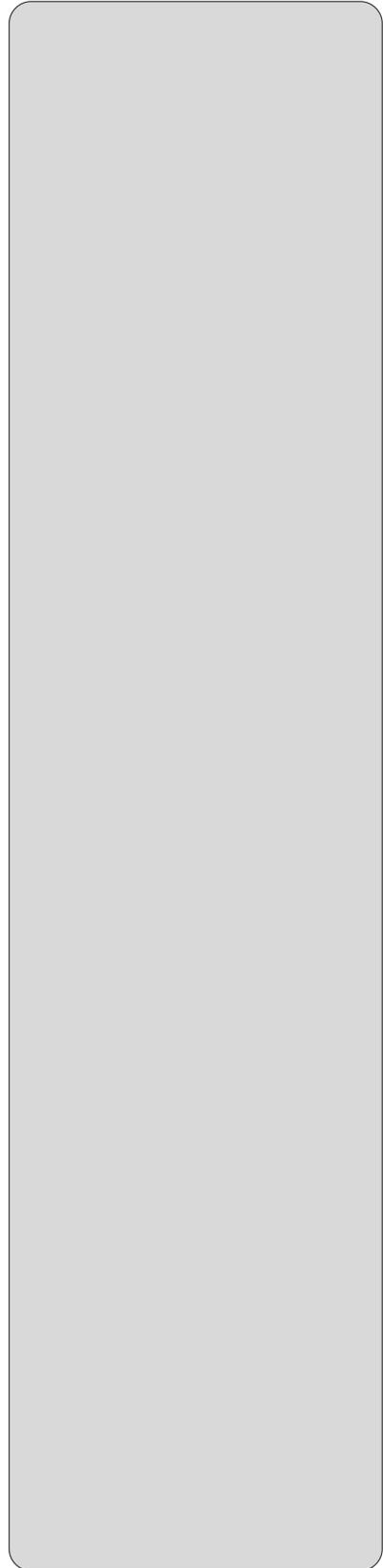
- ・ 誤った使いかたをしたとき
- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- ・ 長期間使っていないため、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- ・ 故障、修理、バッテリー交換のとき
- ・ バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- ・ 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクやフロッピーディスクに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

用語

・ バックアップ

ハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルをフロッピーディスクなどの記憶装置にコピーしておくこと。



8章

ローマ字入力一覧表

文字入力の際に便利なローマ字とかなの対応表です。

1	ローマ字入力一覧表	160
----------	-----------------	-----

1

ローマ字入力一覧表

おもなローマ字とかなの対応表です。

ローマ字が2種類以上載っている欄は、最上段がヘボン式のつづりです。その他のつづりや、かなが()で表されている欄は、ヘボン式ではありませんが、一般的に使用されているものです。

あ	あ	い	う	え	お
	a	i	u	e	o
	(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)
	xa la	xi li	xu lu	xe le	xo lo
か	か	き	く	け	こ
	ka	ki	ku	ke	ko
	きゃ kya	(きい) kyi	きゅ kyu	(きえ) kye	きよ kyo
さ	さ	し	す	せ	そ
	sa	shi si	su	se	so
	しゃ sha sya	(しい) syi	しゅ shu syu	(しえ) she sye	しよ sho syo
	た	ち	つ	て	と
た	ta	chi ti	tsu tu	te	to
			(っ) ※1		
			xtu ltu		
	ちゃ	(ちい)	ちゅ	(ちえ)	ちよ
	cha tya cya	tyi cyi	chu tyu cyu	che tye cye	cho tyo cyo
	(てゃ)	(てい)	(てゅ)	(てえ)	(てよ)
	tha	thi	thu	the	tho
な	な	に	ぬ	ね	の
	na	ni	nu	ne	no
	にゃ	(にい)	にゅ	(にえ)	によ
	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	ha	hi	fu hu	he	ho
	ひゃ	(ひい)	ひゅ	(ひえ)	ひよ
	hya	hyi	hyu	hye	hyo
	(ふぁ)	(ふい)		(ふえ)	(ふぉ)
	fa	fi		fe	fo
	(ふゃ)	(ふい)	(ふゅ)	(ふえ)	(ふよ)
fya	fyi	fyu	fye	fyo	
ま	ま	み	む	め	も
	ma	mi	mu	me	mo
	みゃ	(みい)	みゅ	(みえ)	みよ
	mya	myi	myu	mye	myo
や	や		ゆ		よ
	ya		yu		yo
	(ゃ)		(ゅ)		(よ)
	xya lya		xyu lyu		xyo lyo

※1 通常は後の子音を2つ
続けて入力します。
【例】「いった」→ itta

ら	ら	り	る	れ	ろ
	ra	ri	ru	re	ro
	りゃ	(りい)	りゅ	(りえ)	りょ
	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ	わ	(ゐ)※2		(ゑ)※2	を
	wa	wi		we	wo
ん	ん				
	n※3				
	nn				
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	ga	gi	gu	ge	go
	ぎゃ	(ぎい)	ぎゅ	(ぎえ)	ぎょ
	gya	gyi	gyu	gye	gyo
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	za	ji	zu	ze	zo
	じゃ	(じい)	じゅ	(じえ)	じょ
	ja	zi	ju	je	jo
	zya	zyi	zyu	zye	zyo
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	da	ji	zu	de	do
	(ぢゃ)	(ぢい)	(ぢゅ)	(ぢえ)	(ぢょ)
	dya	dji	dzu	dde	ddo
	(でゃ)	(でい)	(でゅ)	(でえ)	(でょ)
	dha	dhi	dhu	dhe	dho
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	ba	bi	bu	be	bo
	びゃ	(びい)	びゅ	(びえ)	びょ
	bya	byi	byu	bye	byo
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	pa	pi	pu	pe	po
	ぴゃ	(ぴい)	ぴゅ	(ぴえ)	ぴょ
	pya	pyi	pyu	pye	pyo
ヴ※4	(ヴァ)	(ヴィ)	(ヴ)	(ヴェ)	(ヴォ)
	va	vi	vu	ve	vo
	(ヴァ)	(ヴィ)	(ヴユ)	(ヴェ)	(ヴォ)
	vya	vvi	vvyu	vve	vvo

※2 キーボードで入力した後、変換してください。

※3 nに続けて子音(k, s, t, nなど)が入力されると「ん」になります。

※4 「ヴ」にひらがなはありません。ひらがな入力モードで入力したときはカタカナに変換する必要があります。

さくいん

記号

☒キーを使ったショートカットキー 121

A

AC アダプタ 16, 107

Alt キー 116, 117

B

BackSpace キー 117

Break キー 117

C

CapsLock 英数キー 116

CD 99, 143

CD/ハードディスクマーク 109

CD-ROM ドライブ 104

CD-ROM ドライブの取り扱い 155

CD のセット 144

CD の取り扱い 157

CD の取り出し 146

CD プレーヤ 90

CPU 98

CRT ディスプレイ 100

Ctrl キー 116, 117

D

Del キー 117

DVD 100

E

End キー 117

Enter キー 117

Esc キー 116

F

Fn キー 116

Fn キーを使った特殊機能キー 120

H

Home キー 117

I

i.LINK (IEEE1394) コネクタ 108

IME パッド 82

Ins キー 117

L

LAN コネクタ 108

M

MS-IME 70

O

OS 102

P

Pause キー 117

PC カードスロット0 108

PC カードスロット1 108

PC カードマーク 109

PgDn キー 117

PgUp キー 117

Product Key 18

Prtsc キー 117

PRT コネクタ 108

PS/2 コネクタ 105, 108

PS/2 マウス 107

S

Shift キー 116, 117

Space キー 116

SysRq キー 117

S 端子出力コネクタ 108

T

Tab キー 116

U

USB コネクタ 108

W

Windows セットアップ 18

Win キー 116

ア

アイコン 50

アドレスバー 51

アプリケーション 102

アプリケーションキー 117

アプリケーションモード 148

イ

イーザーボタン	91, 106, 148
イーザーランチャー機能	114
インスタントセキュリティ状態	120
インストール	27
インターネットボタン	148

ウ

ウィンドウ	51
-------	----

エ

英数字を入力する	78
液晶ディスプレイ	100, 104, 124
液晶ディスプレイの取り扱い	154

オ

オートジャンプ機能	114
大文字入力固定状態	109, 119
オペレーティングシステム	102
主なキーの呼びかたと役割	118
音楽CDモード	92
音楽CDを聴く	90
音量ボタン	104

カ

カーソル	74
カーソルキー入力固定状態	109
書き込み可能状態	138
書き込み禁止状態	138
確定	58
カタカナ／ひらがなキー	117
カタカナを入力する	76
かな入力	71
カナ入力固定状態	119
画面スクロール固定状態	109
画面の手入れ	154
漢字キー	116
漢字を入力する	75

キ

キーボード	104, 116
キーボードの取り扱い	154
記号を入力する	77
機能切り替えスイッチ	91, 148
休止状態	45
強制電源オフスイッチ	105

ク

クイック起動ボタン	50
クリックする (タッチパッド)	29
クリックする (マウス)	34

コ

ごみ箱	50, 61
-----	--------

ク

再起動	46
最小化ボタン	51
最大化ボタン	51
サイドライト用FL管	154
サウンド機能	126

シ

使用できるCD	143
使用できるフロッピーディスクの 種類とその容量	138
状態表示パネル	104, 109
消耗品	154

ス

すいすいセットアップビデオ	107
数字／カーソル入力キー	117
数字／カーソルキー入力機能	122
数字入力固定状態	109
スクロールする (マウス)	35
スクロールバー	51
スクロールロック状態	120
[スタート] ボタン	50
スタンバイ機能	44
ステータスバー	51
スピーカ	104

セ

赤外線ポート	105, 152
セキュリティロックスロット	105

ソ

増設メモリスロット	108
ソフトウェア	102

タ

タイトルバー	51
タスクバー	50

タッチパッド	104, 110
タッピング機能	111
タブ	72
ダブルクリックする (タッチパッド)	30
ダブルクリックする (マウス)	34

ツ

ツールバー	51
通風孔	105

テ

データのバックアップ	157
ディザリング	124
ディスプレイ開閉ラッチ	105
ディスプレイコネクタ	108
テキスト文書	57
デスクトップ	50
電源コード	17, 107
電源コードの取り扱い	154
電源コネクタ	105
電源スイッチ	41, 104
電源入力マーク	40, 109
電源表示ランプ	40

ト

東芝 LIVE MEDIA PLAYER	93
特殊機能キー	121
時計用バッテリー	133
閉じるボタン	51
ドライバ	102
ドラッグアンドドロップする (タッチパッド)	30
ドラッグアンドドロップする (マウス)	35

ニ

日本語入力システム	70
入力に関する制御キー	119

ハ

ハードウェア	98
ハードディスクドライブ	99, 125
ハウリング	128
パソコン本体の取り扱い	153
パソコン本体を持ち運ぶとき	153
パソコンを設置する環境	15

パソコンを使うときの姿勢	15
バックアップ	157
バッテリー残量表示マーク	109, 132
バッテリー充電マーク	109, 132
バッテリー充電量が減少したとき	133
バッテリー充電量を確認する	132
バッテリーの充電時間	135
バッテリーの充電方法	135
バッテリーの使用時間	135
バッテリーのリフレッシュ	134
バッテリーパック	107
バッテリーパックの取りはずし/取り付け	137
バッテリーフル充電マーク	109, 132
バッテリーを節約する	136
半角/全角	70
半/全キー	116

ヒ

光デジタルオーディオ出力端子	108
左ボタン	104, 110
ひらがなを入力する	74

フ

ファイル	52
ファイルをコピーする	59
ファイルを削除する	61
ファイルを作る	56
ファンクションキー	116
フォーマット (フロッピーディスク)	140
フォルダ	52
フォルダやファイルの名前を変更する	58
フォルダをコピーする	59
フォルダを削除する	61
フォルダを作る	53
フラッシュメモ리카ード	100
プロセッサ	98
フロッピーディスク	99, 138
フロッピーディスクドライブ	104
フロッピーディスクドライブの取り扱い	155
フロッピーディスクのセット	139
フロッピーディスクの取り扱い	156
フロッピーディスクの取り出し	139
フロッピーディスクの内容を見る	140
フロッピーディスクマーク	109
文書を保存する	85

へ	ユーティリティ 102
ヘッドホン出力端子 108	ラ
変換キー 117	ライトプロテクトタブ 138
ホ	リ
ボリュームコントロール 127	リッドスイッチ 104
マ	ロ
マイク入力端子 108	ローマ字キー 117
マイ コンピュータ 50	ローマ字入力 71
マイ ドキュメント 50	ローマ字入力一覧表 160
マウスの取り扱い 155	
[マウスのプロパティ] 110	
マウスの持ちかた 33	
マウスポインタ 29	
マウスを取り付ける 31	
ミ	
右クリックする (タッチパッド) 30	
右クリックする (マウス) 34	
右ボタン 104, 110	
ム	
無変換キー 116	
メ	
メールボタン 148	
メニューバー 51	
メモリ 98	
モ	
文字キー 69	
モジュラーケーブル 107	
モジュラージャック 105	
文字を削除する 79	
文字を入力する 70	
元のサイズに戻すボタン 51	
ヤ	
矢印キー 117	
ユ	
ユーザ 1 ボタン 148	
ユーザ 2 ボタン 148	
ユーザ登録 37	

